# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	敬老祝金贈呈	事業			事業期間	平成	.9年度 ~	— 年度							·
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-1	他に関連する 基本事業			_	_			所管課係	介護福祉課高齢者支援係
	長寿を祝福すると と高齢者福祉の増		わたり社会の発展	に貢献した功績に	- こ感謝の意を表すこ	とにより市民	の敬老思想の高	易 (どのような方法で 実現するのか)	対象者の誕 88歳祝金 100歳祝金	生日の属する月 10,000円 50,000円	に祝金》	及び祝状を贈呈す	ける。		
対象 (誰・何を対象として いるのか)	本市の住民基本台	☆帳又は外国人登	録原票に登録され	ている者で、当	該年度中に年齢が88	3歳及び100歳に	こ達する高齢者。	成果 (どのような効果が 得られるのか)	市民の敬老	思想の高揚、高	齢者の生	生きがいと健康に	こ対する意識の高	場など高齢者福祉(	D増進が図られる。
事業開始時の状況緯	・これまじの絵	平成17年度に事業	事業を開始し、長男業を見直し、対象 <i>別</i> 業を見直し、対象 <i>別</i> 88歳贈呈額を10,00	ひ贈呈額80歳1	さもに、多年にわた 0,000円・88歳50,0	り社会の発展1 00円・100歳10	に貢献した功績! 00,000円を、80歳	感謝の意を表し、 廃止・88歳20,000P	対老思想の高 3・100歳50, 0	易と高齢者福祉 00円に改定した	の増進 <i>る</i> こ。	を図っている。			

# [DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3 次実施4カ年計	·画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画 合 計
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	
	国		_	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	道			計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	地	方	債	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
入	そ	<b>の</b>	他	計 画 額				0				0					0	0
<b>≥</b>				予算計上額				0				0					0	0
-				実 績 額				0				0					0	0
れ	- 4	般財	源	計 画 額	2, 240, 000	2, 240, 000	2, 240, 000	6, 720, 000	2, 430, 000	2, 430, 000	2, 430, 000	7, 290, 000	2, 430, 000	2, 430, 000	2, 430, 000	2, 430, 000	9, 720, 000	23, 730, 000
				予算計上額	2, 240, 000	2, 680, 000	2, 780, 000	7, 700, 000	2, 430, 000	2, 320, 000		4, 750, 000					0	12, 450, 000
た				実績額	2, 040, 000	2, 150, 000	2, 410, 000	6, 600, 000	2, 200, 000	)		2, 200, 000					0	8, 800, 000
車	事業	<b>養</b> 合	計	計 画 額	2, 240, 000	2, 240, 000	2, 240, 000	6, 720, 000	2, 430, 000	2, 430, 000	2, 430, 000	7, 290, 000	2, 430, 000	2, 430, 000	2, 430, 000	2, 430, 000	9, 720, 000	23, 730, 000
7				予算計上額	2, 240, 000	2, 680, 000	2, 780, 000	7, 700, 000	2, 430, 000	2, 320, 000	0	4, 750, 000	0	0	0	0	0	12, 450, 000
業				実 績 額	2, 040, 000	2, 150, 000	2, 410, 000	6, 600, 000	2, 200, 000	0	0	2, 200, 000	0	0	0	0	0	8, 800, 000
費の推	事業	費予算 内容	O		報償費 88歳154人 100歳14人	報償費 88歳178人 100歳18人	報償費 88歳188人 100歳18人		報償費 88歳163人 100歳16人	報償費 88歳152人 100歳16人								
移	前年	度予算 の比較 引減理由			対象者数の減少	対象者数の増加	対象者数の増加		対象者数の減少	対象者数の減少								
		との比別減理由			による減少	転出または死亡 による減少 3月補正 ム460千円	転出または死亡 による減少 3月補正 △380千円		転出または死亡 による減少 3月補正 ム230千円									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:贈呈金額	指標の求め方:贈呈金額
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:贈呈者数	指標の求め方:贈呈者数

						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	41-	活動指標 (単位/千		計画値	2, 240	<b>{</b>	2, 240		2, 240 2, 200	2, 240	2, 240		2, 240	2, 240	2, 240	2, 240		
	指標	成果指標		実績値 計画値	2, 040 168		2, 410 168		2, 200	168	168		168	168	168	168		
		成果抽標 (単位/人		実績値	156	<b></b>	181		164	100	100		100	100	100	100		
		事業の達成 (活動指標		に評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成 (成果指標		に評価)				変わらない										
		事業の効果		成果)				変わらない										
		総合評価						良好である										
事務事業評価	評価	経理ので	総合評価を 全由実績値 の 名自己分	iのは関 断標す	呈象は画いの祝なた者子わこく識者を応信る贈信っ、仏を等と市のと転に下、がるいの贈報掲よに掲高を記さす、10のなまにに民高のなり、巻のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	呈象は画いの祝なた者子わこく識者者死値る階層つ、へを等と市の広にに民高を転に下、がるい成贈報掲よに掲場と転に下、がるいの贈報掲よに掲場とに表のできます。	呈 期加をり呈すて00 素 高に上、がる機 と 者 の は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の な す 、 を と ま き を と ま が る い あ ま も ま も ま も ま も ま も ま も ま も ま も ま も ま も ま も ま も も も も も も も も も も も も も	贈贈報・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・	呈者数ともに対象者の転出または死亡により計画値を下回って等	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方「	 向性					現状のまま継続										
		, 12,731			R5:対象者に対す	┃ する祝福及び広くī	市民に対する敬老	意識の高揚が図	R8 :				R10 :					
	改善、	生の判断理 改革の内 R8、R10)	容		られることから、	現状のまま継続	<b>j</b> 6.											

# 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 O

事 業 名	敬老助成券交	付事業			事業期間	平成	9年度 ~ -	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-1	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施するのか)	高齢者の社会参加	口、生きがいづく	りの促進及び心身	の健康保持を図	り、高齢者の福祉堆	曽進を図る。		手段 (どのような方法で 実現するのか)				老入浴券のいずれ 00円、敬老ハイヤ		交付する。 券は額面6,000円となる。
対象 (誰・何を対象として いるのか)			帳(外国人含む) 含む)以上の市民		る者のうち、在宅の	)高齢者であっ	て、年齢が75歳	成果 (どのような効果が 得られるのか)	高齢者の社会参加	加手段の拡大、生	きがいづくりの仮	産進及び心身の健康	₹保持が図られる。	
事業開始時の状況緯	・これまでの経	平成17年度より 平成25年度より、	事業を見直し、対象 交付開始時期を行	象年齢70歳以上を 送来の4月15日 た	Eきがいづくりの促 E75歳以上に段階的 Nら4月1日へ変更 ヤーの初乗り料金が	に変更(平成1 した。	7,18年度が71歳、	平成19,20年度が72	歳、以降2年毎に		げ、平成25年度よ	り75歳以上。)し	,、対象者を在宅の	)高齢者で市民税非課税者とした。

# [DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費	計画額				0	)			0					0	0
				予算計上額				0	)			0					0	0
				実 績 額				0	)			0					0	0
	道		費	計画額				0	)			0					0	0
				予算計上額				0	)			0					0	0
				実績額				0	)			0					0	0
	地	方	債	計画額				0	)			0					0	0
投				予算計上額				0	)			0					0	0
				実 績 額				0	)			0					0	0
入	そ	の	他	計画額				0	)			0					0	0
ŧ				予算計上額				0	)			0					0	0
				実 績 額				0	)			0					0	0
れ	-	般則	打 源	計画額	9, 776, 000	9, 776, 000		29, 328, 000	10, 770, 000	10, 110, 000	10, 770, 000		10, 770, 000	10, 770, 000	10, 770, 000	10, 770, 000	43, 080, 000	104, 718, 000
+-				予算計上額	9, 776, 000	9, 742, 000		29, 265, 000	10, 770, 000	10, 677, 000		21, 447, 000					0	50, 712, 000
た				実 績 額	7, 918, 850	7, 925, 150		23, 666, 150	8, 556, 040			8, 556, 040					0	32, 222, 190
事	事:	業費1	合計	計画額	9, 776, 000	9, 776, 000	9, 776, 000	29, 328, 000		10, 110, 000	10, 770, 000	32, 310, 000	10, 770, 000	10, 770, 000	10, 770, 000	10, 770, 000	43, 080, 000	104, 718, 000
				予算計上額	9, 776, 000	9, 742, 000	9, 747, 000	29, 265, 000		10, 677, 000	0	21, 447, 000	0	0	0	0	0	50, 712, 000
業				実 績 額	7, 918, 850	7, 925, 150		23, 666, 150			0	8, 556, 040	0	0	0	0	0	32, 222, 190
費の推	事業	業費予 内容				扶助費 印刷製本費	扶助費 印刷製本費		扶助費 印刷製本費	扶助費 印刷製本費								
移		年度予 の比 曽減理	交			から算出	から算出		乗り料金の値上 げに伴う増	前年度実績見込 から算出								
		漬との 曽減理			申請者見込数の 減 3月補正 △1,002千円	減 3月補正	申請者見込数の 減 3月補正 △1,155千円		申請者見込数の 減 3月補正 ム1,175千円									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:交付者数	指標の求め方:交付者数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:利用割合	指標の求め方:利用金額/交付金額

					第 1 次宝施	3 力年計画	1日1末07不8777 . 不			3 力年計画			-	3次実施4力年計	上面		Arts - 110
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標 1		2, 575	2, 575	<b>{</b>		2, 575	2, 575	2, 575		2, 575	2, 575	2, 575	2, 575		
	指標	(単位/人)	八根區	1, 690	1, 684	1, 672		1, 727									
	伝	成果指標 1 (単位/%)		95 87	95 86	<b></b>		95 79	95	95		95	95	95	95		
		事業の達成	八根區	07	00	00		75									
			をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標	果 をもとに評価)				変わらない										
		事業の効率	率性 対する成果)				変わらない										
		総合評価					良好である										
事務事業評価	評価内容	の	6合評価の判断 閏由または指標 で実体に開 <del>ま</del>	計画値に対し交 付者数及び利用	付割ではて然合らはる在かだかない。 はいまれる はいまいとできる はいる 実と象数 握広手器 ひとる 画が と高あ業 いる 実と象数 握広 注がが が が が な に な に は れ は 似割 か果 は 係難 知 会 は に は れ ば れ が が が が が が が が が が が が が が が が が	付割ではて然合らはる在かだかな合い。 はいる これがいない これ	を が が 大 康が が 大 康が か い も の つ に も な ら に も る と と に も る と と に し も し た ら し た し た し た し た し た し た し た も し た も し た も し た も し た も し も し も も も も も も も も も も も も も	付割てにが交し 者合い達、付き で で を る し に を る し に を を も い に を を も い に を を る し た り た り た り た り た り た り た り た り も と も も と も も と も と も と も と も と も と も	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向	5#				現状のまま継続										
		フ扱の万円	-1) I.T.	R5:敬老助成業か	が社会参加の拡大	┃ 及び心身の健康保	持等につながっ	R8 :				R10 :					
	改善、	生の判断理 改革の内: R8、R10)	容		現状のまま継続												

#### [PLAN]

#### 事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	老人クラブ支	援事業			事業期間	昭和	43年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	1-2-1	他に関連する 基本事業	1-4-1					所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施するのか)	老人クラブ及びまに寄与する。	を人クラブ連合会(	の活動を支援し、	明るい長寿社会の	- の実現及び保健福祉	上の向上並びに	高齢者の健康増進	手段 (どのような方法で 実現するのか)	老人クラブに対し 老人クラブ連合会	ン、運営費(均等₹ 会に対し、運営費	割+会員割)及び (均等割+会員割	バス借上料を補助  +特別事業費)及	1金として交付する びバス借上料を补	る。 補助金として交付する。
対象 (誰・何を対象としているのか)	老人クラブ及びる	<b>と人クラブ連合会</b>						成果 (どのような効果が 得られるのか)	老人クラブ及びも	き人クラブ連合会の	の活動及び事業に	高齢者が参加する	機会を拡大できる	5.
事業開始時の状況 緯	!・これまでの経	の単費補助分500 (老人クラブ敬名 高齢者の社会者 スの利用を勧め	事業を開始し、高順 )円×会員数を380F と旅行費補助) 参加活動の推進を 経費の削減を図る。 巻により38,412円	円×会員数に、平 図るために、昭和 平成18年度、み	成20年度に342円 x ロ48年度に事業を開 みどり号廃止により	×会員数に改正 始した。平成 民間バス借上	。道補助単価改正 13年度より、1泊2 料助成とした。平原	に伴い、平成19年原 日研修旅行を廃止 20年度、行財政改	度には均等割補助 し、日帰り研修が 革により利用料の	分月額3,880円を3 3行1回のみとした 1割を各老人クラ	,000円に、平成2 こ。平成17年度、 ラブ負担とし、助	3年度には3,000円 研修旅行先につい 成限度額を10%削	を2,700円に改正 ては近隣の温泉か 減、42,680円を3	、平成17年度には単位老人クラブ した。 《多いため、その施設の無料送迎バ 8,412円に改正した。平成27年度、 、老人クラブ連合会もバス借上料

の対象に加えた。 (老人クラブ連合会運営費補助) 昭和48年度に事業を開始。平成13年度より単位老人クラブ補助の開催日数割を廃止。平成18年度、道補助単価改正により、一般事業194,000円を168,500円に、会員割72円を62円に、特別事業(基準額) 188,600円を163,000円に改正。平成21 年度、事業メニューの再編に伴い特別事業(基準額) を213,000円に改正、平成24年度、道補助単価改正に伴い特別事業(基準額) 213,000円を191,700円に改正した。

#### [DO]

実績

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額	681, 000	681,000	681, 000	2, 043, 000	604, 000	604, 000	604, 000	1, 812, 000	604, 000	604, 000	604, 000	604, 000	2, 416, 000	6, 271, 000
			予算計上額	681, 000	632, 000	605, 000	1, 918, 000	604, 000	558, 000		1, 162, 000					0	3, 080, 000
40			実 績 額	675, 622	605, 697	581, 700	1, 863, 019	535, 813			535, 813					0	2, 398, 832
投	地	方 債	計画額				0				0					0	0
入			予算計上額				0				0					0	0
, ,			実 績 額				0				0					0	0
\$	そ	の他	計画額				0				0					0	0
h			予算計上額				0				0					0	0
10			実 績 額				0				0					0	0
た	— 船	段 財 源	計画額	875, 000	875, 000	875, 000	2, 625, 000	808, 000	808, 000	808, 000	2, 424, 000	808, 000	808, 000	808, 000	808, 000	3, 232, 000	8, 281, 000
			予算計上額	875, 000	807, 000	750, 000	2, 432, 000	808, 000	849, 000		1, 657, 000					0	4, 089, 000
事			実 績 額	545, 406	468, 035	506, 200	1, 519, 641	713, 428			713, 428					0	2, 233, 069
業	事 業	費合計	計画額	1, 556, 000	1, 556, 000	1, 556, 000	4, 668, 000	1, 412, 000	1, 412, 000	1, 412, 000	4, 236, 000	1, 412, 000	1, 412, 000	1, 412, 000	1, 412, 000	5, 648, 000	14, 552, 000
,,,			予算計上額	1, 556, 000	1, 439, 000	1, 355, 000	4, 350, 000	1, 412, 000	1, 407, 000	0	2, 819, 000	0	0	0	0	0	7, 169, 000
費			実 績 額	1, 221, 028	1, 073, 732	1, 087, 900	3, 382, 660	1, 249, 241	0	0	1, 249, 241	0	0	0	0	0	4, 631, 901
の				補助金	補助金	補助金		補助金	補助金								
0)	7- 21- 3	費予算の 内容															
推	'	八台															
740	前年	ま予算と		会員数の減少	会員数及び単位			バス借上げ料の	会員数の減少								
移		メア弁 こ			クラブの減少	クラブの減少		増額による増									
		咸理由)															
				会員見込数及び	会員見込数及び	会員見込数及び		会員見込数の減									
	宝结	との比較		敬老旅行申請見	敬老旅行申請見	敬老旅行申請見		少									
		咸理由)			込数の減少 3月補正	込数の減少 3月補正		3月補正 △74千円									
				△194千円	△224千円	△126千円											
							l	II.						Į			

指標	の推	移・評価														
活動	指標	1 (「手段」をもとに設定)	指標名:補助金	額		指標の求め方:	甫助金額									
成果	指標	1 (「成果」をもとに設定)	指標名:会員加	入率		指標の求め方: 含	会員数/60歳以上	高齢者数								
				第1次実施	63カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年 合 計	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年合計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	1	活動指標 1 計画	(3年度)	(4年度) 6 1,556	(5年度)		(6年度)	(7年度)	(8年度)		(9年度)	(10年度)	(11年度) 1,412	(12年度)		н н
	指	(単位/千円) 実績(			1, 088	3	1, 250	1, 412	1, 412		1, 412	1, 412	1, 412	1, 412		
	標	成果指標 1 計画	直 10.0	0 10.0	10. (	)	10. 0	10.0	10.0		10.0	10.0	10.0	10.0		
	$\vdash$	(単位/%) 実績( 事業の達成度	直 8	8 6	6		8									
		(活動指標をもとに評価	)			あまり達成されていない										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価	)			あまり上がってい ない										
		事業の効率性	,			変わらない										
		(事業費に対する成果)														
		総合評価	自己分析:	自己分析:	自己分析:	普通である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務事業評価	評価内容	理由または指摘	を が を が を が を が を が を が に が を が に が に に が に に に が に に に に が に に に に の に に に に の に に に に の に に に に に に の に に に に に に に に に に に が る れ に に が る れ に に が る れ に た が る れ と に に が る れ と に に が る れ と に に が る れ と に に が る れ と に に が る れ と に に が る れ と に に が る れ と に が る れ と に に が ら れ と に に が に が に に が に が に に に に が に に に に に に に に に に に に に	ブ(一ブ営老計で年もウの各おがど動まの課か 33:1に補行値を、不影老い中、がた滅題ら、1に補行値を、可型スにク敬にラ滞近があれて、び助回和て口染りブル及補下令いコ感よう老なブし年大る入りで、近断回和て口染りブルをがあれて、でいるが、はいるがというでは、対しているが、はいるがというでは、対しているが、はいるがというでは、対しているが、はいるがというでは、対しているが、はいるがというでは、対しているが、というでは、対しているがというでは、対しているがというでは、対しているがというでは、対しているが、というでは、対しているが、というでは、対しているがというでは、対しているがというでは、対しているが、対している。	数(パブ営老計で年は敬しおなみまの課かPに検えいる。105つに、大学では、105つに、大学では、105つに、大学では、105つに、大学では、105つに、1		(R5: 425人→ R6:360人) 及び 単位老人クラ の減少 (R5:15クラブ →R6:13クラ ブ) 費補助及 を旅行費補助が									
		今後の方向性				現状のまま継続										
	改善	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)	動団体として重のました。 のままし、こしまである。 しいされている。 増加すれば、例	要な役割を果たし	ており、活動を支 けば、活動は徐々 進の手立てが必要 (高齢者) 相互の	なに縮小を余儀な である。会員が り見守りが強化す	R8 :				R10 :					

#### [PLAN]

#### 事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	老人憩の家管	理運営事業			事業期間	昭和4	44年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画の位置付け	1-2-1	他に関連する 基本事業	6-2-1					所管課係	介護福祉課高齢者支援係
	高齢者及び地域信揚を図る。	主民が老人憩の家	で活動することに	より、健康の保持	- 寺増進、生きがい意	<b>証識の高揚及び</b> 均	地域連携意識の高	手段 (どのような方法で 実現するのか)	北光・南吉野・7 者として指定し、	石山・宮川・空知 . 地域住民が主体	太老人憩の家の管 的に管理運営を行	理運営について、 う。	老人憩の家を区	或内に有する町内会等を指定管理
対象 (誰・何を対象として いるのか)	高齢者及び地域伝	注民。						成果 (どのような効果が 得られるのか)	指定管理者としてる。	て町内会等が老人	憩の家の管理運営	を行うことにより	リ、施設の有効活	<b>用及び適切な管理運営が図られ</b>
事業開始時の状況	・これまでの経	昭和44年度に北美	光老人憩の家を建	投後、47年度に南	吉野、49年度に石	山、50年度に宮	宮川、60年度に空知	太を建設し、開館	常後は町内会等に管	管理運営を委託し	と。平成18年度か	ら指定管理者制度	[により管理運営で	行っている。南吉野老人憩いの家

事業開始時の状況・これまでの編 緯

の経 昭和44年度に北光老人憩の家を建設後、47年度に南吉野、49年度に石山、50年度に宮川、60年度に空知太を建設し、開館後は町内会等に管理運営を委託した。平成18年度から指定管理者制度により管理運営を行っている。南吉野老人憩いの家は、南吉野町内会連絡協議会(近隣10町内会)より継続して建て替えの要望があり、地域におけるコミュニティ施設の必要性や今後の管理を継続して行っていくことなどを確認したため、令和7年度に建て替えに向けての実施設計、令和8年度に建て替え工事を実施する。

#### [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3 次実施4カ年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
		L	予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地 方	債	計画額				0				0					0	0
投		L	予算計上額				0		8, 976, 000		8, 976, 000					0	8, 976, 000
			実績額				0				0					0	0
入	そ の	他	計画額				0				0					0	0
<b>≥</b>		L	予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	一 般	財源	計画額	369, 000	369, 000	369, 000	1, 107, 000	386, 000	12, 386, 000	200, 386, 000	213, 158, 000	386, 000	386, 000	386, 000	386, 000	1, 544, 000	215, 809, 000
+-		L	予算計上額	369, 000	633, 000	4, 045, 000	5, 047, 000	386, 000	603, 000		989, 000					0	6, 036, 000
た			実績額	311, 740	1, 572, 120	3, 720, 400	5, 604, 260	365, 200			365, 200					0	5, 969, 460
事	事業費	合計	計画額	369, 000	369, 000	369, 000	1, 107, 000	386, 000	12, 386, 000	200, 386, 000	213, 158, 000	386, 000	386, 000	386, 000	386, 000	1, 544, 000	215, 809, 000
			予算計上額	369, 000	633, 000	4, 045, 000	5, 047, 000	386, 000	9, 579, 000	0	9, 965, 000	0	0	0	0	0	15, 012, 000
業			実績額	311, 740	1, 572, 120	3, 720, 400	5, 604, 260	365, 200	0	0	365, 200	0	0	0	0	0	5, 969, 460
費の推	事業費予 内容			需用費及び委託 料	需用費及び委託 料	需用費及び委託 料		需用費及び委託料	需用費・委託 料、南吉野老制 の家実施設する でスト調査委託 料								
移	前年度予 の比 (増減理	:較			検委託料の増	北光老人憩の家 屋根改修工事費 用の増			南吉野老人憩の 家建替え事業の 増								
	実績との (増減理	の比較理由)		修繕費用の減	修繕費用の増	工事請負費の減 3月補正 154千円減		修繕費用の減									

指標	の推移	• 評価															
活動	指標 1	(「手段」を	もとに設定)	指標名:指定管3	理者数		指標の求め方: 扌	旨定管理者数									
成果	指標 1	(「成果」を	もとに設定)	指標名:市負担	老人憩の家管理経	費	指標の求め方:市	<b>市負担老人憩の家</b>	管理経費								
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			1	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	11-	活動指標 1 (単位/団体		5	5	5		5	5			5	5		5 5		
	指標	成果指標 1	本 <sup>)</sup> 実績値 計画値	369	369	369		369	369	369		369	369	369	9 369		
		成未拍标 I (単位/千F	L	311		3, 721		366	003	000	<u> </u>		003				
		事業の達成	度				達成されている										
			をもとに評価)														
		事業の成果 (成果指標で	: をもとに評価)				あまり上がってい ない										
		事業の効率					あまり上がってい										
			対する成果)				ない										
		総合評価		カコハモ	53.7£	カコハゼ	問題がある	カコハモ	カコハゼ	습크 / H	No No. 100 etc.	D 7 / K	カコハゼ	53AE	<b>∆</b> ∃.0.€	Nat No. TEL etc.	
				■自己分析: ■ 指定管理制度	自己分析: 指定管理制度	自己分析: 指定管理制度を	判断理由: 指定管理者と	自己分析: 指定管理制度を	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				を活用すること	を活用すること	活用することに	して町内会等が	活用することに									
							老人憩の家の管 理運営を行うこ										
				意識も高まり、	意識も高まり、	識も高まり、さ	とにより、施設	識も高まり、さ									
				さらには町内会	さらには町内会	らには町内会間の地域連携があ	の有効活用及び	らには町内会間の地域連携やち									
				有効な施設利用	有効な施設利用	効な施設利用が	適切な管理運営 が図られている	効な施設利用が									
	評			が図られてい	が図られてい	図られている。	ことについては	図られている。									
	価			る。	なお、施設の	るお、施設の 老朽化も顕著で	ことについては、良好であるの年を	なお、施設の 老朽化も顕著で									
	内容			■老朽化も顕者で	老朽化も顕者で	あることから今	経過した建物も	あることから、									
		総理	合評価の判断	あることから今 後も占給 要望	あることから今後も占給 要望	後も点検、要望の問き取り等に	あり、主体構造 部分の修繕も増	南吉野老人憩の									
		の	実績値に関す	の聞き取り等に	の聞き取り等に	努めるととも	え、費用も嵩ん	替事業を進めて									
		る	自己分析	努めるととも	努めるととも 佐製の左り	に、施設の在り	でいることか 公会的に問	いる。他の4施 設については、									
				方などの方針に	方などの方針に	ついても関係部		点検、要望の聞									
				ついても関係部	ついても関係部 署と検討してい	署と検討してい	価とした。	き取り等に努め るとともに、施									
				く必要がある。		<b>、必要かめる。</b>		設の在り方など									
								の方針につい て、引き続き関									
								係部署と検討し									
								ていく必要があ									
								る。									
		A # a + +	. Let														
		今後の方向	1生	IDE.			手段の見直し	DO				D10					
				R5: 指定管理者と	して町内会等が老	人憩の家の管理運	営営を行うことに	R8 :				R10 :					
				より、施設の有る	効活用及び適切な	管理運営が図られ	ていることか					1					
					和6年度から3年 の老朽化が著しい							1					
				い、他のコミュ	ニティ施設との整	合性を図りながら						1					
		生の判断理由		憩の冢全体の在	り方について協議	を進める。											
		改革の内容 R8、R10)	\$														
	,,,,,,	,,															
				I													

# [PLAN]

# 事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	地域サロン活	動支援事業			事業期間	平成	25年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-1	他に関連する 基本事業	1-2-2	1-4-1				所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施するのか)	高齢者の仲間づくて自主的に運営す	くり、生きがいづ する団体が取り組	くり、介護予防な む活動(サロン活!	ど、高齢者がい。 動)に対して支	- きいきと自立して暮 援し、活動の活性(	事らしていくた 比を図る。	めに、地域におい	手段 (どのような方法で 実現するのか)	る。) ※上限:50,0	00円		専門的な技術や知識 対し、月4回まで会		派遣する。(講師謝礼を負担す
対象 (誰・何を対象として いるのか)	サロン活動を自己	上的に運営する団	体					成果 (どのような効果が 得られるのか)	講師を派遣し活いづくりや仲間	動の活性化を図る づくりを通じて、	ことにより参加者 ひきこもりなどの	音の増加につながる )孤立化を防ぐこと	る。また、サロン につながる。	活動に参加することにより生きが
事業開始時の状況 緯	・これまでの経				づくり、介護予防な 団体への専門職の派			て暮らしていくため	ーーーー	て自主的に運営す	る団体が取り組む	活動(サロン活動	か)に対して支援し	<b>ン、活動の活性化を図ることを目的</b>

# [DO]

# 実績

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第:	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額	257, 000	257, 000	257, 000	771, 000	244, 000	244, 000	244, 000	732, 000	244, 000	244, 000	244, 000	244, 000	976, 000	2, 479, 000
			予算計上額	257, 000	280, 000	243, 000	780, 000	244, 000	250, 000		494, 000					0	1, 274, 000
			実績額	152, 615	163, 565	181, 525	497, 705	190, 592			190, 592					0	688, 297
	道	費	計画額	128, 000	128, 000	128, 000	384, 000	121, 000	121, 000	121, 000	363, 000	121, 000	121, 000	121, 000	121, 000	484, 000	1, 231, 000
			予算計上額	128, 000	140, 000	121, 000	389, 000	121, 000	125, 000		246, 000					0	635, 000
			実績額	76, 307	81, 782	90, 762	248, 851	95, 296			95, 296					0	344, 147
	地 方	債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
1×			実績額				0				0					0	0
入	そ の	他	計画額	514, 000	514, 000	,	1, 542, 000	487, 000	487, 000	487, 000	1, 461, 000	487, 000	487, 000	487, 000	487, 000	1, 948, 000	4, 951, 000
			予算計上額	514, 000	561, 000	487, 800	1, 562, 800	487, 000	501, 000		988, 000					0	2, 550, 800
\$			実績額	305, 230	327, 130	363, 050	995, 410	381, 185			381, 185					0	1, 376, 595
h	一般販	オ 源	計画額	130, 000	130, 000	130, 000	390, 000	124, 000	124, 000	124, 000	372, 000	124, 000	124, 000	124, 000	124, 000	496, 000	1, 258, 000
			予算計上額	130, 000	141, 000	123, 800	394, 800	124, 000	126, 000		250, 000					0	644, 800
<i>t</i> =			実績額	76, 308	81, 783	90, 763	248, 854	95, 297			95, 297					0	344, 151
事	事業費1	合 計	計画額	1, 029, 000	1, 029, 000	1, 029, 000	3, 087, 000	976, 000	976, 000	976, 000	2, 928, 000	976, 000	976, 000	976, 000	976, 000	3, 904, 000	9, 919, 000
7			予算計上額	1, 029, 000	1, 122, 000	975, 600	3, 126, 600	976, 000	1, 002, 000	0	1, 978, 000	0	0	0	0	0	5, 104, 600
業			実績額	610, 460	654, 260	726, 100	1, 990, 820	762, 370	0	0	762, 370	0	0	0	0	0	2, 753, 190
費の	事業費予内容				講師謝礼 会場使用料	講師謝礼 会場使用料			講師謝礼 会場使用料								
推移	前年度予 の比戦 (増減理	交			する会場費の助 成金額の変更に よる増額	する会場費の助 成金額の変更に よる減額(昨年 実績に基づく 滅)			サロン団体に対 する会場費助成 額の増額								
	実績との (増減理			3月補正	ルスの影響に伴 い活動回数が減 少したことに伴 う減	したことに伴う		活動回数が減少 したことに伴う 減 3月補正 △106千円									

方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)

活動指	標 1	(「手段」	をもとに設定)	指標名:事業実施	<b>施回数</b>		指標の求め方:	<b>事業実施回数</b>									
成果指	4標 1	(「成果」	をもとに設定)	指標名:事業参加	加率		指標の求め方:月	平均実績人数/	65歳以上高齢者	数							
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
		活動指標		390				390		390		390	390	390	390		
	指標	(単位/[ 成果指標	入根に	190 10			1	374 10	10	10		10	10	10	10		
		成果拍标 (単位/		3	4	5		6	10	10		10		10	10		
		事業の達 (活動指	i成度 標をもとに評価)				あまり達成されていない										
		事業の成 (成果指	t果 標をもとに評価)				あまり上がってい ない										
		事業の効 (事業費)	加率性 に対する成果)				あまり上がってい ない										
		総合評価	Б	自己分析:	自己分析:	自己分析:	普通である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
務	評価内容		総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す る自己分析	動は講に等サ設おし和て様ウをいる。これでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	においても昨年においても明本におります。 おり おり おり はい	数、計っている。 参画がよりもも 型スにによい 増加 しまり できない かんりょう ひんりょう ひんりょう ひんりょう ひんりょう かんりょう かんりょう かんりょう かんしょう かんしょく かんしょう かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしゃ かんしょく かんしゃ かんしゃ かんしん かんしん かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしん かんしん かんしん かんしん かんしゃ かんしゃ	が況でいるが、アイスをいるが、アイスを中でいるがつにコ感響理ってあります。 かいん イン・ストー かいん アイス かいん イン・ストー かいん アイス	数に回度でいるのめ、計ったののののでは、活ったりるでは、活い、活い、活い、活い、活い、活いのののでは、対性引き、対したのののののののののののののののののののののののののののののののののののの									
		ラ伎の方		R5・活動宝繕に・	ついては上がって	いない状況にある	が、地域におい	R8 ·				R10 :					
				て自主的に運営す	する団体が取り組 生化を図るために	む活動(サロン活	動)に対して支										

# [PLAN]

# 事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	サテライト地	域包括支援セ	ンター事業		事業期間	平成	25年度 ~	— 年度	]					
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-1	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
	高齢者の総合相認高齢者の孤立化を			の認知度向上及る	・ び地域との連携強化	:、高齢者のひ	きこもり予防及び	手段 (どのような方法で 実現するのか)	地域包括支援センに業務を委託し、	ンターが地域に出 、会場使用料を負	向いて相談業務及 担する)	び健康の維持・均	曽進等の取り組み	を行う。(地域包括支援センター
対象 (誰・何を対象として いるのか)	成果  地域で高齢者等が活動する場に地域包括支援センターの職員が出向き、総合相談や介護・福祉に関する情報提供等を行 (どのような効果が 得られるのか)  地域で高齢者等が活動する場に地域包括支援センターの認知度向上及び地域との連携強化が図られ、老人クラブの活性化及び新たなサ													
事業開始時の状況緯	・これまでの経	平成25年度より、	. 地域包括支援セン	<i>∨</i> ターの認知度 <i>0</i>	)向上と地域との連	携強化、高齢	者のひきこもり予	防と孤立化を防ぐこ	ことを目的に事業を	を開始した。				

# [DO]

実績

	第 1 次実施 3 力年計画 第 1 年次 第 2 年次 第 3 年次 実施 3							第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期	
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	نسا يف	計画額	7, 000	7, 000		21, 000	7, 000	7, 000	7, 000	21, 000	7, 000	7, 000	7, 000	7, 000	28, 000	70, 000
			予算計上額	7, 000	7, 000	7, 000	21, 000	7, 000	7, 000		14, 000					0	35, 000
		_	実 績 額	0	0	300	300	0			0					0	300
	道	نسا يف	計画額	3, 000	3, 000		9, 000	3, 000	3, 000	3, 000	9, 000	3, 000	3, 000	3, 000	3, 000	12, 000	30, 000
			予算計上額	3, 000	3, 000		9, 000	3, 000	3, 000		6, 000					0	15, 000
			実績額	0	0	100	100	0			0					0	100
投	地方		計画額				0				0					0	0
,~			予算計上額				0				0					0	0
入		_	実 績 額				0				0					0	0
<b>さ</b>	その作		計画額	4, 000	4, 000		12, 000	4, 000	.,	4, 000	12, 000	4, 000	4, 000	4, 000	4, 000	16, 000	40, 000
<u> </u>			予算計上額	4, 000	4, 000		12, 000	4, 000	4, 000		8, 000					0	20, 000
れ		_	実績額	0	0	100	100	0			0					0	100
	一般財源		計画額	6, 000	6, 000		18, 000	6, 000	6, 000	6, 000	18, 000	6, 000	6, 000	6, 000	6, 000	24, 000	60, 000
た			予算計上額	6, 000	6, 000		18, 000	6, 000	6, 000		12, 000					0	30, 000
事		_	実 績 額	0	0	300	300	0			0					0	300
-	事業費合言	ناسب إن	計画額	20, 000	20, 000	20, 000	60, 000	20, 000	20, 000	20, 000	60, 000	20, 000	20, 000	20, 000	20, 000	80, 000	200, 000
業			予算計上額	20, 000	20, 000	20, 000	60, 000	20, 000	20, 000	0	40, 000	0	0	0	0	0	100, 000
費		5	実績額	0	0	800	800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	800
o o	事業費予算0 内容	ח		委託料	委託料	委託料		委託料	委託料								
移	前年度予算 & の比較 (増減理由)			積算単価見直し に伴う増	同額	同額		同額	同額								
	実績との比 (増減理由)				令和4年度費用 負担なし。	会場使用に伴う 費用負担の減		令和6年度費用 負担なし(会場 費用のかからな い場所での開 催)									

3 E 7A	M ON JECT	27 NI IM															
活動	助指標 1	1 (「手段」をもと	に設定)	指標名:事業実施	<b>施回数</b>		指標の求め方: 3	事業実施回数									
成果	見指標 1	1 (「成果」をもと	に設定)	指標名:事業参加	叩者数		指標の求め方: 3	事業参加者数									
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	台計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	台計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	台計	
		活動指標 1	計画値	10	10	10		10	10	10		10	10	10	10		
	指	(単位/回)	実績値	0	1	2		3									
	標	成果指標 1	計画値	250	250	250		250	250	250		250	250	250	250		
		(単位/人)	実績値	0	16	23		29									
		古巻の法仕内															1

			! = 1 1+	(3年度)	(4年度)	(5年度)	н н	(0年度)	(/年度)	(8年度)	н н	(9年度)	(10年度)	(川平度)	(12年度)	н н	
		活動指標 (単位/回		10	10			10	10	10		10	10	10	10		
	指標		入极距	250	250	2 250		250	050	050		050	050	050	050		
	175	成果指標 (単位/人		250				250	250	250		250	250	250	250		
			人根框	0	16	23		29									
		事業の達)	∝度 『をもとに評価)				あまり達成されていない										
		事業の成					あまり上がってい										
			へ (をもとに評価)				めまり上からてい ない										
		事業の効果	率性														
		(事業費に	対する成果)				変わらない										
		総合評価					普通である										
事務事業評価	評価内容	Ŧ		るクラでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	るク等施和て新ルと リウ知いをにきすいで リウ知いをにきすいで リウロいので リウロいので リウロいので リウロいので リウロいを リウロいので リウロので リウロので リウロので リウロので リウロの リウロの リウロの リウロの リウロの リウロの リウロの リウロの	るク等施口人会がり、大会がより、大会が、大学をできない。大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、	普通とした。	る場として老人 クラブや町内会 等へ周知して実 施している。近	自己分析:	自己分析:	制 順 田 田 日 :	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	<b></b> 白性				現状のまま継続										
		7 12 07 73 1		R5 :			シングのの存む	R8 :				R10 :					
	改善、	性の判断理 、改革の内 、R8、R10)	!曲	新型コロナウィ ていたが、地域で 職員が出向き、終 とができ、地域を	で高齢者等が活動: 総合相談や介護・? 包括支援センター(	業自体、実施出来する場に地域包括 は地域包括 福祉に関する情報の認知度向上及と考 を事業であると考	支援センターの 提供等を行うこ 地域との連携強	iio .									

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	高齢者軽スポ	ーツフェステ	イベル交付金	事業	事業期間	平成	16年度 ~ -	- 年度					•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-1	他に関連する 基本事業	1-2-2					所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施する のか)	本事業を通じて、 増進の介護予防事	日常生活におけ 業として、生き	る健康づくりや仲間 がいの意識高揚を図	引づくりの大切 図り、ゆとりと:	- さを認識し、交流の 舌力に満ちた明るい	)輪を広げ積極 \生活の形成を	極的な健康の保持・ - 図る。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	砂川市老人クラ ティバル実行委!	ブ連合会、社会福 員会に交付金を交	祉協議会、砂川市 付し、毎年1回朝	5民生児童委員協請 怪スポーツフェスラ	養会及び砂川市から ティバルを開催する	ら構成される軽スポーツフェス る。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	成果 (どのような効果が 得られるのか) 高齢者間の交流の輪を広げ積極的な健康の保持・増進と生きがいの意識高揚が図られる。													
事業開始時の状況緯			. これまで屋外で実 或支援事業が創設さ						で行う「高齢者輔	軽スポーツフェス <sup>・</sup>	ティバル」へ変更	[した。		

# [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額	87, 000	87, 000	87, 000	261, 000	87, 000	87, 000	87, 000	261, 000	87, 000	87, 000	87, 000	87, 000	348, 000	870, 000
			予算計上額	87, 000	87, 000	87, 000	261, 000	87, 000	87, 000		174, 000					0	435, 000
			実績額	0	0	87, 500	87, 500	87, 500			87, 500					0	175, 000
	道	費	計画額	43, 000	43, 000	43, 000	129, 000	43, 000	43, 000	43, 000	129, 000	43, 000	43, 000	43, 000	43, 000	172, 000	430, 000
			予算計上額	43, 000	43, 000	43, 000	129, 000	43, 000	43, 000		86, 000					0	215, 000
			実績額	0	0	43, 750	43, 750	43, 750			43, 750					0	87, 500
投	地	方 債	計画額				0				0					0	0
12			予算計上額				0				0					0	0
入			実績額				0				0					0	0
4	そ	の他	計画額	175, 000	175, 000		525, 000	175, 000	170,000	175, 000	525, 000	175, 000	175, 000	175, 000	175, 000	700, 000	1, 750, 000
5			予算計上額	175, 000	175, 000	175, 000	525, 000	175, 000	175, 000		350, 000					0	875, 000
れ			実績額	0	0	175, 000	175, 000	175, 000			175, 000					0	350, 000
	— A	投 財 源	計画額	45, 000	45, 000	45, 000	135, 000	45, 000	,	45, 000	135, 000	45, 000	45, 000	45, 000	45, 000	180, 000	450, 000
<i>t</i> =			予算計上額	45, 000	45, 000		135, 000	45, 000			90, 000					0	225, 000
事			実績額	0	0	43, 750	43, 750	43, 750			43, 750					0	87, 500
7	事業	費合計	計画額	350, 000	350, 000	350, 000	1, 050, 000	350, 000	,	350, 000	1, 050, 000	350, 000	350, 000	350, 000	350, 000	1, 400, 000	3, 500, 000
業			予算計上額	350, 000	350, 000	350, 000	1, 050, 000	350, 000	350, 000	0	700, 000	0	0	0	0	0	1, 750, 000
200			実 績 額	0	0	350, 000	350, 000	350, 000	0	0	350, 000	0	0	0	0	0	700, 000
費の	事業	費予算の 内容		交付金	交付金	交付金		交付金	交付金								
移	0	度予算と D比較 減理由)		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
		との比較 減理由)		実績なし。 3月補正	事業中止のため 実績なし。 3月補正 △350千円	同額		同額									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:交付金額	指標の求め方:交付金額
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:参加者数	指標の求め方:参加者数

				第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年記			第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	4	活動指標 1 計画 (単位/千円) 実績	<b>}</b>		<b> </b>	L	350 350		350		350	350	350	350		
	指標	(単位/千円) 実績 成果指標 1 計画			350 350		350	350	350		350	350	350	350		
		(単位/人) 実績			162	<b>4</b>	167									
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価	<u> </u>			達成されていない										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価	i)			上がっていない										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
		総合評価				普通である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の判理主 理主 を は は は は は る 自 己 分析	本準備を当ている。 準備を可能を をして及れる。 もして及れる。 もして及れる。 を可能を が通く保図、新れのでは、 をでいる。 をでい。	ナウイルス感染 症の影響に伴 い、事業を中止 とした。	ぶりツ採たのしあきな一をしている。からのしまり、がでした。会員い、加別ラッで人数る一者が、とかがこかをがいたかがいたかがいたが、またのしまりでは、からいかには、からいかには、からいかには、からいかいがいが、	2年度からた。 生ともいるなは、 生ともいるなは、 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	パボし老員いり参が下一をしている。それでして、大字りがこ一者、って、数を計さ、った。のしあら集値ものの用。会て、もしをのの用。会で、もしをのの用。会で、もしをのの用。会で、もしをのの用。会で、もしをのの用。会で、もしをのの用。会で、もしをのの用。会で、もしをのの用。会で、もしをののの用。会で、もしをののの用。会で、もしをののの用。会で、もしをののの用。会で、もしをののの用。会で、もしをののの用。会で、もしをのの用。会で、もしをのの用。会で、もしをのの用。会で、もしをのの用。会で、もしをのの用。会で、もしをのの用。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
						手段の見直し										
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)	いたが、は窓内の たってを確認者がした一くと 高齢間である。 がくない。 がなり、 がなり、 がなり、 はなり、 はななり、 はなり、 はなり、 はなり、 はなり、 はなり、	数が減少している	連合会と協議を存 定に配慮した中で の競技や応援を通 ることから、事業 減少や高齢化が進 5年度はパラスポー	度から中止として 行い、再開にあ 実施していくこ にて、健康づく にな、今後も継続 んでいるため、 ーツボッチャを採	R8 :				R10 :					

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載

事 業 名	ふれあいセン	/ター講座事業	ŧ		事業期間	平成	3年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-1	他に関連する 基本事業	1-2-2					所管課係	ふれあいセンター管理係
目的 (何のために実施するのか)	趣味や健康づくり し、心身の健康地		い講座を開設する	ことにより、高i	- 給者が仲間づくりや	生きがいを見	つける機会を提供	手段 (どのような方法で 実現するのか)	広報すながわ等でなお、講座出席率	ごふれあい講座生 区が7割以上の講	の募集を行い、講 座生には修了証を	師・指導員のもと 交付する。	で各講座を月2回	回程度開催する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	概ね60才以上の市	市民。							開設したふれあい 会が拡大できる。		齢者が参加するこ	とにより、共通の	)趣味を持った仲間	間づくりや生きがいを見つける機
古衆間が叶の北辺	-4-504		ハ対策事業として1 筋力維持につながる											事業が創設され、介護予防事業とし もしている。26年度からは新規に

#### [DO]

実績

				第 1 次実施	[3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第:	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額	792, 000	792, 000	792, 000	2, 376, 000	907, 000	907, 000	907, 000	2, 721, 000	907, 000	907, 000	907, 000	907, 000	3, 628, 000	8, 725, 000
		予算計上額	792, 000	767, 000	764, 000	2, 323, 000	906, 000	986, 000		1, 892, 000					0	4, 215, 000
		実績額	698, 525	716, 440	758, 666	2, 173, 631	1, 228, 580			1, 228, 580					0	3, 402, 211
	道費	計画額	396, 000	396, 000	396, 000	1, 188, 000	453, 000	453, 000	453, 000	1, 359, 000	453, 000	453, 000	453, 000	453, 000	1, 812, 000	4, 359, 000
		予算計上額	396, 000	383, 000	382, 000	1, 161, 000	454, 000	494, 000		948, 000					0	2, 109, 000
		実績額	349, 262	358, 220	378, 833	1, 086, 315	463, 481			463, 481					0	1, 549, 796
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
投		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額	1, 585, 000	1, 585, 000	1, 585, 000	4, 755, 000	1, 814, 000	1, 814, 000	1, 814, 000	5, 442, 000	1, 814, 000	1, 814, 000	1, 814, 000	1, 814, 000	7, 256, 000	17, 453, 000
		予算計上額	1, 585, 000	1, 534, 000	1, 529, 000	4, 648, 000	1, 815, 000	1, 673, 000		3, 488, 000					0	8, 136, 000
さ		実績額	1, 397, 050	1, 432, 880	1, 518, 331	4, 348, 261	1, 552, 310			1, 552, 310					0	5, 900, 571
	一般財源	計画額	398, 000	398, 000	398, 000	1, 194, 000	455, 000	100, 000	455, 000	1, 365, 000	455, 000	455, 000	455, 000	455, 000	1, 820, 000	4, 379, 000
れ		予算計上額	398, 000	384, 000	382, 000	1, 164, 000	454, 000	794, 000		1, 248, 000					0	2, 412, 000
t:		実績額	349, 263	358, 220	378, 833	1, 086, 316	463, 481			463, 481					0	1, 549, 797
, -	事業費合計	計画額	3, 171, 000	3, 171, 000	3, 171, 000	9, 513, 000	3, 629, 000	3, 629, 000	3, 629, 000	10, 887, 000	3, 629, 000	3, 629, 000	3, 629, 000	3, 629, 000	14, 516, 000	34, 916, 000
事		予算計上額	3, 171, 000	3, 068, 000	3, 057, 000	9, 296, 000	3, 629, 000	3, 947, 000	0	7, 576, 000	0	0	0	0	0	16, 872, 000
業		実績額	2, 794, 100	2, 865, 760	3, 034, 663	8, 694, 523	3, 707, 852	0	0	3, 707, 852	0	0	0	0	0	12, 402, 375
費の	事業費予算の 内容		報償費 旅費	報償費 旅費	報酬 職員手当等 報償費 旅費		報酬 職員手当等 報償費 旅費	報酬 職員手当等 報償費 旅費								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		員手当及び旅費 の増	員制度に係る職 員手当及び講座 の開催数の減	員制度に係る職 員手当及び講座 の開催数の減		会計年度任用職 員制度に係る職 員手当及び講座 の開催数の増	員制度に係る職								
	実績との比較 (増減理由)		0 0 44 -	の病欠による報酬	員期末手当の減		会計年度任用職 員期末手当の増 額による職員手 当等増 3月補正 227千円									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:開催回数	指標の求め方:	ふれあいセンター	講座の延開催回数								
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:延受講者数	指標の求め方:	ふれあいセンター	講座の延受講者数								
	第1次実施3	カ年計画		第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
	第 1 年 次 第 2 年 次	第3年次 宝歩っヵ年	<b>笙 4 年</b> 次	第5年次	第6年次	宇佐っカケ	第7年次	第 8 年 次	<b>第 Q 年 次</b>	第10年次	宇佐4カ年	総合計画

					第1次実施	[3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画 合 計
	T	we set the law . [ =1:	画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	
	指	7	画他 績値	150 97	150 138	150 135		150		150		150	150	150	150		
	標	7	画値	2, 500	2, 500	2, 500		2, 500	2, 500	2, 500		2, 500	2, 500	2, 500	2, 500		
			績値	1, 040	1, 544	1, 635		2, 031									
		事業の達成度 (活動指標をもとに評	平価)				達成されていない										
		事業の成果 (成果指標をもとに評	平価)				あまり上がってい ない										
		事業の効率性(事業費に対する成界					変わらない										
		総合評価	147				普通である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の 理由または の実績値に る自己分析	判指関 を表示し、例の表示によって、	受計で数こ型スリ座の要高し流がと続に討講画にのよコの、の制因齢たや図しかつするというに見や大る始間づる後用随いのとコの、の制因齢たや図しかつすりないが、対して総もらつに見や大る始間づる後用随いである。 とて終もらった。 という はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はい	受計で数こ型スりがあ師りし大高 講画いのとコの、大るの解性さい者 数を。少がナ響数なま齢数た。を と可能な口影人き。高能さい者 いたでの要た化がこ 始 いたでの要なまになった。 を とている がよいる がよいる がよいる がよいる がよいる がよいる がよいる がよ	受計で高開し少な大るめのく事も拡大のいまで、   「関し、   のすると、   のするに、   のすると、   のがき。となり、   を続いている。   ののく事を大康れ今利では、   のり、   のがも、   ののく事を拡大のいる。   ののののののののののののののののののののののののののののののののののの		し値が受値が増前幅値な講よ少つ消 いた い に を で講 を 、 な 年 に を で は た 数 り 回 た 数 り 回 に き び は に き び は に ま り い り い り い り い り い り い り い り い り い り	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性		DE .			手段の見直し					D10 .					
	改善、	生の判断理由 . 改革の内容 R8、R10)	¥ 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	至っておらず、ā 達成に向けては認	レス感染症の影響 たた講師の高齢化 果題が多い。今後 を行い、講座参加:	による開催数の減 は、既存講座の開	少など、指標の 催日数の増加や					R10 :					

# 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事業名	诵年型介護予	防教室いきし	<b>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</b>	グラム事業	事業期間	平成	26年度 ~ -	 - 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	zah≑⊓ы	第7期総合計画 の位置付け	1-2-2	他に関連する基本事業	1-5-1					所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施するのか)	高齢期を迎えてき グラムを提供し、			社会の実現を図	るため、運動器の衰	₹えを防ぐ運動		(どのような方法で	クと運動器の衰		回実施、このほか	服薬管理や口腔機	機能向上について	て実施する。内容は、健康チェッ の健康教育等を追加する。随時参 に繋げていく。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	一般介護予防事業	業対象者						成果 (どのような効果が 得られるのか)	閉じこもりや要	介護状態になるこ	とを予防し、生活	舌の質の向上を図る	5機会が確保でき	<b>వ</b> .
事業開始時の状況緯	・これまでの経	平成18年には地域に至った。当初1所で運動を継続で 平成25年度より、	域支援事業が創設さ は、年2クールをふ することができる。	され、介護予防事 れあいセンター ようになってきて ンターを中心とし	事業の実施が義務付 で実施していたが、 いる。 レた二次予防対象者	けられ、平成 教室終了後も	18年度はリハビリ教 地域に運動を継続	文室を介護予防事業 する場が必要である。	として実施して ることから、平成	いたが、事業の見 223年度より1クー	直しにより平成19 ルを地域開催とし	年度にはリハビリ て実施してきた。	教室を終了し、 その結果、各地[	デイケア)へ移行した。 新たに介護予防教室として実施する ヌにサロン活動が誕生し、身近な場 予防教室に転換して現在に至る。

#### [DO]

実績

	<u> </u>						1									(丰匹:11)
				第1次実施				第2次実施					3次実施4カ年計			第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計 画 額	615, 000	615, 000	615, 000	1, 845, 000	97, 000	97, 000	97, 000	291, 000	97, 000	97, 000	97, 000	97, 000	388, 000	2, 524, 000
		予算計上額	615, 000	615, 000	94, 456	1, 324, 456	97, 000	107, 000		204, 000					0	1, 528, 456
		実 績 額	363, 630	61, 502	68, 879	494, 011	73, 600			73, 600					0	567, 611
	道	計 画 額	307, 000	307, 000	307, 000	921, 000	49, 000	49, 000	49, 000	147, 000	49, 000	49, 000	49, 000	49, 000	196, 000	1, 264, 000
		予算計上額	307, 000	307, 000	47, 228	661, 228	49, 000	53, 000		102, 000					0	763, 228
		実 績 額	181, 815	30, 751	34, 439	247, 005	36, 800			36, 800					0	283, 805
	地 方 億	計 画 額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
入	そ の ft	也 計画額	1, 230, 000	1, 230, 000	1, 230, 000	3, 690, 000	195, 000	195, 000	195, 000	585, 000	195, 000	195, 000	195, 000	195, 000	780, 000	5, 055, 000
± ≥		予算計上額	1, 230, 000	1, 230, 000	188, 912	2, 648, 912	195, 000	215, 000		410, 000					0	3, 058, 912
		実 績 額	727, 261	123, 005	137, 758	988, 024	147, 201			147, 201					0	1, 135, 225
れ	一般財源		309, 000		309, 000	927, 000	49, 000	49, 000	49, 000	147, 000	49, 000	49, 000	49, 000	49, 000	196, 000	1, 270, 000
+-		予算計上額	309, 000	309, 000	47, 228	665, 228	49, 000	55, 000		104, 000					0	769, 228
た		実 績 額	181, 817	30, 751	34, 440	247, 008	36, 801			36, 801					0	283, 809
事	事業費合計		2, 461, 000	2, 461, 000	2, 461, 000	7, 383, 000	390, 000	390, 000	390, 000	1, 170, 000	390, 000	390, 000	390, 000	390, 000	1, 560, 000	10, 113, 000
		予算計上額	2, 461, 000	2, 461, 000	377, 824	5, 299, 824	390, 000	430, 000	0	820, 000	0	0	0	0	0	6, 119, 824
業		実 績 額	1, 454, 523	246, 009	275, 516	1, 976, 048	294, 402	0	0	294, 402	0	0	0	0	0	2, 270, 450
費の推	四日	ח	報償費、需用 費、役務費、委 託料、使用料及 び賃借料	報償費、需用 費、役務費、委 託料、使用料及 び賃借料	報償費、需用 費、役務費、委 託料、使用料及 び賃借料		報償費、需用 費、役務費、使 用料及び賃借料	報償費、需用 費、役務費、使 用料及び賃借料								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		前年度同額	前年度同額	委託廃止に伴う		講師謝礼費増額 に伴う増	講師謝礼費増額に伴う増								
	実績との比較 (増減理由)	交	報償費の一部及 び会場費の未執 行による減 3月補正 △521千円	報償費の一部及 び会場費、委託 の廃止に伴う減 3月補正 △2130千円	び会場費未執行		報償費の一部及 び会場費未執行 に伴う減 3月補正 △45千円									

#### 指標の推移・評価

ガロ 保 ー (「子」	段」をもとに設定)	指標名	:実施回数	数		指標の求め方: 🥞	事業の実施回数									
早指標1(「成	果」をもとに設定)	指標名	: 参加延力	人数		指標の求め方: 특	事業の参加延人数									
				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7
		-11	1 年次 年度)	第2年次 (4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計合
		<b> 直</b> 值	48	48	48		48	48	48		48	48	48	48		
18	位/回) 実		30				48									
	指標 1 計 (立/人) 宝		1,000		1, 000		1, 000 605	1, 000	1, 000		1, 000	1, 000	1, 000	1, 000		
事業の	位/人) 実績の達成度 の達成度 対指標をもとに評	7	240	379	510	達成されている										
事業の	の成果 と指標をもとに評					少し上がっている										
事業の	の効率性					変わらない										
総合語	·····································					良好である										
評価内容	総合評価の 理由または の実績値析 る自己分析	新ル響施延て下加態閉止て要る加め野型スに回べは回者にじにいな。者のかまでいる。	口染っ及数計た要るもつた業ナ症てびに画が介こりなめとウの、参つ値、護とのが、考イ影実加いを参状や防っ必え	が介こりなめともや方、護とのが、考、す法をいい、考、す法をのが、考、す法をのが、考、す法をでいる。かの検討のという。	つ値が介こりなめともやの値が介こりなめともやので、護法の加速閉止にいなる素がないのが、必え参加のが、必えのかが、発えがなる。からのでは、変していなのがが、必えがない。	ルリ回人回りかこりがめと 別が いり回人回りかこりがめと を で い が い り に 下 参 で 、 し に り た り た り た り た り た り た り た り た り た り	計た度加加態閉止て要値をの較お要るもつた業としてがこりがこりが、とり介こりが、とり介にいる事業をはいたの事で、しい介護とのがとき、の年増参状や防っ必え									

今後の方向性 現状のまま継続 R5:参加者が要介護状態になることや閉じこもりの防止につながっ R8: ているため、必要な事業と考える。今後も、参加者を増やすための 周知方法を検討する必要がある。 R10 : 方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)

# 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	介護予防事業	対象者把握事	<b>事業</b>		事業期間	平成	25年度 ~	— 年度	]					<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-2	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施する のか)	介護予防事業の対する。	対象者を把握し、	状態に応じた介護	予防の方法を提え	- 示することにより、	要介護状態等。	となることを予り	手段 (どのような方法で 実現するのか)	対象となる高齢	者に対して基本チ	ェックリストを実	産施する。		
	①「地域高齢者」	見守り事業」によ		生活で心配な高齢	給者 給者」及び「状況の た高齢者④本人ま <i>た</i>			/						下に係るアセスメント(原因及び となどにより要介護状態等となる
事業開始時の状況 緯		談業務の際に基本 状況のわからない	本チェックリストで い高齢者)、介護 <sup>-</sup> した。なお、事業の	を実施して把握し 予防教室参加者及	、てきたが、効果的 なび介護認定審査会	な把握に結び付において非該当	すきにくい状況た 当となった高齢者	ったことから、平原 に対して基本チェッ	t25年度から実施し クリストを実施す	した「地域高齢者 するほか、地域包	見守り事業」によ 括支援センターの	り把握する高齢者相談業務の際に基	者(一人暮らしの記 基本チェックリス	地域包括支援センターにおける相 高齢者、日常生活で心配な高齢者、 トを実施して二次予防事業対象者を 1月より、事業名称が「介護予防対

#### [DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計 画 額	954, 000	954, 000	954, 000	2, 862, 000	754, 000	754, 000	754, 000	2, 262, 000	754, 000	754, 000	754, 000	754, 000	3, 016, 000	8, 140, 000
		予算計上額	954, 000	855, 000	747, 978	2, 556, 978	754, 000	754, 000		1, 508, 000					0	4, 064, 978
		実 績 額	954, 682	855, 331	747, 978	2, 557, 991	754, 434			754, 434					0	3, 312, 425
	道 費	計画額	477, 000	477, 000	477, 000	1, 431, 000	377, 000	011,000	377, 000	1, 131, 000	377, 000	377, 000	377, 000	377, 000	1, 508, 000	4, 070, 000
		予算計上額	477, 000	427, 000	373, 989	1, 277, 989	377, 000	,		754, 000					0	2, 031, 989
		実 績 額	477, 341	427, 665	373, 989	1, 278, 995	377, 217			377, 217					0	1, 656, 212
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額	1, 909, 000	1, 909, 000	1, 909, 000	5, 727, 000	1, 509, 000	1,000,000	1, 509, 000		1, 509, 000	1, 509, 000	1, 509, 000	1, 509, 000	6, 036, 000	16, 290, 000
₹		予算計上額	1, 909, 000	1, 710, 000	1, 495, 957	5, 114, 957	1, 509, 000	1, 508, 000		3, 017, 000					0	8, 131, 957
	4	実績額	1, 909, 364	1, 710, 666	1, 495, 957	5, 115, 987	1, 508, 869			1, 508, 869					0	6, 624, 856
れ	一般財源	計画額	479, 000	479, 000	479, 000	1, 437, 000	378, 000	0,0,000	378, 000	1, 134, 000	378, 000	378, 000	378, 000	378, 000	1, 512, 000	4, 083, 000
た		予算計上額	479, 000	429, 000	373, 989	1, 281, 989	378, 000	,		756, 000					0	2, 037, 989
/-	± # # ^ =1	実績額	477, 341	427, 665	373, 989	1, 278, 995	377, 218		0.010.000	377, 218	0.040.000	0.010.000	0.010.000	0.010.000	0	1, 656, 213
事	事業費合計	計画額	3, 819, 000	3, 819, 000	3, 819, 000	11, 457, 000	3, 018, 000 3, 018, 000	3, 018, 000	3, 018, 000	9, 054, 000	3, 018, 000	3, 018, 000	3, 018, 000	3, 018, 000	12, 072, 000	32, 583, 000
-114-	-	予算計上額 密	3, 819, 000	3, 421, 000	2, 991, 913	10, 231, 913	3, 018, 000	3, 017, 000	0	6, 035, 000	0	0	0	0	0	16, 266, 913
業		実績額	3,818,728 委託料	3, 421, 327 委託料	2,991,913 委託料	10, 231, 968	3, 017, 738 委託料	委託料	0	3, 017, 738	0	0	0	0	0	13, 249, 706
費の推	事業費予算の 内容		安乱서	安乱村	安乱村		女机杆	女乱村								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		人件費及び事業 費の一部見直し による増	費の一部見直し による減	費の一部見直し による減		費の一部見直し による増	人件費及び事業 費の一部見直し による減								
	実績との比較 (増減理由)			いきいきシニア プロガラム事業 運動指導委託料 減額補正に伴う 端数調整 3月補正 1千円	同額		同額									

Ħ	標の	佳移・	評価															
7	動指	票1 (	「手段」をもと	に設定)	指標名:基本チ:	ェックリスト実施	人数	指標の求め方:基	基本チェックリス	トを実施した高齢	者の人数							
F.	<b></b> 人民指标	票1(	「成果」をもと	に設定)	指標名:一般介記	護予防事業に繋が	った高齢者の割合	指標の求め方:碁	基本チェックリス	ト実施高齢者に占	める、一般介護-	予防事業に繋がっ	た高齢者の割合					
						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年記	+画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
Г			動指標 1	計画値	700		700		700	. L	700		700	700	700	700		
	<b>井</b>		(単位/人)	実績値 計画値	399 10				314		10		10	10	10	10		
	"	7人	集指標 1 (単位/%)	実績値	20		{		57		10		10	10	10	10		
			業の達成度 舌動指標をも					あまり達成されていない										
		事	業の成果 成果指標をも					あまり上がってい ない										
			業の効率性事業費に対す	る成果)				変わらない										
		総	合評価					普通である										
	事務等事業評価	· 哲 与	理由ま	平価の判断標 たたは指標 責値に関す 3分析	へ が 大 が に が に の 計 の も に の に の に の に の に の に の に の に の に の が 必 が の が の が の が の が の の に で に で が の が の の に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に に で に で に で に で に に で に に に に に に に に に に に に に	い上于実では、	への計いスい回守がだったったのというのでは、大きのでは、はないは、はいは、は、はいは、は、はいは、は、はいは、はいは、はいは、はいは	の止い後で介参り機法要普たっているもあぎ取り会をが通。要にるもあぎ取り会をが通。接なと要が防やト増討るあまり、主なを検めでもいる。事業主実するめととのいる。中業主実するめととのいる。というでは、しいのでのでは、これのでは、しいのでのでは、これのでは、こ	上回ってリストリストリストリストリストリストリストリスクリスクリスクリスクリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリ	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今	後の方向性					現状のまま継続										
	改	善、改	D判断理由 <b>女革の内容</b> 8、R10)		機会を増やす等-	一部検討が必要な っていることから	部分はあるが、高		R8 :				R10 :					

#### 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

#### [PLAN]

#### 事務事業の目的と成果

事業 名いきいき運動推進事業 平成18年度 ~ — 年度 事業期間 第7期総合計画 の位置付け 他に関連する 基本事業 1-2-2 ふれあいセンター保健予防係 事業性質区分 新規・継続 建設・建設外 建設外 1-2-1 所管課係 地域における介護予防を効果的に推進していくためには、一人ひとりの健康づくりに対する自助努力と併せて、地域住民 サロン活動団体や老人クラブなどからの依頼を受け、市の有償ボランティアである推進員を派遣し運動の提供をする。 が主体となった地域ぐるみの取り組みも重要である。高齢者の健康づくりを推進していくために、地域で介護予防に有 推進員の活動を支援するため、月1回の交流会とスキルアップのための研修会を実施する。また、派遣先の団体が自主的 (何のために実施する (どのような方法で 実現するのか) 効な体操に取り組んでいる団体に運動推進員を派遣して体操を行うと共に、団体が自主的に体操が行えるよう支援し、 |に地域で「いきいき体操」に取り組めるよう、DVDを活用し、体操ができるよう支援する。老人クラブや地域でサロン活 運動習慣の普及・啓発を図り、健康づくりと介護予防を推進していく。 動を行っている団体を対象にサポーター研修会にて支援をする。

得られるのか)

地域での運動の普及啓発活動を行ういきいき運動推進員、及び、介護予防のための運動に関心があり取組んでいる地域 (誰・何を対象として のサロン活動団体や老人クラブなど。 いるのか)

地域の高齢者に対して運動習慣の実践を通して普及啓発をしていくことにより、高齢者の運動機能の向上や閉じこもり (どのような効果が | 予防など介護予防につながっていく。また、運動推進員自身にとっても運動を継続する機会となり、活動自体が生きが いづくりにもなっていく。

過疎計画掲載

×

総合戦略掲載

事業開始時の状況・これまでの経

平成18年に地域支援事業の一般高齢者施策として事業開始。高齢者の実態調査や介護認定者の原因疾患調査等により、介護予防を推進していく為には、運動器の機能向上や閉じこもり予防を地域で継続して実施していくことが重要となること から、効果的に実施するための方策として本事業を取り組み始めた。養成講座は平成18年~27年まで3年ごとに実施。「介護予防・日常生活支援総合事業」の一般介護予防事業における通所型サービスBのボランティアが有償のため、平成29年 度より、推進員に報償費を支給。

サポーター養成講座で配布したDVDの改良版(ver2)の「いきいき体操サポーター研修会」を実施。令和2年度は、サロン・老人クラブ実施した体力測定の結果から、継続した運動の必要性について「いきいき体操サポーター研修会」を実施。

#### [DO]

#### 実績

のか)

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額	49, 000	49, 000	,	164, 000	43, 000	,	43, 000		43, 000	43, 000	43, 000	43, 000	172, 000	465, 000
		予算計上額	49, 250	42, 750	42, 000	134, 000	43, 500	,		87, 200					0	221, 200
		実績額	12, 452	31, 826	35, 026	79, 304	34, 923			34, 923					0	114, 227
	道 費	計画額	25, 000	25, 000	33, 000	83, 000	22, 000	,	22, 000	66, 000	22, 000	22, 000	22, 000	22, 000	88, 000	237, 000
		予算計上額	24, 625	21, 375	21, 000	67, 000	21, 750	21, 800		43, 550					0	110, 550
		実 績 額	6, 226	15, 913	17, 513	39, 652	17, 461			17, 461					0	57, 113
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
入	その他	計画額	99, 000	99, 000	132, 000	330, 000	87, 000	01,000	87, 000	261, 000	87, 000	87, 000	87, 000	87, 000	348, 000	939, 000
<b>ċ</b>		予算計上額	98, 500	85, 500	84, 000	268, 000	87, 000			174, 500					0	442, 500
-		実 績 額	24, 905	63, 653	70, 051	158, 609	69, 847			69, 847					0	228, 456
れ	一般財源	計画額	25, 000	25, 000	33, 000	83, 000	22, 000	22,000	22, 000	,	22, 000	22, 000	22, 000	22, 000	88, 000	237, 000
,		予算計上額	24, 625	21, 375	21, 000	67, 000	21, 750	,		42, 750					0	109, 750
<i>t</i> =		実 績 額	6, 226	15, 913	17, 513	39, 652	17, 464			17, 464					0	57, 116
事	事業費合計	計画額	198, 000	198, 000	264, 000	660, 000	174, 000	174, 000	174, 000	522, 000	174, 000	174, 000	174, 000	174, 000	696, 000	1, 878, 000
		予算計上額	197, 000	171, 000	168, 000	536, 000	174, 000	174, 000	0	348, 000	0	0	0	0	0	884, 000
業		実績額	49, 809	127, 305	140, 103	317, 217	139, 695	_	0	139, 695	0	0	0	0	0	456, 912
費の推	事業費予算の 内容		消耗品費	消耗品費	報償費 消耗品費 通信運搬費		消耗品費	報償費 消耗品費 通信運搬費								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		いきいき運動推 進員Tシャツ作 成費の減	報償費の減	報償費の減		報償費の増	同額								
	実績との比較 (増減理由)		新型コロナウイ ルスにない ルスには の減少に に動 のの中止によ り減額	ルス感染症拡大 防止による活動			報償費、消耗品 費の減額									

		(「手段」をもとに		指標名:いきいき				いきいき体操を実									
成果	指標 1	(「成果」をもとに	設定)	指標名:いきいき			指標の求め方:道	<b>重動推進員派遣時</b>	のいきいき体操参								
				第1年次	第1次実施	3 力年計画 第 3 年次	D# 0 + F	第 4 年次	第2次実施第5年次	3 力年計画	<b>***</b> ***	第7年次	第8年次	3次実施4カ年計 第9年次	計画 第10年次	D+ ++	第 7 期総合計画
				第1年次(3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	(6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第 / 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	合計
		活動指標 1	計画値	13	13	13		14	14	14		15	15	15	15		
	指標	(単位/回)	実績値 計画値	12 1, 600	11	1. 600		11	1, 700	1. 700		1. 800	1, 800	1. 800	1. 800		
	Jak	成果指標 1 (単位/人)	実績値	518	884	881		919	1, 700	1, 700		1, 000	1, 000	1, 000	1, 800		
		事業の達成度 (活動指標をもと	(二評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもと					あまり上がってい ない										
		事業の効率性(事業費に対する					少し上がっている										
		総合評価	//////				普通である										
事務事業評価	評価内容	総合評にの自己が	画の判断標 たは指標す され	ル伴宣止を活加て感老針を体コう人て定力に書期中動人い染人と控も口場がおのが、歌寺門上回数る予クしえあナに少り結び、東下拡急んはた及減まのブ、いたでく体かしなり、ないないとでいる。くな力らて、大事延活為び少た為の活た。、くな力らては態防動、参し、、方動団集るっ測筋いに態防動、参し、、方動団集るっ測筋いに態防動、参し、	ル伴活がねしし参団はら活体体果皆たち準くてる動る保予スい動助あ予て、加体、ず動も力、基が座以筋い。のた持防窓、をっ定いコ者に参、しあ測平準、り下力る継必め増を、一体た通た口がつ加少てっ定面以握でのが傾続要、進推玩時団、活し禍ってが数る。結行だ・、が下でたが康介しにに体概動かでた 戻で団 はっ立基多しあ運あの護てにに体概動かでた 戻で団	類下制定きコたず動団団連るの力で下況カイに動で増懸が限通た口参、を体体動が結・、のでのル、を、健定たくにし禍者人つあ継行体で足国がっ持防続う康介にた概活かでは数てる続つ力は立平多た・のしこの護司めね動し減戻でい。して測、ち均い。フたてと保可のは動し減戻でい。して測、ち均い。フたてと保証がでは、からのは、対したのとない。とのは、対したのとは、対したのは、対して、対しているが、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対し、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対し、対したのは、対したが、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対しないが、対したいのは、対しないが、対したのは、対しないがは、対したのは、対したいがは、対したのは、対したのは、対したが、対したいがは、対したいが、対したいが、対したいが、対したいがもが、対したいが、対しないが、対したいが、対しないが、対したいが、対しないが、はないが、対しないが、はないが、はないが、はないが、はないが、はないが、はないが、はないが、は	ル伴館く画るいた活指にい体は表対らし3年比し戻こ通れのき、洗さいた活指にい体は表対らし3年と対ってよるいがな通こ状。動標は、操、者策、て度対ってよる、抗のき、焼ちでの標もし、施会、講操りとる参きりる独内でど実であた。計で、時場感じを、年と加て、1、1とでは、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	人がよる参よも新や地規なりけすレるめ果運うジきクコうよ加りあ規老域加い、でるイの、的動ショ体の一つでは、大増る団人サ入状地運だルは自にがヨン操フナ実に数え。体クロ者況域動け予難宅継で一のを活前でり以団か申ずの増あ催実はをいもしるバシに所ながに関なていい作成がでり以団か申ずの増あ催実はをいもしるがきといればあり、前体し請・新え だ施フ図た効たよーいし動のき、前体し請・新え だ施フ図た効たよーいし動のき、前体し請・新え	自己分析:	自己分析:	判斷理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性					現状のまま継続										
	方向 <sup>†</sup> 改善、 (R5、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		R5: ・ 大いにし、 ・ 大いにし、 ・ は、 ・ は 、 は 、 は 、 も 、 は 、 も も も も も も も も も も	《使用できなくは、 令和4年のでき度に、 表者制のではでいるでは、 でのいるでは、 でいるでは、	市立病院のリハト助推進員に向けた 動推進員に向けた いたではのが低下 性に感染症場のにてに引す で、後にコロを で、後にコロを とので、 とので、 を を ものいたで、 というで、 を を を を を を で を を で を で を で を で の が を で の い で に の い で に の い で に の い で に の ら で り で り で で り で を し で を り で を し で と で と で と で と で と を と で と を と を と を と	に活料を 活料を で で で に で に で に で に で に に に に に に に に に に に に に	IR8 :				R10 :					

# [PLAN]

# 事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	成年後見支援	センター運営	事業		事業期間	平成	29年度 ~	— 年度	]					
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施するのか)	認知症、知的障害護するとともに、	号、精神障害等に。 認知症高齢者等:	より判断能力が十: が、地域で安心し	分でない者(以 <sup>-</sup> て暮らすことが <sup>-</sup>	- 下「認知症高齢者等 できるよう成年後見	F」という。) 見制度の利用促	の権利を尊重し接 進を図る。	手段 (どのような方法で 実現するのか)		度全般を担う窓口	を明確化し、住民			福祉協議会に業務委託すること 立に関する連携、市民後見人養成
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内に居住する記	恩知症高齢者等及	びその親族並びに	認知症高齢者等の	の生活を支援しよう	うとする者。			成年後見制度の表続けることができ		とにより、認知症	高齢者等の権利な	を尊重しながら、イ	主み慣れた地域で安心して暮らし
事業開始時の状況緯	市内に居住する認知症高齢者等及びその親族並びに認知症高齢者等の生活を支援しようとする者。 治時の状況・これまでの経 認知症、知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない人が成年後見制度を的確に利用						を的確に利用でき	るよう支援を行うこ	こと、制度の周知等	等を目的として平	成29年4月に成年征	<b>後見支援センター</b>	を開設した。	

# [DO]

# 実績

		第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費 計画額	300, 000	300, 000	300, 000	900, 000	385, 000	385, 000	385, 000	1, 155, 000	385, 000	385, 000	385, 000	385, 000	1, 540, 000	3, 595, 000
予算計上額	300, 000	385, 000	,	1, 070, 000	385, 000	385, 000		770, 000					0	1, 840, 000
実績額	300, 000	385, 000	385, 000	1, 070, 000	385, 000			385, 000					0	1, 455, 000
道 費計画額	1, 300, 000	1, 300, 000	1, 300, 000	3, 900, 000	342, 000	342, 000	342, 000	1, 026, 000	342, 000	342, 000	342, 000	342, 000	1, 368, 000	6, 294, 000
予算計上額	1, 300, 000	1, 692, 000	342, 000	3, 334, 000	342, 000	342, 000		684, 000					0	4, 018, 000
実績額	1, 300, 000	1, 692, 000	342, 000	3, 334, 000	342, 000			342, 000					0	3, 676, 000
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額	179, 000	179, 000	179, 000	537, 000	230, 000	230, 000	230, 000	690, 000	230, 000	230, 000	230, 000	230, 000	920, 000	2, 147, 000
予算計上額	179, 000	230, 000	,	639, 000	230, 000	230, 000		460, 000					0	1, 099, 000
実 績 額	179, 000	230, 000	230, 000	639, 000	230, 000			230, 000					0	869, 000
れ 一般財源 計画額	151, 000	151, 000		453, 000	1, 543, 000	1, 543, 000	1, 543, 000	4, 629, 000	1, 543, 000	1, 543, 000	1, 543, 000	1, 543, 000	6, 172, 000	11, 254, 000
予算計上額	151, 000	193, 000	1, 543, 000	1, 887, 000	1, 543, 000	1, 543, 000		3, 086, 000					0	4, 973, 000
ま 績 額	151, 000	193, 000	1, 543, 000	1, 887, 000	1, 543, 000			1, 543, 000					0	3, 430, 000
事業費合計 計画額	1, 930, 000	1, 930, 000	1, 930, 000	5, 790, 000	2, 500, 000	2, 500, 000	2, 500, 000	7, 500, 000	2, 500, 000	2, 500, 000	2, 500, 000	2, 500, 000	10, 000, 000	23, 290, 000
予算計上額	1, 930, 000	2, 500, 000	2, 500, 000	6, 930, 000	2, 500, 000	2, 500, 000	0	5, 000, 000	0	0	0	0	0	11, 930, 000
業 実績額	1, 930, 000	2, 500, 000	2, 500, 000	6, 930, 000	2, 500, 000	0	0	2, 500, 000	0	0	0	0	0	9, 430, 000
費	委託料	委託料	委託料		委託料	委託料								
事業費予算の														
の「中本質」が														
144														
推	同額	委託料の増	同額		同額	同額								
移业与工工工	门积	安式科の増	印		问領	问領								
前年度予算との比較														
(増減理由)														
	同額	同額	同額		同額									
実績との比較	1										l			
美槻との比較  (増減理由)											l			
											l			
					1									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:委託料	指標の求め方:委託料
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:相談利用件数	指標の求め方:相談利用件数

						第 1 次 軍 施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			笙	3次実施4力年計	上画		//r = ++0
				-	第1年次	第2年次	第3年次	実施 3 力年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標	1	計画値	1, 930	1, 930	1, 930		1, 930	1, 930	1, 930		1, 930	1, 930	1, 930	1, 930		
	指	(単位/千		実績値	1, 930	2, 500	2, 500		2, 500									
	標	成果指標		計画値	30	30	30		30	30	30		30	30	30	30		
		(単位/件	<b>‡</b> )	実績値	22	26	24		36									
		事業の達成 (活動指標		に評価)				達成されている										
		事業の成績 (成果指標		に評価)				変わらない										
		事業の効率		成果)				変わらない										
		総合評価						良好である										
事務事業評価	評価内容	料理ので	総合評価 合評価 由ま 積 の 合 自 己 合	面の判断では指標では、 には指標する がある。	社成ンしセ降のてたつ値も後る相る知揮に行う会年タ、ン、育き、いをの見専談な識す、う浸金年ターツ・市成で相て若の人門をどとる広な透逸見を成一民をい談は干、、職受、経と報だった。となれていたといいなのは、 はいは、 はいは、 はいは、 はいは、 はいは、 はいは、 はいは、 は	成ンしセ降のてたつ値も後る相る知揮に行の年を入い、育き、いをの見専談な議す、う浸見を成一民をい談は干、、職受、経と報ども支委犯開後実会件、下市市関かけ幅験と周市区を開発原施。数計回民係ら付広をも知民の 教計回民係ら付広をも知民のである。	自社成ンしセ降のてたつ値も後る相る知揮に行のて自社成ンしセ降のてたつ値も後る相る知弾に行ってうる。 一般の見い こうとう いきの見 見をい談は干、、職受、経と報どもいが強後一平夕市成で相て若の人門をどとる広な透てが強くをのい談は干、、職受、経と報どもいます。 会提託年設見施。数計回民係ら付広をも知民ら。会提託年設見施。数計回民係ら付広をも知民ら。 は、	成てしのてり門幅け状フ催に度知こでた果はて、い、職広付とすす、全もとある標目な々傾民至相で年ラと年のつらと標目な々傾民至相で年ラと年のつらとに標い増向かる談い市人と後市で、判判の達のしあ専で受現 開 制周る好しい達のしあ専で受現 開 制周る好しい	社成ンしセ降のてたつ値民係。 無機・一年のでは、すののでは、する。 は、一年のでは、すののでは、する。 は、一年のでは、すののでは、する。 は、一年のでは、する。 は、一年のでは、する。 は、一年のでは、まないでは、まないのでは、まないでは、まな		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方[	<b>向性</b>					現状のまま継続										
		フレの刀	1-7 IX		R5 · 会後 ± 市 足 =	一ズが増加して	ハくことも想定さ		R8 :				R10 :					
	改善、	生の判断理 改革の内 R8、R10)	容		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 人きと判断した。	,											

# [PLAN]

# 事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	成年後見制度	利用支援事業	ŧ		事業期間	平成	22年度 ~ -	- 年度						<u></u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的(何のために実施するのか)	判断能力が十分での援助及び権利接		いて、民法で規定	する成年後見制度	・ 度の利用を支援する	ことにより、	対象者の生活自立	手段	成年後見の申立/ 成年後見人報酬?		はいるが費用の負 困難な場合、本人	担が困難な場合、 に対し、報酬相当	4額を補助する。	∃する。 Σ費用相当額を補助する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	要支援者本人また	とは申立人となる!	親族					成果 (どのような効果が 得られるのか)	成年後見が必要と	と判断される高齢:	者の生活自立の援	助及び権利擁護を	図ることができる	5.
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	認知症高齢者の均	曽加に伴い、成年紀	<b>後見制度の利用を</b>	必要とする高齢者	の増加が予測	されることから、制	度の利用が円滑に	行われるよう平成	成22年度より事業を	を開始した。介護	保険特別会計 地	或支援事業(任意	事業)として実施している。

# [DO]

実績

						第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費	計画額	321, 000	321, 000	321, 000	963, 000	705, 000	705, 000	705, 000	2, 115, 000	705, 000	705, 000	705, 000	705, 000	2, 820, 000	5, 898, 000
				予算計上額	621, 000	705, 000	705, 000	2, 031, 000	705, 000	706, 000		1, 411, 000					0	3, 442, 000
				実績額	358, 050	581, 350	443, 687	1, 383, 087	389, 548			389, 548					0	1, 772, 635
	道		費	計画額	160, 000	160, 000	160, 000	480, 000	352, 000	352, 000	352, 000	1, 056, 000	352, 000	352, 000	352, 000	352, 000	1, 408, 000	2, 944, 000
				予算計上額	310, 000	352, 000		1, 014, 000	352, 000	,		705, 000					0	1, 719, 000
				実績額	179, 025	290, 675	221, 843	691, 543	194, 774			194, 774					0	886, 317
	地	方	債	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
入	そ	の	他	計画額	191, 000	191, 000		573, 000	421, 000	121,000	421, 000	1, 263, 000	421, 000	421, 000	421, 000	421, 000	1, 684, 000	3, 520, 000
à				予算計上額	371, 000	421, 000		1, 213, 000	421, 000	,		842, 000					0	2, 055, 000
				実績額	213, 900	290, 675	265, 060	769, 635	232, 717			232, 717					0	1, 002, 352
れ	_	般 財	源	計画額	162, 000	162, 000		486, 000	356, 000	000, 000	356, 000	1, 068, 000	356, 000	356, 000	356, 000	356, 000	1, 424, 000	2, 978, 000
_				予算計上額	312, 000	355, 140		1, 022, 280	356, 000	,		710, 000					0	1, 732, 280
た				実績額	179, 025	347, 300	221, 846	748, 171	194, 776			194, 776					0	942, 947
事	事意	集費 台	合計	計画額	834, 000	834, 000	834, 000	2, 502, 000	1, 834, 000	1, 834, 000	1, 834, 000	5, 502, 000	1, 834, 000	1, 834, 000	1, 834, 000	1, 834, 000	7, 336, 000	15, 340, 000
				予算計上額	1, 614, 000	1, 833, 140	1, 833, 140	5, 280, 280	1, 834, 000	1, 834, 000	0	3, 668, 000	0	0	0	0	0	8, 948, 280
業				実績額	930, 000	1, 510, 000	1, 152, 436	3, 592, 436	1, 011, 815	0	0	1, 011, 815	0	0	0	0	0	4, 604, 251
費の推	事業	費予算 内容			手数料 補助金	通信運搬費 手数料 補助金 委託料	通信運搬費 手数料 補助金 委託料		通信運搬費 手数料 補助金 委託料	通信運搬費 手数料 補助金 委託料								
移		F度予算の比較 の比較 自減理日	交		委託料の増	委託料の増	同額		同額	同額								
		責との」 曽減理[			補助金等の未執行による減		補助金等の未執行による減		補助金等の未執 行による減									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:助成金額	指標の求め方:助成金額(市負担金額)
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:利用件数	指標の求め方:利用件数

						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	41-	活動指標 (単位/千		計画値	753	<b></b>	753		753	753	753		753	753	753	753		
	指標	成果指標		実績値 計画値	150		137		3	3	3		3	3	2	3		
		成果抽標 (単位/件		実績値	1	2	2		0	<u>_</u>			<b> </b>	<u>_</u>	<u>~</u>			
		事業の達成 (活動指標		こ評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成 (成果指標		こ評価)				少し上がっている										
		事業の効果		成果)				少し上がっている										
		総合評価						良好である										
事務事業評価	評価内容	0	総合評価 理由ま積値 の実見己分れ	の判断標は関す	報りは回認増れ性しの用こ用いな後連ら度のめ働、計つ知か、はて理負とがうい見携、利制さい作でした。 は、語のでは、原業いる不がらま態うン図年支周にのは、原業いる不がらま態うン図年支周にのと。足困制なに、タリ後援知事のと。と取りに、成ので、ので、ので、のでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	報りは回認増れ性しの用こ用いな後連ら度のめ酬、計っ知加・高い解とがうい後事よせを成用度と伴続値い高見業いる不がお進事よせを成用度られると。とのと、とのと、との関担が進事よせをの勝込のと。足関制なに、タリ後援知事とをる齢込のと。足関いて、の、変断度費な利とら年とが制業舎のして、の、変断度費な利とら年とが制業舎のして、の、変断度費な利とら年とが制業舎のして、の、変断度費な利とら年とが制業舎のして、の、変断度費な利とら年とが制業舎のして、の、変断度費な利とら年とが制業舎のして、の、変数を表して、の、変数を表して、の、変数を表して、の、変数を表して、の、変数を表して、の、変数を表して、の、表して、の、表して、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の	報りは回認増れ性しの用こ用いな後連ら度酬、計画の知い、はて理負とがうの見携、別にないのと。 たいのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのとのと	成酬申実齢支がらした。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	果指数ともに目標にはが 標にがずの増加を 高込要性は高い の必要性は高い	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	神 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	
		今後の方「	向性					現状のまま継続										
	改善、	生の判断理 . 改革の内 . R8、R10)	容		R5:成年後見人の を鑑みると、今台 る。	の報酬(補助)の 後は需要が増える	実績もあり、認知 要素もあり現状の	症高齢者の増加 まま事業継続す	R8 :				R10 :					

# 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	除雪サービス	事業			事業期間	平成	8年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	1-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施するのか)	冬期間において	余雪労力の確保が	困難な高齢者世帯	痔が、地域で安 <i>≀</i>	・ 心して在宅生活がで	きるよう除雪	支援を図る。		団体、企業等に第 玄関先から公道 利用者負担金(1	までおおむね幅1mi	程度の除雪を行う		おいて、早朝まで	でに10㎝以上降雪があった場合、
	おおむね70歳以_ で除雪することが		ま重度身体障害者	世帯(身体障害	者手帳1級又は2級	の手帳を有す	る世帯)で、自力	成果 (どのような効果が 得られるのか)	冬期間に通院等で	で外出する際の通	路を確保すること	:により、地域で安	で心して暮らせる。	よう在宅支援が図られる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成13年度から、	市内に扶養義務者 いては、行財政改革	のいる世帯にも					、平成20年度には	は1世帯45,125円/	゚゙1シーズンに、ヨ	平成27年度には最	氐賃金及び燃料費	の上昇から 1 世帯47, 532円/ 1 シー

# [DO]

実績

						第 1 次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	道		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	地	方	債	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
入	そ	の	他	計画額	1, 425, 000	1, 425, 000	1, 425, 000	4, 275, 000	1, 350, 000	1, 350, 000	1, 350, 000	4, 050, 000	1, 350, 000	1, 350, 000	1, 350, 000	1, 350, 000	5, 400, 000	13, 725, 000
± ≥				予算計上額	1, 425, 000	1, 425, 000		4, 275, 000	1, 350, 000	1, 350, 000		2, 700, 000					0	6, 975, 000
				実績額	1, 311, 544	1, 388, 455	1, 159, 190	3, 859, 189	1, 129, 227			1, 129, 227					0	4, 988, 416
れ	<del> </del>	般 財	源	計画額	3, 251, 000	3, 251, 000		9, 753, 000	3, 257, 000	3, 257, 000	3, 257, 000		3, 257, 000	3, 257, 000	3, 257, 000	3, 257, 000	13, 028, 000	32, 552, 000
_				予算計上額	3, 251, 000	3, 271, 000		9, 813, 000	3, 257, 000	3, 428, 000		6, 685, 000					0	16, 498, 000
た				実績額	2, 991, 636	3, 186, 225	2, 676, 567	8, 854, 428	2, 724, 148			2, 724, 148					0	11, 578, 576
事	事	業費合	計	計画額	4, 676, 000	4, 676, 000	4, 676, 000	14, 028, 000	4, 607, 000	4, 607, 000	4, 607, 000	13, 821, 000	4, 607, 000	4, 607, 000	4, 607, 000	4, 607, 000	18, 428, 000	46, 277, 000
				予算計上額	4, 676, 000	4, 696, 000	' '	14, 088, 000	4, 607, 000	4, 778, 000	0	9, 385, 000	0	0	0	0	0	23, 473, 000
業				実績額	4, 303, 180	4, 574, 680		12, 713, 617	3, 853, 375		0	3, 853, 375	0	0	0	0	0	16, 566, 992
費						委託料 49,422円×95件	委託料 49 635円×95件		委託料 51 186円×90件	委託料 53,078円×90件								
	事	<b>集費予算</b>	草の		10, 210, 1100,	10, 122, 1	10, 0001 1 0011		01, 100, 2 00, 1	00, 070, 1 00, 1								
の		内容																
推																		
,,,,			-		前年度同額	最低賃金の上昇	最低賃金の上昇		利用見込件数の	最低賃金の上昇								
移	前	丰度予算	音レ			による委託料増			減による委託料	による委託料増								
		の比較							の減									
	()	曽減理日	由)															
					申請見込件数の	途中廃止による	申請見込件数の		申請見込件数の							·		
		責とのと			沙	減 3月補正 247千	減 3月補正△497千		減 3月補正△256千									
	()	曽減理日	自)			円	円		円									
					•							•						

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:除雪出菫	<b>协日数</b>		指標の求め方:除	余雪出勤日数									
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:利用件数	女		指標の求め方:和	间用件数									
		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
	第 1 年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	宝施 4 力 任	総合計画

				第1次実	施3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年記	+画		第 7 期
			第 1 年 (3年度		第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	+E	活動指標 1 計画 (単位/日) 実終			0 50 4 24		50 23		50		50	50	50	50		
	指標	成果指標 1 計画			5 95		95		95		95	95	95	95		
		(単位/件) 実統	漬値	90 9	5 79	)	77									
		事業の達成度 (活動指標をもとに評	至価)			あまり達成されていない										
		事業の成果 (成果指標をもとに評	至(価)			変わらない										
		事業の効率性(事業費に対する成果				変わらない										
		総合評価	,			良好である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の 理由または の実績値に る自己分析	とりる(の) というには、は値でたが多をたつとと安活には、してるこも生産権でれる。 とと安活保に とりる (の) 刺生な考か心をにな考か心をにな考か心をになった。	画。 市 は下に下、 所 は下に本 に は に は に は に は に は に は に に は に に に に に に に に に に に に に	件りり降な期生な考かいよい。 は回例ののつのののののいののでした要が、しにるとを ではまりが、しにる後 値おりが、しにる後 になっている後 になっているとも になっているとも になっているとも になっているとも になっているとも	はうさいでは、はいかでは、出たるもにのでの境でいる。は、出たあつ値とり宅保についたのでは、程能のがかいて同いでの境でいなどのでは、程能のがからいた。といいて、は、特には、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	件数には、 は、 は		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		<b>☆</b> 終のま良桝				現状のまま継続										
		今後の方向性	R5 :				R8 :			l .	R10 :					
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)	高齢者世帯 と考えられ	の増加に伴い、今後・ るため、事業は現状 後の担い手事業所を私	Dまま継続するが、	除雪が手作業で										

平成3年度 ~ — 年度

事業期間

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

事業 名 緊急通報装置設置事業

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	1-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的(何のために実施するのか)			通報装置を設置す、在宅生活の不安		- 急病・災害発生時に 。	おける迅速か	つ適切な対応及び		緊急通報装置をと人命の安全を		及び緊急通報が広	<b>基域消防組合へ直</b> 道	種でつながることに	こより、高齢者の生活不安の解消
対象 (誰・何を対象として いるのか)	65歳以上の高齢ネ	<b>皆世帯に属する身</b>	体病弱な者及び重	<b>变身体障害者等</b> 。	,			成果 (どのような効果が 得られるのか)	高齢者等の生活	不安の解消と人命	の安全確保が図ら	れる。		
事業開始時の状況 緯	兄・これまでの経	平成17年度に設 平成24年度より	置委託料の引き下げ 、緊急通報装置にご	げを行う (1機あ いて買取りから		,500円)。ま <i>t</i> 、あわせて対象	と同年度に広域消防 象要件をおおむね65	組合設置のセンタ 歳以上で一人暮ら	ーパソコンの更新しの病弱な高齢	新を行っている。 者及び重度心身障		上の高齢者世帯に	属する身体病弱な	な者及び重度身体障害者等へ拡大し

#### [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地 ブ	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
入	₹ 0	の他	計画額				0				0					0	0
<b>₹</b>			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	一 般	財源	計画額	1, 015, 000	1, 015, 000		3, 045, 000	1, 323, 000	1, 323, 000	1, 323, 000		1, 323, 000	1, 323, 000	1, 323, 000	1, 323, 000	5, 292, 000	12, 306, 000
た			予算計上額	1, 015, 000	1, 033, 000	1, 150, 000	3, 198, 000	1, 323, 000	1, 323, 000		2, 646, 000					0	5, 844, 000
12			実績額	535, 370	913, 228		2, 349, 058	777, 260			777, 260					0	3, 126, 318
事	事業費	費 合 計	計画額	1, 015, 000	1, 015, 000	1, 015, 000	3, 045, 000	1, 323, 000	1, 323, 000	1, 323, 000	3, 969, 000	1, 323, 000	1, 323, 000	1, 323, 000	1, 323, 000	5, 292, 000	12, 306, 000
			予算計上額	1, 015, 000	1, 033, 000	1, 150, 000	3, 198, 000	1, 323, 000	1, 323, 000	0	2, 646, 000	0	0	0	0	0	5, 844, 000
業			実績額	535, 370	913, 228	900, 460	2, 349, 058	777, 260	0	0	777, 260	0	0	0	0	0	3, 126, 318
費の推		予算の  容		6,050円×25件 9,900円×5件 14,300円×30件 5,500円×70件	6,050円×25件 9,900円×5件 14,900円×30件 5,500円×70件	6,600円×70件		9,900円×5件 16,500円×30件 6,600円×95件	委託料 6,050円×25件 9,900円×5件 16,500円×30件 6,600円×95件								
移	の上	予算と 比較 (理由)			費の単価変更に よる増	費の単価変更に よる増		火災感知器工事 費の単価変更お よび点検見込件 数の増	同額								
	実績と (増減	の比較(理由)			減 3月補正	申請見込件数の 減 3月補正 △104千円		申請見込件数の 減 3月補正 △293千円									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:安全確保が図られた件数	指標の求め方:年	F度内の新規設置数									
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:総設置数	指標の求め方:年	の求め方:年度末総設置数									
_	第1次実体3ヵ年計画	_	第2次宝族3カ年計画	第 3 次宝族 / 九年計画	I							

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
		Lange to the land	! at == /+	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度) 30	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	Tā āT
	指	活動指標 1 (単位/台)	計画値実績値	30 14	<b>{</b>	30 12		12	30	30		30	30	30	30		
	標	成果指標 1	計画値	160		160		160	160	160		160	160	160	160		
		(単位/台)	実績値	142	144	134		121									
		事業の達成度 (活動指標をも	とに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果(成果指標をも					少し上がっている										
		事業の効率性(事業費に対す					少し上がっている										
		総合評価	る以末)				良好である										
		WO LI III		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務事業評価	評価内容	理由自	平価の判断標 たたは指揮す 会が析	画いつ普もえ置は出にが上下がに活び他るい及のて置、よ新回回、よ不急を下、は加一るつ亡設を設計で器、の等下、は加一るつ亡設を設計で器、の等い、は加一るつ亡設を設計で器、の等級は加一るのでは設め、等数をを 置生及時では、	画いつ普もえ置は回前お置生及時切が施値るい攻ので数、っ年りに活びのなっ策には加一るつ画い上機り安病速応お判でを、よ不急迅対でと下、は加一るつ画い上機り安病速応お判にり断した。 いん 選手 と終てをがっの在解発つつ有してにのる捉設 下、て設宅消生適な効ででにのる捉設 下、て設宅消生適な効で	画いつ普もえ置は出にが上下がに活び値るい及地の大変、 にあえりっ 機りを病るが見りている。 にかりに対している。 いや入止置画いの在と総で転りで決定と総で転りできる。 いや入止性が値る設定消生では加一るつに設定としてにのる提設・等数をを 置生及時では、	良好と判断した。	画値を下回ってにいるがはないのではないではかいの地ではないのでいいといいます。これでいるのでいるのでいるのでいる。総設をはない。									
		 今後の方向性					現状のまま継続										
		一夜の万円住		R5·在字生活不安	┃ ケの解消及び急症	<b>等発生時の迅速か</b>	の適切な対応に	R8 ·				R10 :					
	改善、	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)			とから、現状の		~ KE 91 (6 A) IW (										

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	訪問看護事業	!			事業期間	平成	6年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施するのか)			、健康保険法及び 在宅における療養		- る訪問看護を実施す 。	- ることにより	、健康状態の観察	手段 (どのような方法で 実現するのか)		確保に関する法律 ビス(リハビリテ			づき、医師の指示(	こより看護師等が訪問し、在宅に
対象 (誰・何を対象としているのか)	在宅での療養等が	<b>「必要な高齢者、</b> 」	難病者、心身障害	者(児)等。				成果 (どのような効果が 得られるのか)	在宅における療法	養等が必要な高齢	者、難病者、心身	}障害者(児)等の	の生活及び心身機能	能の維持回復支援が図られる。
事業開始時の状況 緯	か) 開始時の状況・これまでの経 高齢者の在宅療養を支援するため訪問看護サービスが必要であったことから、平成6年度社団法人北海道総 入会初年度は、入会金100千円、訪問看護ステーション拠出金3,000千円及び年会費700千円を支出し、平成7										人)に入会し、市	「内に訪問看護スラ	テーションを開設し	_t

# [DO]

実績

				第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額	(0年度)	(44)	(0千皮)	0	(0+12/	(7年度)	(0千尺)	0	(3千尺)	(10年度)	(日午及)	(12年度)	0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
	<u> </u>	予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
12		実績額				0				0					0	0
入	その他	計 画 額				0				0					0	0
<b>ċ</b>		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額	700, 000	700, 000	700, 000	2, 100, 000	700, 000	700, 000	700, 000	2, 100, 000	700, 000	700, 000	700, 000	700, 000	2, 800, 000	7, 000, 000
4		予算計上額	700, 000	700, 000	700, 000	2, 100, 000	700, 000	700, 000		1, 400, 000					0	3, 500, 000
<i>t</i> =		実 績 額	700, 000	700, 000	700, 000	2, 100, 000	700, 000			700, 000					0	2, 800, 000
事	事業費合計	計画額	700, 000	700, 000	700, 000	2, 100, 000	700, 000	700, 000	700, 000	2, 100, 000	700, 000	700, 000	700, 000	700, 000	2, 800, 000	7, 000, 000
		予算計上額	700, 000	700, 000	700, 000	2, 100, 000	700, 000	700, 000	0	1, 400, 000	0	0	0	0	0	3, 500, 000
業		実績額	700, 000	700, 000	700, 000	2, 100, 000	700, 000	0	0	700, 000	0	0	0	0	0	2, 800, 000
費			負担金	負担金	負担金		負担金	負担金								
	事業費予算の															
の	内容															
推																
			前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額									
移	前年度予算と															
	の比較															
	(増減理由)															
			同額	同額	同額		同額									
	実績との比較															
	(増減理由)															

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:負担金額	指標の求め方:負担金額
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:延利用者数	指標の求め方:延利用者数

					第 1 次宝施	3 力年計画			笠 2 次宝 旅	3 力年計画			~	3次実施4力年記	+画		605 - HD
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標			700	700		700	700	700		700	700	700	700		
	指標	(単位/	人根旧		700 700	700 700		700 700	700	700		700	700	700	700		
	Jak	成果指標 (単位/			658	755	<b>_</b>	629	700	700		700	700	700	700		
		事業の達所 (活動指標			300	700	達成されている										
		事業の成身 (成果指標	果震をもとに評価)	)			上がっている										
		事業の効果	率性 ニ対する成果)				上がっている										
		総合評価					良好である										
事務事業評価	評価内容	I	田市士たけだだ	自北ケ定をに護がるは回の活なおり、一さ利値によい、一さ利値にいたの名をみてしたが、業員す、一さ利値にでいたの名をみてしたが、一さ利値にでいたの名をみてしたをは、回いてお割、あ在すケ用化が金に関すて者下も養重っな考療の議連る「長く」という。	ケ定をに護がるは回の活なお業る推地をアす支よス開張が高計っ、に役りで。進ヶ川撃負す、一さ利値い宅いを必る宅るアし、一つのでは、あ在すり、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つでは、一つのでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	ケ定をに護がるは回か生要で事えをめてする出りている。 こうではない でいまない でいまない でいこう でいい に役りで、 に役りで、 進地 でいる出り、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	を上回っており、良好と判断した。	北海道総合在宅 ケア事業団が規 完する負担会額	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方「	 向性				現状のまま継続										
		7 22773				┃ 、医療機関及びケ れており、現状の	アマネジャー等	R8 :			<u>II</u>	R10 :					
	改善、	性の判断理 、改革の内 、R8、R10)	容	(5年度成果指標 保険165人(25.1%		ち、介護保険493ノ	人(74.9%)、医療										

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	高齢者世帯等	雪下ろし助成	<b>艾事業</b>		事業期間	平成	27年度 ~	— 年度						·
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
					っ の雪下ろし等の作業 な在宅生活の確保を		託した場合、その	<ul><li>手段 (どのような方法で 実現するのか)</li></ul>	事業者は作業報 金を支出する。 ◇申請回数:同		に基づく完了届を 。 ◇助成金額	市に提出し、それ (1回分):作業費	iらの確認をもっ 使用額の1/2以内と	委託先事業者を選定してもらい、 て本人若しくは事業者に対し助成 : し、屋根の雪下ろし及び塞がれた 上限とする。
			は重度身体障害者	世帯(身体障害	者手帳1級又は2級	めの手帳を有す	る世帯)で、自力	成果 (どのような効果が 得られるのか)	冬期間の除雪作	業による事故防止	と地域で安心して	〔暮らせるよう在9	己支援が図られ、	加えて居宅保全にも繋がる。
事業開始時の状況 緯									きと併せ、冬期間	の快適な住環境を	確保する。 (27年	度6月補正)		

# [DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
I	国 費	計画額	(0年度)	(4年度)	(3年度)	11 11 0	(0年度)	(/年度)	(0年度)	11 111	(9年度)	(10年度)	(日年度)	(12年度)	1 11	0
	当 只	予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
3	首 費	計画額				0				0					0	0
ľ	_ ,	予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
1	也 方 債	7 17 17				0				0					0	0
投	. ,, ,,	予算計上額				0				0					0	0
1又		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0	-			0					0	0
4		予算計上額				0				0					0	0
さ		実 績 額				0				0					0	0
れ -	一般財源	計画額	2, 000, 000	2, 000, 000	2, 000, 000	6, 000, 000	2, 000, 000	2, 000, 000	2, 000, 000	6, 000, 000	2, 000, 000	2, 000, 000	2, 000, 000	2, 000, 000	8, 000, 000	20, 000, 000
		予算計上額	2, 000, 000	2, 000, 000	2, 000, 000	6, 000, 000	2, 000, 000	2, 000, 000		4, 000, 000					0	10, 000, 000
た		実 績 額	2, 506, 000	1, 937, 000	1, 557, 000	6, 000, 000	1, 021, 000			1, 021, 000					0	7, 021, 000
事	事業費合計	計画額	2, 000, 000	2, 000, 000	2, 000, 000	6, 000, 000	2, 000, 000	2, 000, 000	2, 000, 000	6, 000, 000	2, 000, 000	2, 000, 000	2, 000, 000	2, 000, 000	8, 000, 000	20, 000, 000
		予算計上額	2, 000, 000	2, 000, 000	2, 000, 000	6, 000, 000	2, 000, 000	2, 000, 000	0	4, 000, 000	0	0	0	0	0	10, 000, 000
業		実 績 額	2, 506, 000	1, 937, 000	1, 557, 000	6, 000, 000	1, 021, 000		0	1, 021, 000	0	0	0	0	0	7, 021, 000
費			負担金補助及び	負担金補助及び 交付金	負担金補助及び			負担金補助及び 交付金								
	事業費予算の		交付金 20,000円×20件	文刊並 20.000円×20件	交付金 20.000円×20件		交付金 20.000円×60件	文刊並 20,000円×60件								
の	内容		40,000円×40件	40,000円×40件	40,000円×40件		40,000円×20件	40,000円×20件								
推																
7E -			同額	同額	同額		同額	同額								
移,	前年度予算と		1-1 mg	I-J DK	IHJ EDR		IPJ TOK	IH) TOR								
F	の比較															
	(増減理由)															
			申請数が見込み	申請数が見込み	申請数が見込み		申請数が見込み									
	実績との比較		を上回ったこと による増	を下回ったこと による減	を下凹ったこと による減		を下回ったこと による減									
	(増減理由)		0 : 0 : 0	5 : 5	5 : 5		-5.5.2									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:助成費用額	指標の求め方:即	力成費用額								
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:利用件数	指標の求め方:和	<b>á標の求め方:利用件数</b>								
_	第 1 次宝族 3 九年計画		第2次実施3九年計画	第3次実施4カ年計画	L						

				第1次実施	3 カ年計画		第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
		活動指標 1 計画	<b>}</b>		2, 000		2,000	2, 000	2, 000		2, 000	2, 000	2, 000	2, 000		
	指標	(単位/千円)     実績       成果指標 1     計画			1, 557		1, 021	60	60		60	60	60	60		
		(単位/件) 実績					64									
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価	<u>fi</u> )			達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価	fi)			変わらない										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
		総合評価				良好である										
事務事業評価	評価内容	理由また仕場	た別年を が計画に を別件数、つ知に が計画に を別に を別に を別に を別に を別に を別に を別に の知に のと のと のと のと のと のと のと のと のと のと	り期在と東がしたといい、間で生故あて引用できなめていきにという問題をあるではといいきがある。	の滅値事らり期在と果断後業別への滅値事らり期在と果れ、間宅事がして高の生然ので高の生物のでいき知るでいまれ、間で事がしていまれていまれていまれていまれていまれていまれていまれていまれていまれていません。	雪件た件下る危る安確い、判 量数が、があい。 素変動数回が検事心確い、判 が、がある。 はななにこら好す ではいましている。 ではいるとでる。 ではいるとでる。 ではいるとでる。 ではいるとでる。 ではいるといるといる。 ではいるといるといる。 ではいるといるといる。 ではいるといるといる。 ではいるといるといる。 ではいるといるといるといる。 ではいるといるといる。 ではいるといるといる。 ではいるといるといる。 ではいるといるといる。 ではいるといるといる。 ではいるといるといるといる。 ではいるといるといるといる。 ではいるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるとい	数が回業れ高の生故あていたを、国の生故あている。これで、国のでいるがおり、関画にのがおりので、国ので、政ので、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では、関係では、関係で	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		 今後の方向性				現状のまま継続										
		7夜の万円圧		■ 険な作業による事		★ 在宅生活の確保	R8 :			<u>I</u>	R10 :					
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		あり、高齢者世帯 でいくと考えられ												

#### 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

#### [PLAN]

#### 事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	社会福祉法人等	による低所得利	间用者 <b>負担額軽減</b>	制度支援事業	事業期間	平成	12年度 ~ -	- 年度					•		
事業性質区分	新規·継続 継続 建設·建設外 建設外				第7期総合計画 の位置付け	1-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係	
			いて、介護保険サ より、介護保険サ		- 行う社会福祉法人等 進を図る。	₹が、その社会	的な役割にかんが	手段(どのような方法で実現するのか)	軽減法人等が軽減対象者のサービス利用に伴う利用者負担の一部を軽減し、市が当該軽減法人等に対し軽減に要した額の一部を助成する。 軽減割合 … 1/4、ただし、利用者負担第1段階者は1/2、生活保護受給者は全額 対象サービス … 訪問介護、通所介護、短期入所生活介護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、指定介護老人福祉施設における介護福祉 施設サービス、介護予助訪問介護、介護予防通所介護、介護予防短期入所生活介護、介護予防認知症対応型通所介護 軽減対象 … 利用者負担額、食費、居住費(滞在費)						
(誰・何を対象として			市町村民税非課税 険料納入の要件を		額150万円以下(収	入基準)、預則	庁金350万円以下	成果 (どのような効果が 得られるのか)	低所得者の介護の	呆険サービスの利	用促進が図られる				
事業開始時の状況緯	平成12年度より事業開始し、利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用促進を図っている。 事業開始時の状況・これまでの経 韓 本成18年7月1日から平成20年6月30日まで、税制改正により利用者負担額の増額が見込まれることから激変緩和措置を実施した。 平成18年7月1日から平成20年3月31日まで、介護報酬改定により利用者負担額の増額が見込まれることから軽減割合を変更した。 平成24年度より、対象者に生活保護受給者を加え、同受給者の個室の居住費に係る利用者負担額の全額を軽減対象とした。														

#### [DO]

#### 実績

第1次実施3カ年計画 第2次実施3カ年計画 第3次実施4カ年計画 第 7 期 実施3カ年 実施3カ年 第1年次 第2年次 第3年次 第4年次 第5年次 第6年次 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 実施4カ年 総合計画 合 計 合 (8年度) 合 合 計 (3年度) (4年度) (5年度) 計 (6年度) (7年度) 計 (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 162,000 162,000 162, 000 486, 000 164,000 164, 000 164, 000 492,000 164, 000 164, 000 164, 000 164,000 656, 00 1, 634, 000 予算計上額 162, 000 164, 000 164, 000 490, 00 164,000 173, 000 337, 000 827, 000 実 績 額 6,000 6, 00 6,000 方 債 計画額 予算計上額 投 実 績 額 Ø 計画額 予算計上額 さ 実 績 額 55,000 計画額 55, 000 55,000 55,000 165, 00 55, 000 55,000 165, 000 55, 000 55,000 55,000 55,000 220, 00 550,000 55, 000 予算計上額 55, 000 55, 000 58, 000 278, 000 55, 000 165, 00 113, 000 実 績 額 3, 000 3 00 3, 000 計画額 219, 000 事業費合計 217, 000 217, 00 651,000 219,000 219,00 657, 000 219,000 219,000 219,000 219,000 876, 00 2, 184, 000 217, 000 231, 000 予算計上額 219,000 219, 000 655, 00 219,000 450, 000 1, 105, 000 実 績 額 9, 000 9, 000 9, 000 補助金 補助金 補助金 補助金 補助金 事業費予算の の 内容 推 見込額算出方法 サービス単価の 前年度同額 の変更により減 見直しにより増 前年度同額 サービス単価の 見直しにより増 前年度予算と の比較 (増減理由) 見込件数の減 見込件数の減 見込件数の減 見込件数の減 3月補正 3月補正 3月補正 3月補正 実績との比較 △144千円 △146千円 △146千円 △146千円 (増減理由)

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:補助金額	指標の求め方:利用者負担額軽減法人等への補助金額
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:利用者数	指標の求め方:軽減対象者としての認定を受け、本事業に係る負担額軽減を利用した者の人数

人本日本   (一人本) とりこに改定/					第1次実施	3 力年計画			第2次実施3カ年計画				第 3 次実施 4 力年計画 第 7 期					
				Ì	第1年次	第2年次	第3年次 実施3カ年		第4年次 第5年次		第6年次 実施3カ年		第7年次 第8年次		第9年次 第10年次		実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標		計画値	217	217	217		217	217	217		217	217	217	217		
	指標	(単位/=		実績値	0	0	9		0	•	0							
	175	成果指標 (単位/)	` '	計画値実績値	<u>3</u>	ა ა	ა ქ		0	3	ა		3	ა	ა ა	3		
		事業の達		天視旭	0	0	·		Ů									
		(活動指標をもとに評価)		に評価)				達成されていない										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)		に評価)				上がっていない										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)		成果)				上がっていない										
		総合評価	i					普通である										
事務事業評価	評価内容		総合評価 経由ま 経由ま を 自 を 自 る 自 る 自	面の の り 指関 断標す	象値しる社のもつ関の要 人にと。会申 を しっ はにがも心を 会申 が を 関 に と の も 関 が る に と の を 関 に と の る に き の り に と の る に も の い を 同 が も い を の り の り の と の と の と の と の と の と の と の と	談のび計績い社のづ後係制 かのび計績い社のづ後係制 が関係では、対画なる相 が関係であれてに関の が が が が が が は に が も に と 他 日 も に と 他 日 も に と 他 日 も に と 他 日 も に と 他 日 と に 他 日 と に を 他 日 と に を 関 り に り と に り と の り を り と の り と の り と の り と り と の と り と り と り	て2、名を認うでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	判実下がは割サよこは護利なとると類似の対象のである。 は、   ・    ・    ・    ・    ・    ・   ・    ・	談のび計績い社のづ後係制 かのび計績い社のづ後係制 が関連なる利くに機の は、対画なる名利くに機関の は、社事のいを由 は、対画なるを は、対画なるを は、社事のいを は、 は、社事のいを は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
	今後の方向性						現状のまま継続											
	ラ彼の方向性				R5:社会福祉法丿	┃ 【等が利用者負担	 の軽減を行うこと		R8 :				R10 :					
	改善、			あり、社会福祉法 まま継続する。	大等の申請によ	り事業を実施する	ことから現状の											

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	訪問介護低所	得利用者負担	旦扶助事業		事業期間	平成	12年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施するのか)							が可能となるよう	手段 (どのような方法で 実現するのか)	制度移行措置対象	象者については、	利用者負担の割合	☆を0%(全額免除	余) とする。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	対象													
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	国の制度改正に。 平成18年度から、	より、平成17年度:	から、低所得高齢 害者自立支援法に	よるホームヘルプ	措置を廃止し、	1割負担とした 月において境界層詞				呆険の対象者とな	り、介護保険法に	こよるホームヘルフ	プサービスを利用する者(制度移

# [DO]

実績

				第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額	, , , , , , ,	, , , , , ,	, , , , , , ,	0		, , , , , , ,		0				. , ,,,,,	0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道 費	計画額	32, 000	32, 000	32, 000	96, 000	32, 000	32, 000	32, 000	96, 000	32, 000	32, 000	32, 000	32, 000	128, 000	320, 000
		予算計上額	32, 000	32, 000	32, 000	96, 000	32, 000	31,000	·	63, 000			·	•	0	159, 000
		実 績 額	0	0	0	0	0			0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投	.	予算計上額				0				0					0	0
,^		実 績 額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
خ خ		予算計上額				0				0					0	0
_		実績額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額	11, 000	11, 000	11, 000	33, 000	11, 000	11, 000	11, 000	33, 000	11, 000	11, 000	11, 000	11, 000	44, 000	110, 000
,		予算計上額	11, 000	11, 000	11, 000	33, 000	11, 000	11, 000		22, 000					0	55, 000
<i>t</i> =		実績額	0	0	0	0	0			0					0	0
事	事業費合計	計画額	43, 000	43, 000	43, 000	129, 000	43, 000	43, 000	43, 000	129, 000	43, 000	43, 000	43, 000	43, 000	172, 000	430, 000
1		予算計上額	43, 000	43, 000	43, 000	129, 000	43, 000	42, 000	0	85, 000	0	0	0	0	0	214, 000
業		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費の推	事業費予算の 内容		扶助費及び役務 費	扶助費及び役務 費	扶助費及び役務 費		扶助費及び役務 費	扶助費及び役務 費								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)				前年度同額			介護報酬改定に よる滅								
	実績との比較 (増減理由)		3月補正	申請0件 3月補正 △27千円	申請0件 3月補正 △27千円		申請0件 3月補正 △27千円									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:免除金額	指標の求め方:免除金額
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:免除件数	指標の求め方:免除件数

						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	计画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	+E:	活動指標 位		計画値実績値	41		41		41	41	41		41	41	41	41		
	指標	成果指標:	i	夫 計画値	2	-	2		2	2	2		2	2	2	2		
		(単位/件		実績値	0		0		0	<del>_</del>			<del>-</del>	<del>-</del>		· <del>-</del>		
		事業の達成 (活動指標		に評価)				達成されていない										
		事業の成身 (成果指標		に評価)				上がっていない										
		事業の効率 (事業費に		成果)				上がっていない										
		総合評価						普通である										
事務事業評価	語 評価内容 総合評価の判断理由または指標する自己分析 を		績い福介 は い る が 、 一 保 ら に り ら ら も も も と し に り ら も も も り に り し り り し り り り り り り り り り り り り り	自対績い福らに(負措は継がが、一保し以来した。 (負指は継がが、一保し以来しするがが、一保し以来しするが、一保し以来してるる。) (自然のでは、一般のでは	績ないになって者がにいて者がにいて者が、一保にしいがのででででいる。 では、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	現在、事業の対 象者がいないこ とから、普通と 判断した。	自対議い福介を持ち、 は、	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	理由:			
		今後の方向	——— 向性					現状のまま継続										
	今後の方向性 今後の方向性 方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)				R5:現状のまま糸 利用について説明	■ 観続し、事業の対 明し適宜対応する	象となる者があっ		R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	高齢者虐待防	止事業			事業期間	平成	22年度 ~	— 年度	]					
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
	高齢者虐待を防止援を図る。	こし権利を擁護す	るとともに、介護:	者の負担を軽減	し、高齢者が尊厳あ	る安定した生	活が送れるよう	手段 (どのような方法で 実現するのか)	高齢者虐待防止 協議会に高齢者	連絡協議会におい 虐待防止支援チー	て、高齢者虐待の ムを設け、個別 <i>の</i>	)予防、早期発見、 )事例に的確かつご	対応、再発防止 <sup>(</sup> 迅速な支援を行う。	等について検討協議する。また、
対象 (誰・何を対象として いるのか)	虐待を受けている	うまたは受けてい	ると思われる高齢:	者及びその介護:	者。			成果 (どのような効果が 得られるのか)	対象高齢者及び	介護者に対し的確	かつ迅速な支援を	そ行うことにより、	安定した生活を	送ることができる。
事業開始時の状況緯	・これまでの経	平成18年4月1日	日高齢者虐待の防止	上、高齢者の養語	護者に対する支援等	に関する法律が	が施行されたこと	を受け、平成22年4	月1日関係機関	により砂川市高齢	者虐待防止連絡協	諸議会を設立し、高	。 「動者虐待の防止等	等に取り組んでいる。

# [DO]

実績

			第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
		第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費	計画額				0				0					0	0
	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
道費	計画額				0				0					0	0
	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
地 方 債					0				0					0	0
投	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
入その他	計画額				0				0					0	0
à	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
れ 一般財源	計画額	20, 000	20, 000	20, 000	60, 000	31, 000	,	31, 000		31, 000	31, 000	31, 000	31, 000	124, 000	277, 000
+.	予算計上額	31, 000	31, 000	31, 000	93, 000	31, 000			62, 000					0	155, 000
<i>t</i> =	実績額	33, 735	33, 094	33, 385	100, 214	29, 150			29, 150					0	129, 364
事業費合計		20, 000	20, 000	20, 000	60, 000	31, 000	31, 000	31, 000	93, 000	31, 000	31, 000	31, 000	31, 000	124, 000	277, 000
	予算計上額	31, 000	31, 000	31, 000	93, 000	31, 000	31, 000	0	62, 000	0	0	0	0	0	155, 000
業	実績額	33, 735	33, 094	33, 385	100, 214	29, 150		0	29, 150	0	0	0	0	0	129, 364
費		需用費	需用費	需用費		需用費	需用費								
事業費予算の															
の一内容															
推															
716		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
移並左左又等し		刑斗及问锁	刑斗及问领	刑斗及问领		刑斗及问领	刑斗及问锁								
前年度予算と の比較															
(増減理由)															
		事務経費の増	事務経費の増	事務経費の増		事務経費の減									
実績との比較			-												
(増減理由)															
						I									

THE STATE OF THE S														
活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:虐待件数	汝		指標の求め方:原	<b>皇待件数</b>									
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:解決件数	牧		指標の求め方:角	解決件数									
		第1次実施	3 力年計画			第2次実施	53カ年計画			第	3次実施4力年計	一		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	台 計
江梨北海 計画店	2	2	2		ll 2	2	2		2	2	2	2	4 "	

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3 次実施4 カ年記	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標 1 (単位/件)	計画値	2	2	2		2	2	2		2	2	2	2		
	指標		実績値	1	0	0		0	2	0			2				
	775	成果指標 1 (単位/件)	計画値実績値	2	2										<u> </u>		
		事業の達成度	夫棋胆	I	U	0		-									
		(活動指標をも	とに評価)				達成されている										
		事業の成果	とに評価)				変わらない										
		事業の効率性(事業費に対す					変わらない										
		総合評価	*J/X.X.)				良好である										
		***		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務事業評価	評価内容	理由ま	平価の判断標を ではは関連	に者チで権利に、高支をきるというに、大い、大い、大い、大い、大い、大い、大い、大い、大い、大い、大い、大い、大い、	い報子には、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、生は、生は、生は、生は、生性、生性、生性、生性、生性、生性、生性、生性、生性、生性、生性、生性、生性、	い報ももなが防会 は 来の 神な に は 、 認 か き な 高 支 に よ が き な 高 き に ら た な 高 き と に る だ よ る に き よ る に ま よ て に よ び た よ て に よ び た よ び に よ び た び た よ び た よ び た る た る た る と る と る と る と る と る と る と る		い報ももなが防会計をは、にあい定とない。とは、にあい定とない。というでは、いないのでは、いないのでは、いないのでは、いないのでは、いないないが、は、いないないが、は、いないないないが、は、いないないないが、は、いないないないないが、は、いないないないないが、は、いないないないないないないないないない。									
		 今後の方向性					現状のまま継続										
	方向惊改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		R5:高齢者虐待限 る啓発を行いなか ら、現状のままれ	がら、虐待防止及	構成機関等と連携 び虐待の早期発見	し、市民に対す	R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	介護基盤整備	支援事業			事業期間	平成	23年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	1-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施するのか)	身体または精神」 所)する施設を整	上の障害によって を備し、高齢者の	常時介護を必要と 安定した生活を確(	し、居宅におい <sup>、</sup> 保する。	- て介護を受けること	が困難な要介	護者が入居(入	手段 (どのような方法で 実現するのか)	施設整備を行うれ	社会福祉法人等に	対し費用の一部を	・助成する。		
対象 (誰・何を対象として いるのか)	施設整備を行うる	t会福祉法人等。						成果 (どのような効果が 得られるのか)	新たに施設整備る	を行うことにより	、現行施設の入所	<b>行待機者を解消し、</b>	要介護者の安定し	した生活を確保することができ
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	高齢者の増加とと だ。令和6年度に	ともに認知症高齢者 は、砂川福祉会にタ	きも増加傾向にま 対し、各施設にコ	5ることを踏まえ、 ニアコン等を設置す	平成24年度からるための補助会	ら26年度を計画期間 金を支出し、入所者	   とする第5期砂川   あ生活環境及び従	市高齢者保健福祉 事者の労働環境の	止計画・砂川市介記 の改善を図る施設	護保険事業計画に 整備を行った。	おいて、認知症高		-ム(定員18名)の整備を盛り込ん

# [DO]

実績

		第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道 費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0	241, 400, 000			241, 400, 000					0	241, 400, 000
投 予算計上額				0	241, 400, 000			241, 400, 000					0	241, 400, 000
実績額				0	228, 200, 000			228, 200, 000					0	228, 200, 000
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額				0	1, 203, 000			1, 203, 000					0	1, 203, 000
予算計上額				0	1, 203, 000			1, 203, 000					0	1, 203, 000
た実績額			1, 203, 400	1, 203, 400	5, 599, 690			5, 599, 690					0	6, 803, 090
事業費合計 計 画 額	0	0	0	0	242, 603, 000	0	0	242, 603, 000	0	0	0	0	0	242, 603, 000
予算計上額	0	0	0	0	242, 603, 000	0	0	242, 603, 000	0	0	0	0	0	242, 603, 000
業 実績額	0	0	1, 203, 400	1, 203, 400	233, 799, 690	0	0	233, 799, 690	0	0	0	0	0	235, 003, 090
費					補助金									
事業費予算の														
の一大容														
144														
推	_				砂川福祉会空調			<b> </b>						
移 ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					砂川福祉芸空調設備整備費補助									
前年度予算との比較					金の増									
(増減理由)														
			砂川福祉会IT導		入札執行残								l 	
実績との比較			入補助金の増		3月補正									
					△8,335千円									
		l						II l						

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:助成金額	指標の求め方:(国、道補助(交付)金の交付基準によるので、数値は設定せず実績管理とする)
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:整備施設数	指標の求め方:(砂川市高齢者保健福祉計画によるので、数値は設定せず実績管理とする)

			E 0 C 1 C BX		10 14 0 . 12 14 16 16		3 力年計画			第 2 次 実 旅	3 力年計画			ᢡ	3次実施4力年記	計画		/r/r = ++0
				ŀ	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標		計画値	_	_	_		_	_	_		_	-	_	-		
	指	(単位/千	f円)	実績値	0	0	1, 204		233, 800									
	標	成果指標		計画値	_	_	_		_	_	_		_	-	_	_		
		(単位/件	<b>‡</b> )	実績値	0	0	1		1									
		事業の達成 (活動指標		こ評価)														
		事業の成績 (成果指標		こ評価)														
		事業の効果	率性															
		総合評価		(人木)														
		松口計画			自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
					令和3年度にお	令和4年度においては介護基盤 整備事業支援を 行う計画なし。	令和5年度においては、 いては、会計ソフトのための、 のかので、 のための、 のが、 のが、 でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる	該当する事業が 無いため判定不 能	令和6年度に川 い は、対して 会にに対して を い が は に い る い る い る い る い る い る に い る は い る に の は の は の も の も の も る も る も る も る も る る る る る る				1 5 N W		1137711	1 5 N 1 1 1	13W441 .	
事	評						られている。		活環境及び従事 者の労働環境の									
	価								改善を実現し、									
務	内 容 総合評価の判								市民が介護が必 要となっても安									
	窓合評価の判理中または指								心して入所、利									
事	総合評価の利用のまたはお								用できる施設整 備が図られてい									
業	の実績値に関る自己分析			析					る。									
*																		
評																		
価																		
11111																		
	今後の方向性							休止										
					R5: 今後も施設整備に 護保険事業計画に め、休止とした。	こ基づき検討して	■ 市高齢者保健福祉 いくため、今回策	計画・砂川市介 定予定が無いた	R8 :				R10 :					
	改善、	生の判断理 改革の内 R8、R10)	容															

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	居宅介護住宅	改修資金貸付	事業		事業期間	平成	:15年度 ~	— 年度	]					<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施するのか)	介護が必要な高 齢者等の自立を明	命者等に対し、在 加長するとともに	宅生活を過ごすた。 家族介護負担を軽	めに必要な住宅i 減し、在宅福祉の	- 改修を行うための資 の向上を図る。	₹金を貸し付け	ることにより、高	手段 (どのような方法で 実現するのか)	介護保険法に基っ で貸し付けを行っ		改修費等の支給限	限度基準額を超える	る住宅改修費に対	し、50万円を限度額として無利子
(誰・何を対象として					きる者であって、居 者を介護している同			成果 (どのような効果が得られるのか)	住宅改修資金を負	貸し付けることに	より、在宅生活支	を援、高齢者等の 目	自立助長、介護保限	<b>倹制度の円滑な実施が図られる</b> 。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成15年度より	事業を開始し、介記	<b>要が必要な高齢</b> 者	- 5等に対し、在宅生	活を過ごすた&	めに必要な住宅改	 修を行うための資金	を無利子で貸し作	- 寸けることにより	、高齢者の自立を	助長するとともに	家族介護負担の	<b>圣滅を図る</b> 。

# [DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額	(0 1/2/	(11/2)	(0   /2/	0	, , , , , ,	(7 1 )27	(8 T )2/	0	(0   1/2)	(10 1/2)	(111/2)	(12 112)	0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
100		実 績 額				0				0					0	0
入	そ の 他	計 画 額				0				0					0	0
₹ e		予算計上額				0				0					0	0
4		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額	500, 000	500, 000	500, 000	1, 500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	1, 500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	2, 000, 000	5, 000, 000
,		予算計上額	500, 000	500, 000	500, 000	1, 500, 000	500, 000	500, 000		1, 000, 000					0	2, 500, 000
た		実 績 額	0	0	0	0	0			0					0	0
事	事業費合計	計画額	500, 000	500, 000	500, 000	1, 500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	1, 500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	2, 000, 000	5, 000, 000
		予算計上額	500, 000	500, 000	500, 000	1, 500, 000	500, 000	500, 000	0	1, 000, 000	0	0	0	0	0	2, 500, 000
業		実 績 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費の	事業費予算の		貸付金 500, 000円×1件	貸付金 500,000円×1件	貸付金 500,000円×1件		貸付金 500,000円×1件	貸付金 500,000円×1件								
推			前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		削牛及问額	即平及问银	削 千 及 问 殺		削千及印破	削千及问額								
	実績との比較 (増減理由)		申請0件	申請0件	申請0件		申請0件									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:貸付金額	指標の求め方:貸付金額		
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:貸付件数	指標の求め方:貸付件数		
	*		*	

						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			筆	3次実施4力年記	十画		<b>答っせ</b>
				ŀ	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標	· . ·	計画値	500	500	500		500	500	500		500	500	500	500		
	指標	(単位/=		実績値	0	0	0		0									
	标	成果指標 (単位/作	` '	計画値実績値	I	<u>_</u>	<u>_</u>			I	 			 	 			
		事業の達		夫禎旭	0	0	0		Ů									
		(活動指標	標をもと	に評価)				達成されていない										
		事業の成 (成果指標		に評価)				変わらない										
		事業の効 (事業費)		成果)				変わらない										
		総合評価	i					普通である										
事務事業評価	評価内容		総合評価 経由ま 経由ま を 自 を 自 る 自 る 自	面の と 動に は関 動標す	<b>業済点なえ後しが談面をいいます。</b> (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	たの返済が必申請になる。なられている。とも今後にいれたの見がいれた。というでは、いついれた。というでは、いついるの見がいいない。	<b>頁たとにとるのでがいいらいである要請因をいたるのでがいら、に必めい申した制つである。見検、がいら、に必めいしが談はがいら、に必めいがいる。に必めい申した制つ要ある要請因をいたる。に必めい申したるので表請因をいたるので表請といいまるので表請といいます。</b>		自実が貸たとにとるのてがた続る・いだの多のである。 いだる必ずした いじん いじん いいてががいら、に必は事といいでががいら、に必は事とといいでががいら、に必は事とといいでががいら、に必要は業者を必要します。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		会後の方	向性					現状のまま継続										
		一场切力	1-11		R5:事業開始 I.か	┃ ~平成15年度に144	<b>┃</b> ≑の申詰があったか	が、それ以降令和	R8 :			I	R10 :					
	今後の方向性 方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)				5年度まで申請は	0件であるが、住	での中間があっためていた。 で改修を行うため でなりません。 では、事業は必要と考	に高齢者等の負										

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	住宅改修支援	事業			事業期間	平成	12年度 ~ -	– 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
	介護保険制度にお 滑な制度利用を図		由書を作成した居っ	宅介護支援事業	- 所等に作成費を支糸	計ることによ	り、被保険者の円	手段 (どのような方法で 実現するのか)	住宅改修理由書作	作成費用として1作	⊧2,000円を支給す	<sup>-</sup> る。		
	介護保険給付の予等が所属する居宅			者に係る住宅改	修理由書を作成した	:介護支援専門	員又は理学療法士	成果 (どのような効果が 得られるのか)	介護保険制度のF	円滑な利用が図ら	れる。			
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成12年度介護份	呆険制度の施行にあ	うわせ、事業を閉	見始している。									

# [DO]

実績

						第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	- 画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費	計画額	15, 000	15, 000	15, 000	45, 000	15, 000	15, 000	15, 000	45, 000	15, 000	15, 000	15, 000	15, 000	60, 000	150, 000
				予算計上額	15, 000	15, 000	15, 000	45, 000	15, 000	15, 000		30, 000					0	75, 000
				実績額	13, 090	16, 000	14, 000	43, 090	21, 000			21, 000					0	64, 090
	道		費	計画額	7, 000	7, 000	7, 000	21, 000	7, 000	7, 000	7, 000	21, 000	7, 000	7, 000	7, 000	7, 000	28, 000	70, 000
				予算計上額	7, 000	7, 000	7, 000	21, 000	7, 000	7, 000		14, 000					0	35, 000
				実績額	6, 545	8, 000	7, 000	21, 545	10, 000			10, 000					0	31, 545
	地	方	債	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
入	そ	の	他	計画額	9, 000	9, 000	9, 000	,	9, 000	0,000	9, 000		9, 000	9, 000	9, 000	9, 000	36, 000	90, 000
à				予算計上額	9, 000	9, 000	9, 000	27, 000	9, 000	9, 000		18, 000					0	45, 000
				実績額	7, 820	10, 000	8, 000	25, 820	12, 000			12, 000					0	37, 820
れ	-	般 財	源	計画額	9, 000	9, 000	9, 000	27, 000	9, 000	9, 000	9, 000	27, 000	9, 000	9, 000	9, 000	9, 000	36, 000	90, 000
+.				予算計上額	9, 000	9, 000	9, 000	27, 000	9, 000	9, 000		18, 000					0	45, 000
<i>t</i> =				実績額	6, 545	10, 000	9, 000	25, 545	13, 000			13, 000					0	38, 545
事	事	業 費 合	計	計画額	40, 000	40, 000	40, 000	120, 000	40, 000	40, 000	40, 000	120, 000	40, 000	40, 000	40, 000	40, 000	160, 000	400, 000
				予算計上額	40, 000	40, 000	40, 000	120, 000	40, 000	40, 000	0	80, 000		0	0	0	0	200, 000
業				実績額	34, 000	44, 000	38, 000	116, 000	56, 000	-	0	56, 000	0	0	0	0	0	172, 000
費					役務費	役務費	役務費		役務費	役務費								
		<b>美費予算</b>	重の															
0		内容	+ • >															
144																		
推	-				前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
移		~			削斗及问做	削牛皮四做	削牛皮问做		削牛及四颌	<b>削</b> 中及问做								
		F度予算 の比較																
		曾減理由																
					利用件数が見込	利用件数が見込	利用件数が見込		利用件数が見込									
	宇紹	責との日	と前か		件数を下回った	件数を上回った	件数を下回った		件数を上回った									
		漫滅理由				ことによる増 20件→22件	ことによる減 20件→19件		ことによる増 20件→28件									
					201T 11/1T	7017 /22IT	70H- 119H-		2017 /201T									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:支給金額	指標の求め方:支給金額
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:利用件数	指標の求め方:利用件数

						第 1 次宝体	3 力年計画	1日1末の木の刀 . イ		第2次実施	3 力年計画			笋	3次実施4カ年記	+両		"
				-	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標			40	40	40	L	40	40	40		40	40	40	40		
	指	(単位/千	X120		34				56									
	標	成果指標 (単位/件			20 17		20 19	<b>4</b>	20 28	20	20		20	20	20	20		
		事業の達		[10]	17	22	19		20									
		(活動指標	票をもとに評値	西)				達成されている										
			票をもとに評価	西)				少し上がっている										
		事業の効	率性 に対する成果)					変わらない										
		総合評価						良好である										
事務事業評価	評価内容	Ŧ	総合評価の判 理由または推 の実績値に関 る自己分析	実値と業れで断標	経績として計画 位を下回る結果 なったが、事 は目的は果たさ していると判断	値を上回る結果	値を下回る結果 までたが、まさ ま目的はると れていると や できる。	判実金値り度改成支作る被ならめと制実金値り度改成支作る被ならめとはない。 おいれい はいれい はいれい はいれい はいれい はいれい はいれい はいれい	値を上回る結果 となり、事業目 的は果たされて いると判断でき	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	问性	Dr	5. 办错归险细点	Fにもいてみウユ	女理市 妻 ナ ル 卍・	現状のまま継続	D0 .				P10 .					
	方向 <sup>†</sup> 改善、 (R5、	生の判断理 改革の内 R8、R10)	E由 3容 )	事用	業所等に作成費	どを支給すること	渉埋田書を作成し により、被保険者 るため、引き続き	た居宅介護支援 の円滑な制度利 現状のまま継続	ло :				R10 :					

#### [PLAN]

#### 事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載 ×

事 業 名	在宅高齢者配	食サービス事	業		事業期間	昭和	161年度 ~	· –	年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-3	他に関連す 基本事業	· る	1-2-2					所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施するのか)	在宅において食事るとともに、健康	事の調理が困難な 東を保持し、介護	高齢者に対し、食の必要な状態への	事の提供と安否で 進行を予防する。	<del>・</del> 確認サービスを行し 。	い、自立した生	∈活の継続を支	1及 9	手段 (どのような方法で 実現するのか)	砂川市から民間 担金を徴収する。	事業者に業務委託 。	し、昼食の配達と	: 安否確認サービス	スを提供する。利用	用者からは、1食あたり300円の負
	65歳以上の単身世 要支援者又は栄養			ずる世帯の世帯	員であって、介護保	段法等の規定	こによる要介護:	н,	成果 (どのような効果が 得られるのか)	在宅において食薬 るとともに、健康	事の調理が困難な 康を保持し、介護	高齢者に対し、食 の必要な状態への	ま事の提供と安否の び進行を予防する。	在認サービスを行し ことができる。	い、自立した生活の継続を支援す
		昭和61年度に社会	会福祉協議会事業と	として開始し、†	がは事業に係る経費	を補助した。									

平成12年度より介護保険法の施行に伴い市事業へ移行し、社会福祉協議会へ委託する形態とした。平成13年9月より月~金曜日実施を毎日実施(定められた休日を除く)に改正した。平成18年度に地域支援事業が創設され、介護保険特別会計 事業開始時の状況・これまでの経 地域支援事業 (任意事業) へ移行した。

利用者負担は、事業開始より平成8年度まで200円、平成9年度より平成16年度まで350円、平成17年度より400円としている。

平成25年度より事業名を在宅高齢者配食サービス事業と変更した。平成27年度からは効率性を図るため委託先を社会福祉協議会から民間事業者に変更し、利用者負担を300円/食に軽減し、利用の拡大を図っている。平成28年1月から、介護保険制度の改正により、「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行し、本事業の予算が、任意事業費(要介護者を対象)と介護予防・生活支援サービスに要する経費(要支援者等を対象)の2つに分かれている。

#### [DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費	計画額	3, 648, 000	3, 648, 000	3, 648, 000	10, 944, 000	5, 167, 000	5, 167, 000	5, 167, 000	15, 501, 000	5, 167, 000	5, 167, 000	5, 167, 000	5, 167, 000	20, 668, 000	47, 113, 000
				予算計上額	3, 648, 000	3, 584, 000	4, 590, 000	11, 822, 000	5, 167, 500	5, 287, 000		10, 454, 500					0	22, 276, 500
				実 績 額	3, 082, 887	3, 339, 612	4, 759, 842	11, 182, 341	4, 877, 865			4, 877, 865					0	16, 060, 206
	道		費	計画額	1, 824, 000	1, 824, 000	1, 824, 000	5, 472, 000	2, 584, 000	_, ,	2, 584, 000		2, 584, 000	2, 584, 000	2, 584, 000	2, 584, 000	10, 336, 000	23, 560, 000
				予算計上額	1, 824, 000	1, 791, 000	2, 295, 000	5, 910, 000	2, 583, 750	2, 643, 000		5, 226, 750					0	11, 136, 750
				実績額	1, 541, 443	1, 669, 806	2, 379, 921	5, 591, 170	2, 438, 932			2, 438, 932					0	8, 030, 102
	地	方	債	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
,				実績額				0				0					0	0
^	そ	の	他	計画額	3, 434, 000	3, 434, 000	3, 434, 000	10, 302, 000	4, 665, 000	.,,	4, 665, 000		4, 665, 000	4, 665, 000	4, 665, 000	4, 665, 000	18, 660, 000	42, 957, 000
<b>t</b>				予算計上額	3, 433, 000	3, 562, 000	4, 320, 000	11, 315, 000	4, 665, 000	4, 905, 000		9, 570, 000					0	20, 885, 000
				実 績 額	3, 089, 850	3, 101, 181	4, 276, 716	10, 467, 747	4, 485, 870			4, 485, 870					0	14, 953, 617
れ	-	般 財	源	計画額	1, 826, 000	1, 826, 000	1, 826, 000	5, 478, 000	2, 584, 000	2, 584, 000	2, 584, 000	7, 752, 000	2, 584, 000	2, 584, 000	2, 584, 000	2, 584, 000	10, 336, 000	23, 566, 000
た				予算計上額	1, 827, 000	1, 796, 000	2, 295, 000	5, 918, 000	2, 583, 750	2, 645, 000		5, 228, 750					0	11, 146, 750
/-				実 績 額	1, 541, 446	1, 669, 806	2, 379, 921	5, 591, 173	2, 438, 933			2, 438, 933					0	8, 030, 106
事	事	業 費 合	計_	計画額	10, 732, 000	10, 732, 000	10, 732, 000	32, 196, 000	15, 000, 000	15, 000, 000	15, 000, 000	45, 000, 000	15, 000, 000	15, 000, 000	15, 000, 000	15, 000, 000	60, 000, 000	137, 196, 000
-256-				予算計上額	10, 732, 000	10, 733, 000	13, 500, 000	34, 965, 000	15, 000, 000	15, 480, 000	0	30, 480, 000		0	0	0	0	65, 445, 000
業				実 績 額	9, 255, 626	9, 780, 405	13, 796, 400	32, 832, 431	14, 241, 600	0	0	14, 241, 600	0	0	0	0	0	47, 074, 031
費					委託料	委託料	委託料		委託料	委託料								
	事等	<b>美費予</b> 算	īσ															
の	1	内容																
推																		
1,12	-				見込食数の増加	目の合物の増加	委託料単価		目は合物の増加	見込食数の増加								
移			E 1.			による増額	(477円→600		による増額	による増額								
		F度予算 の比較					円)見直しによ											
		曾減理由					る増額											
					見込食数の減少		見込食数の増加		見込食数の増加									
	実約	責との出	比較			3月補正 ▲596千円	3月補正		3月補正									
	(均	曾減理由	3)		△252千円	▼290 T H	▲1,500千円		480千円									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:事業費			指標の求め方: 3	事業費									
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:利用者数	女		指標の求め方:	利用者数									
		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	一		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	第 7 期 総合計画 合 計
		, H	計画値	10, 732	10, 732	10, 732		10, 732	10, 732	10, 732		10, 732	10, 732	10, 732	10, 732		
	指標		実績値 計画値	9, 256 140		13, 797 140		14, 242 140		140		140	140	140	140		
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	実績値	135	l	170	L	153				140	140	140	140		
		事業の達成度 (活動指標をもとに	評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに	評価)				上がっている										
		事業の効率性 (事業費に対する成	(果)				上がっている										
		総合評価					極めて良好である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の 理由ま植に のの 自己分析	のはに関 断標す	値をもまる をものの増度 をものの増度 をのの増度 を、 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	をい用をりとよ活をい用をりとよ活る者上、安っのは計でのは計での表示である。 しょう できる 大き のった できる はいま できる おいま いっぱい できる おいま いっぱい でいま いっぱい でんしょう いっぱい はいま いっぱい はいま いっぱい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はい	者数が22名増加 大変を 大変を 大変を 大変を 大変を 大変を 大変を 大変を	<i>t</i> =.	度を下回ってい 食数は昨年度 り増加し、事 り 費の成果指数は	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性					現状のまま継続										
		フ夜の万円性		R5:安否確認に。	より高齢者の見守	りにつながる事業	であり、利用者	R8 :				R10 :					
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		(H26 61人→ R 状のまま継続とし	5 148人)が大幅	こ増加 し続けてい	ることから、現										

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	高齢者専用住	宅ホームヘル	<b>レプサービス事</b>	<b>業</b>	事業期間	昭和	158年度 ~	— 年度	]					
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施する のか)	高齢者専用住宅 <i>)</i>	、居者の日常生活	を支援し、入居高齢	冷者が安心して	過ごせる住居環境を	そ提供する。		手段 (どのような方法で 実現するのか)	砂川市高齢者専用 を行う。	用住宅の団地ごと	にホームヘルパー	-を常駐または派道	遣し、入居者の安存	否確認及び生活相談等の生活支援
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市高齢者専用	]住宅(宮川中央	団地10戸、すずらん	ん団地12戸、三	砂団地12戸、南吉里	罗団地11戸)入	居者。	成果 (どのような効果が 得られるのか)	入居高齢者に対し	<b>ン、安否確認及び</b>	生活相談等を行う	ことにより、安心	心して在宅生活が	送ることができる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成12年度より、 南吉野団地につい	. 市の直営から介護 いては、平成18年度	サービスを提信 老朽化により	居者の日常生活を支 共する事業所へ民間 全13戸を廃止し、建 卸や政策空家の実施	委託とした。 替事業により	平成21年度より、 平成21年度7戸、 <sup>3</sup>	介護保険特別会計 成23年度4戸を設定	地域支援事業(任意	意事業)へ移行し	.t			

# [DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費	計画額	1, 188, 000	1, 188, 000	1, 188, 000	3, 564, 000	1, 195, 000	1, 195, 000	1, 195, 000	3, 585, 000	1, 195, 000	1, 195, 000	1, 195, 000	1, 195, 000	4, 780, 000	11, 929, 000
				予算計上額	1, 188, 000	1, 189, 000		3, 567, 000	1, 195, 000	1, 199, 000		2, 394, 000					0	5, 961, 000
				実績額	1, 188, 000	1, 189, 188			1, 195, 425			1, 195, 425					0	4, 763, 187
	道		費	計画額	594, 000	594, 000	,	1, 782, 000	598, 000	598, 000	598, 000	1, 794, 000	598, 000	598, 000	598, 000	598, 000	2, 392, 000	5, 968, 000
				予算計上額	594, 000	594, 000	,	1, 783, 000	598, 000	599, 000		1, 197, 000					0	2, 980, 000
				実績額	594, 000	594, 594	595, 287	1, 783, 881	597, 712			597, 712					0	2, 381, 593
	地	方	債					0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
入	そ	の	他	計画額	710, 000	710, 000			714, 000	7.1,000	714, 000		714, 000	714, 000	714, 000	714, 000	2, 856, 000	7, 128, 000
さ				予算計上額	710, 000	710, 000		2, 131, 000	714, 000	716, 000		1, 430, 000					0	3, 561, 000
				実績額	710, 000	710, 424		2, 131, 676	714, 150			714, 150					0	2, 845, 826
れ	-	般 財	源	計画額	595, 000	595, 000		1, 785, 000	598, 000	,	598, 000	.,,	598, 000	598, 000	598, 000	598, 000	2, 392, 000	5, 971, 000
+.				予算計上額	595, 000	596, 000		1, 788, 000	598, 000	602, 000		1, 200, 000					0	2, 988, 000
た				実績額	595, 000	594, 594	595, 287	1, 784, 881	597, 713			597, 713					0	2, 382, 594
事	事業	業費合	計	計画額	3, 087, 000	3, 087, 000	3, 087, 000	9, 261, 000	3, 105, 000	3, 105, 000	3, 105, 000	9, 315, 000	3, 105, 000	3, 105, 000	3, 105, 000	3, 105, 000	12, 420, 000	30, 996, 000
				予算計上額	3, 087, 000	3, 089, 000	3, 093, 000	9, 269, 000	3, 105, 000	3, 116, 000	0	6, 221, 000	0	0	0	0	0	15, 490, 000
業				実績額	3, 087, 000	3, 088, 800	, ,	9, 268, 200	3, 105, 000		0	3, 105, 000	0	0	0	0	0	12, 373, 200
費					委託料	委託料	委託料		委託料	委託料								
		<b>美費予</b> 算	音の															
の		内容	+07															
推																		
推	-				除雪単価改定に	<b>吟雨出压水中</b> に	<b>吟帚単体ホウに</b>		<b>吹声単圧ホウに</b>	除雪単価改定に								
移	ے عد	~				味当単価収定に より増額	味当単価以上に より増額		は当年世以たに より増額	味当単価以及に より増額								
		F度予算 の比較			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	0 / LIM	5 7 H HX		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	0 · 7 · L il.x								
		ジル 報 曽減理E																
					同額	同額	同額		同額	<del> </del>				-	+			
	宝丝	責とのと	と市方															
		見るのに 曽減理E																
						<u> </u>						<u> </u>						

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:事業実施日数	指標の求め方:事業実施日数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:対象戸数	指標の求め方:対象戸数

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			1	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	ш	活動指標 1 (単位/日)	計画値	312		312		312 312	L	312		312	312	312	312		
	指標	成果指標 1	74.34 III	312 45		312 45		45		45		45	45	45	45		
		(単位/戸)		45		45		39				40	70				
		事業の達成 (活動指標で	度 をもとに評価)				達成されている										
		事業の成果 (成果指標で	: をもとに評価)				変わらない										
		事業の効率	:性 対する成果)				変わらない										
		総合評価					良好である										
事務事業評価	評価内容	理の		果値るび行りがを にこう、安送 ともで確談に高して でいる できる はいる できる に高して できる に の で で で で で で が で で が で が で が で が に と に し へ し る し る し る し る し る し る し る し る し る	果値るび行りがを ともで確談等よ を を を を を を を る に る た る た る た る た る た る た る た る た る た	果指標とも 標に を を を を を を に を に に に に に に に に に に に に に	安活に居し環い好否相と高てはないと高て境ると判断を持続に対しているという。	であるものの成 果指回な計画に をいるのででは で で を で を 活 で で で で で で で で で で で で で で	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	理由:	
		今後の方向	  性				現状のまま継続										
	改善、	生の判断理は 改革の内容 R8、R10)	±	して生活を送る班続とする。 高齢者の増加に係 (持家、借家、一 な差はみられなく	▼生活相談等を行 環境が保たれてい に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ることから、当面 住宅に入居する高 に居住する高齢者 の、安否確認のあ	齢者とそれ以外 の年齢層に大き る高齢者専用住	R8 :			1	R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	高齢者等位置	情報提供サー	-ビス利用助成	事業	事業期間	平成	22年度 ~ -	- 年度					•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
	位置情報提供サー 的・経済的負担の		ことにより、徘徊る	高齢者等の早期	・ 発見及び安全確保を	図るとともに	、介護者の精神	手段 (どのような方法で 実現するのか)	GPS方式によ	る位置情報提供サ	ービスを利用する	る場合の初期費用を	E助成する。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)		規定する日常生	活自立度判定基準] り行動障がいと認め		断により認知症と認	ぬられた方		成果 (どのような効果が 得られるのか)	徘徊高齢者等を	早期発見すること	により事故を未然	た防ぎ、介護者の	)負担が軽減される	5.
事業開始時の状況緯	・これまでの経	認知症等により征	非徊し過去には死に	三至る事案が発生	生しており、今後も	認知症者の増	加が予測されている	うことから、平成22	年度より事業を問	開始した。介護保	<b>倹特別会計 地域</b> 3	支援事業(任意事	業)として実施し	ている。

# [DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3 次実施4カ年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費	計画額	15, 000	15, 000			15, 000	,	15, 000		15, 000	15, 000	15, 000	15, 000	60, 000	150, 000
				予算計上額	15, 000	15, 000	15, 000	45, 000	15, 000	,		30, 000					0	75, 000
				実績額	0	0	0	0	2, 964			2, 964					0	2, 964
	道		費	計画額	7, 000	7, 000			7, 000	,	7, 000	21, 000	7, 000	7, 000	7, 000	7, 000	28, 000	70, 000
				予算計上額	7, 000	7, 000	7, 000	21, 000	7, 000	,		14, 000					0	35, 000
				実績額	0	0	0	0	1, 482			1, 482					0	1, 482
	地	方	債	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
入	そ	0	他	計画額	9, 000	9, 000	9, 000	27, 000	9, 000	9, 000	9, 000	27, 000	9, 000	9, 000	9, 000	9, 000	36, 000	90, 000
<b>≥</b>				予算計上額	9, 000	9, 000	9, 000	27, 000	9, 000	9, 000		18, 000					0	45, 000
				実績額	0	0	0	0	1, 771			1, 771					0	1, 771
れ	- H	般 財	源	計画額	8, 000	8, 000	8, 000		8, 000	-,	8, 000		8, 000	8, 000	8, 000	8, 000	32, 000	80, 000
_				予算計上額	8, 000	8, 000	8, 000	24, 000	8, 000	8, 000		16, 000					0	40, 000
<i>t</i> =				実績額	0	0	0	0	1, 483			1, 483					0	1, 483
事	事業	美費 合	計	計画額	39, 000	39, 000	39, 000	117, 000	39, 000	39, 000	39, 000	117, 000	39, 000	39, 000	39, 000	39, 000	156, 000	390, 000
				予算計上額	39, 000	39, 000	39, 000	117, 000	39, 000	39, 000	0	78, 000	0	0	0	0	0	195, 000
業				実績額	0	0	0	0	7, 700		0	7, 700	0	0	0	0	0	7, 700
費						補助金	補助金		補助金	補助金								
,		費予算			7,700円×5件	7,700円×5件	7,700円×5件		7, 700円×5件	7,700円×5件								
の	于木	内容	.0)															
144																		
推	$\vdash$				前年度同額	<b>並左连尼</b> 蛟	<b>並左连同</b> 蚜		<b>並左连回</b> 怒	<b>並左连回</b>								
移					削平度问観	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
		度予算 の比較	٤															
		減理由	)															
		***																
					申請0件	申請0件	申請0件		申請 1 件									
	<b>+</b>	との比	赤六			3月補正	3月補正		3月補正									
	夫担(増	減理由	(年文		△8千円	△8千円	△8千円		△23千円									
	''																	
					<u> </u>													

#### 指標の推移・評価

指標 1	(「手段」	をもとに設定)	指標名:補助金			指標の求め方: ネ	補助金額									
指標 1	(「成果」	をもとに設定)	指標名:申請件	数		指標の求め方:	申請件数									
				第 1 次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	第3次実施4力年記	計画		第 7
			第1年次(3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次(7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計合
指	活動指標 (単位/干		39				39				39				9	
標	成果指標 (単位/作	1 計画信	5	5	5	<u>,                                     </u>	5	5	5		5	Ę	5 5	5 5	5	
	事業の達 (活動指標			V		達成されていない										
	事業の成 (成果指標	果 票をもとに評価	)			上がっていない										
	事業の効(事業費に	率性 ニ対する成果)				上がっていない										
	総合評価					普通である										
評価内容	3	理由または指札	相申いでな象持でをし目なは段高 をにいう発いする、事み がしている守もにの母でをしまっている守もにのも発信者るかしケたにしあ見進 がはいち発信者るかしケたにしあ見進 がしている守も がしている守も がしている守も がり鑑 がり鑑 がしたいるの母でをしまないの。 がり がり がり がしたにいる発 がり がしている守も がり がり がしたにいる発 がり がいがり 郷 がいがり 郷 がいがり 郷 がいがり 郷 がいがり 郷 がいがり 郷 がいがり 郷 がいがり 郷 がいがり 郷 がいがり 郷 がいがり 郷 がいがり 郷 がいがり がいがり がいがり がいがり がいがり がいがいがり がいがいがり がいがいがり がいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがい	令談請な持い高さき考な立手模 和はにいち発齢せる慮いっ段 またでまい対したことであることである であていてではいりでである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	申いいまい対所がか請がりにしあまないでない。歩信者るかしケてなは股高さき者がいつがてる。歩信者者がつかてる。からのからのでは、一な手模階がある。からのでは、一な手模階である。歩信者をからないのができません。	申なて症護にでら大効すがらかるとは況が、家担る人利がと利する人の自然になるののなるの方のない。 なな法要談い普断のなるやつ方必相で、判断を対しているがはる通したのがはるがはる通したがはるがはるがはるがはるがはるがはるがはるがはるがはるがはるがはるがはない。	果回申がと見進継続の中がと見進継続の情数のでは、これでは、これでは、いんのは、いいの性のは、の言葉ながは、は、いいのでは		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	

検討する。 今後の方向性 現状のまま継続 R5:過去2年間は相談はあるが申請に至ってない状況が続いている R8: ため、今後利用拡大につながる有効な方法を検討する必要はあるも のの、認知症の方の家族介護者の負担軽減につながる事業であるこ とから事業の継続は必要と考えている。 方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)

# 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 〇 過疎計画掲載 〇

事 業 名	介護人材育成	支援事業			事業期間	平成	26年度 ~	— 年度						·
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
(何のために実施する	地域住民が安心し 安定な運営に寄り 図るため必要なる	すすることを目的	れるよう、第一種として、慢性的に	社会福祉事業(* 不足傾向にある:	- 特別養護老人ホー <i>』</i> 介護職員の人材確例	♪・軽費老人ホ Rと介護技術水	マーム)の適性かつ ベ準の維持・向上を	手段 (どのような方法で 実現するのか)	介護職員初任者	研修・介護福祉士	実務者研修の受請	<b>料を全額助成</b>		
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内で老人福祉法	去に基づく第一種	社会福祉事業を展	開する社会福祉	去人			成果 (どのような効果が 得られるのか)	介護技術の取得 見込まれる。	を促進することで	入所者に対する道	5切なケアが図られ	れると共に、介護ノ	人材の確保と安定した事業運営が
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	るため、平成26年 保に努めている。	年度より職員の資料 。	各取得にかかるが	·護職員初任者研修	課程の費用助	成を行っており、		た。令和3年度。	より、初任者研修				Rと介護技術水準の維持・向上を図: して拡充することで介護人材の確

#### [DO]

実績

第1次実施3力年計画 第2次実施3カ年計画 第3次実施4力年計画 第 7 期 第4年次 第1年次 第2年次 第3年次 第5年次 第6年次 実施3カ年 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 総合計画 実施3カ年 実施4カ年 合 計 合 計 (6年度) 合 計 計 (3年度) (4年度) (5年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 予算計上額 実 績 額 方 債 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計画額 0 予算計上額 さ 実 績 額 一般財源 計画額 702, 000 702, 000 702, 000 2, 106, 000 88, 000 1, 870, 000 1, 870, 000 3, 828, 000 1, 870, 000 1, 870, 000 1, 870, 000 1, 870, 000 7, 480, 00 13, 414, 000 702, 000 88, 000 368, 000 予算計上額 728, 000 524, 000 1, 954, 00 280, 000 2, 322, 000 実 績 額 701. 888 727, 848 523, 215 1, 952, 95 1, 952, 951 計画額 13, 414, 000 事業費合計 702, 000 702, 000 702, 000 2, 106, 00 88, 000 1, 870, 000 1, 870, 00 3, 828, 000 1, 870, 000 1, 870, 000 1, 870, 000 1, 870, 000 7, 480, 00 予算計上額 702, 000 728, 000 524, 000 1, 954, 000 88, 000 280, 000 368, 000 2, 322, 000 実 績 額 701, 888 629, 145 523, 21 1, 854, 248 1, 854, 248 補助金 補助金 費 実務者研修7名 実務者研修7名 実務者研修5名 実務者研修1名 実務者研修3名 事業費予算の の 内容 推 受講者減少に伴 う補助金の減 伴う増 補助対象拡充に「研修単価変更に「受講者減少に伴 伴う増 伴う増 う補助金の減 前年度予算と の比較 (増減理由) 受講者1名退職 同額 同額 受講者無しに伴 のため減 う皆減 実績との比較 3月補正 ▲98 (増減理由) 千円

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:補助金額	指標の求め方:対象事業所への補助金額	
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:研修修了者(資格取得者)数	指標の求め方:対象事業所からの補助申請	

790510	10 1/4 .	(「成果」をもとに設定	<i>A</i> L7	11	第1次実施		拍標の水の方:X	136436718 367		3 力年計画			笠	3次実施4カ年記	4面		
			ŀ	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合計
		1 H 2 2 1 H 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	計画値	702	A	702	L	702	702	702		702	702	702	702		
	指標		実績値	702	630	524		0									
	标	AND AND INC.	計画値 実績値	- /	/ 6	<i>/</i>		7						/			
		事業の達成度	天視心	1	0	3		Ů									
		(活動指標をもとに	評価)				達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに	- 章亚/無)				変わらない										
		事業の効率性	- 計1川/														
		(事業費に対する成	(果				変わらない										
		総合評価					良好である										
				自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:地域		自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				令和3年度よ り、初任者研修	介護福祉士実務 者研修につい	研修修了者が増 えていることか	住民の老後を支 える地域密着型	研修の補助につ いて1名を予定									
				のほか、介護福	て、予算同等の	ら目標値よりも	の特別養護老人ホーム等施設職	していたが、対									
				社士実務者研修	受講料補助申請があった。必識	少ない実績と	ホーム等施設職 員に対する研修	象事業所である									
事				対象に拡充した	かめった。 支誦 料を補助するこ	るうたか、ヨ初 予算で見込んで	受講費用の支援	多者がいなかっ									
7				ことで、予算同	とで介護職が一	いたとおり受講	受講費用の支援 は、介護技術水	たため実績なし									
				等の受講料補助	定の知識・技術	後も継続して就	準の維持・向上	となった。次年									
務				中請かめつに。 受講料を補助す	を身につけ、人 所者に対する滴	労しに3名か網 助対象となっ	とともに、介護 人材の確保・育	度から対象他設 を市内介護施設									
	価内			ることで介護職	切なケアや介護	た。引き続き、	成、離職防止・	に拡充してお									
事				が一定の知識・	人材の確保と安	介護人材の安定	定着促進に繋	り、対象受講修									
7		総合評価の	の判断	技術を身につ	定した事業運営 につながってい	確保のため制度 チェの推進に奴	がっている。	了者を3名予定 している。引き									
		理田また! の実績値!	に関す	する適切なケア	ることから、必	める。		続き介護人材の									
業		る自己分析	FF .	や介護人材の確し	要な事業と判断			安定確保のため									
				保と安定した事業運営につな	している。			制度活用の推進 に努める。									
評				がっていること				123070									
				から、必要な事													
価				業と判断している。													
100				•													
		 今後の方向性					現状のまま継続										
		7 E W 7 7 1 1 1 1		R5・2025年にはR	┃ 団塊の世代がすべ <sup>っ</sup>	て75歳以上の後期		R8 :			I	R10 :					
				医療・介護ニース	ズが飛躍的に増加っ	することが見込ま	れる中、支え手					K10 .					
				である介護職員に	こついては全国的に	に約32万人が不足	すると試算され										
	l.,.				オ確保は喫緊の課題 える地域密着型の												
		生の判断理由			とる地域密有空の 費用の支援は、介護												
	以普、 (R5.	. 改革の内容 R8、R10)			在保・育成、離職												
	,,																
												<u> </u>					

# [PLAN]

# 事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	地域包括支援	センター運営	事業		事業期間	平成1	8年度 ~ -	- 年度					
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-4	他に関連する 基本事業	1-2-2			 	所管課係	介護福祉課高齢者支援係
	住民の心身の健康 括的に支援する。	<b>東保持及び生活の</b>	安定のために必要	な援助を行うこと	とにより、その保倒	医療の向上及び	び福祉の増進を包	(どのような方法で	福祉士といった専	専門職種を配置し	識や技術を活かし	んながら、さまざる	建師、主任介護支援専門員、社会 まな相談に対応するとともに、各
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内高齢者及びが	<b>↑護者</b> 。								給者等の抱える様 生活が継続される	軟な手法を用いて	「解決することに。	より、住み慣れた地域での尊厳あ
事業開始時の状況 緯	・これよどの柱	専門職人員は、	保険法改正に伴い、 平成18年4月から 舎開庁時に同センク	3名、同年12月が		介護支援センタ 10月から国庫補	- 一運営事業から本 前助事業 (認知症対	事業へ移行し、介 策等総合支援事業	護保険特別会計:) に取り組み5名	地域支援事業(包 3、平成25年4月;	 : して実施している対象者把握事業を	る。 新たに業務委託し	,6名と推移している。

# [DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	į	費	計画額	6, 335, 000	6, 335, 000	6, 335, 000	19, 005, 000	7, 308, 000	7, 308, 000	7, 308, 000	21, 924, 000	7, 308, 000	7, 308, 000	7, 308, 000	7, 308, 000	29, 232, 000	70, 161, 000
				予算計上額	6, 335, 000	6, 760, 000	7, 395, 000	20, 490, 000	7, 308, 000	6, 939, 000		14, 247, 000					0	34, 737, 000
				実績額	6, 334, 961	6, 760, 245	7, 395, 499	20, 490, 705	7, 307, 770			7, 307, 770					0	27, 798, 475
	道	1	費	計画額	3, 167, 000	3, 167, 000	3, 167, 000	9, 501, 000	3, 654, 000	3, 654, 000	3, 654, 000	10, 962, 000	3, 654, 000	3, 654, 000	3, 654, 000	3, 654, 000	14, 616, 000	35, 079, 000
				予算計上額	3, 167, 000	3, 380, 000	3, 697, 000	10, 244, 000	3, 654, 000	3, 469, 000		7, 123, 000					0	17, 367, 000
				実績額	3, 167, 480	3, 380, 122	3, 697, 749	10, 245, 351	3, 653, 885			3, 653, 885					0	13, 899, 236
	地	方(	債	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
入	そ	の f	他	計画額	3, 784, 000	3, 784, 000	3, 784, 000	11, 352, 000	4, 365, 000	4, 365, 000	4, 365, 000	13, 095, 000	4, 365, 000	4, 365, 000	4, 365, 000	4, 365, 000	17, 460, 000	41, 907, 000
à				予算計上額	3, 784, 000	4, 038, 000	4, 418, 000	12, 240, 000	4, 365, 000	4, 145, 000		8, 510, 000					0	20, 750, 000
٠				実績額	3, 784, 522	4, 038, 588	4, 418, 090	12, 241, 200	4, 365, 681			4, 365, 681					0	16, 606, 881
れ	-	般 財 :	源	計画額	3, 169, 000	3, 169, 000	3, 169, 000	9, 507, 000	3, 655, 000	3, 655, 000	3, 655, 000	10, 965, 000	3, 655, 000	3, 655, 000	3, 655, 000	3, 655, 000	14, 620, 000	35, 092, 000
_				予算計上額	3, 169, 000	3, 382, 000	3, 700, 000	10, 251, 000	3, 655, 000	3, 472, 000		7, 127, 000					0	17, 378, 000
た				実績額	3, 167, 483	3, 380, 125	3, 697, 752	10, 245, 360	3, 653, 886			3, 653, 886					0	13, 899, 246
事	事業	業費 合言	計	計画額	16, 455, 000	16, 455, 000	16, 455, 000	49, 365, 000	18, 982, 000	18, 982, 000	18, 982, 000	56, 946, 000	18, 982, 000	18, 982, 000	18, 982, 000	18, 982, 000	75, 928, 000	182, 239, 000
				予算計上額	16, 455, 000	17, 560, 000	19, 210, 000	53, 225, 000	18, 982, 000	18, 025, 000	0	37, 007, 000	0	0	0	0	0	90, 232, 000
業				実績額	16, 454, 446		19, 209, 090	53, 222, 616	18, 981, 222	0	0	18, 981, 222	0	0	0	0	0	72, 203, 838
費					委託料	委託料	委託料		委託料	委託料								
J.C	車坐	養予算の																
の		内容	.0)															
144																		
推	-				1 /4 # 14/- 1 7	1 /年 神 1巻 1一 1 フ	/ <del></del>		1 14 20 5-1- 1- 7	1 /4 # 5 - 1 7								
移	l					人件費増による 増額	ケアフラン作成 件数の減及び人		人件質減による	人件費減による 減								
	前年	度予算 の比較	٤		PE DR	-H DR	件費増による増		1194	1124								
		が記載	)				額											
					同額	同額	同額		同額									
	<b>+</b> 4	との比	本大															
		夏との氏!  減理由																
						I			1	<u> </u>								

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:事業費	指標の求め方:事業費
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:相談件数	指標の求め方:相談件数

						第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	一画		
				ľ	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標		計画値	16, 455	16, 455	16, 455		16, 455	16, 455	16, 455		16, 455	16, 455	16, 455	16, 455		
	指	(単位/千		実績値	16, 455	17, 559	19, 210		18, 982									
	標	成果指標 (単位/件		計画値	1, 900	1, 900	1, 900		1, 900 1, 845	1, 900	1, 900		1, 900	1, 900	1, 900	1, 900		
		事業の達用		実績値	1, 608	1, 851	1, 598		1, 845									
		事業の建成	ル皮 景をもと	に評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成身 (成果指標		に評価)				少し上がっている										
		事業の効果(事業費に		成果)				変わらない										
		総合評価						良好である										
事務事業評価	評価内容 総合評価の判判権の実績値に関する自己分析			≖の判断標 こはに関す 合い析	画回の(りて和市包タニ所増 値っ、1.35年に大い、 りい年3幅に、1.35名を活ったして、 りい年3幅に、5新援移性名高 で、1.35名を任めたして、 いて、1.35名を行っていて、 いて、1.36名を で、1.36るを で、1.36を で 1.36を で	令高少も 静に いの者して りも がし、口 は を は に の で り に の で り に の で り に の れ に の の も し に の は し に の は し れ も し に の は し に の は し に が に に が に が に の に に に の に の に に に に に に に に に に に に に	自相画い題どケた増き域タ同Rと者で日相画い題どケた増き域タ同Rと者でいいる。 いっぱい 大変 はいい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい	計て令所設数が、一もでいるといい、はも年所をしている。では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	画い題どケた増き域タな を を は を は を は を は を は を を り を り を り を り	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方面	<b>向性</b>					現状のまま継続										
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)				知及び支援が定着 者があることから	事していると考え	おり、地域包括支 られる。また、毎 業と運動した中で 続する。	援センターが認 年度新規の相談	R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	認知症高齢者	支援事業			事業期間	平成	22年度 ~	— 年度				•		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-4	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施するのか)	今後も増加が見込 制を構築する。	とまれる認知症高	齢者及び家族が、	できる限り住みり	- 貫れた地域で安心し	,て生活するこ	とができる支援体	手段 (どのような方法で 実現するのか)	地域包括支援セン症が疑われる高値	ンターに認知症地 齢者及び家族に対	域支援推進員を配 し支援を行う。あ	記置し、関係機関に らわせて、市民に向	こよる支援ネット! 向けた啓発活動を?	ワークを強化するとともに、認知 行う。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	認知症高齢者及び	<b>が家族</b> 。						成果 (どのような効果が 得られるのか)	認知症高齢者及び	び家族が住み慣れ	た地域で安心して	生活することがで	<b>ごきる</b> 。	
事業開始時の状況 緯					音及び家族に対する ン、平成26年度から				-成22年度に認知症	<b>正連携担当者、平</b>	成23年度からは認	知症地域支援推進	<b>進員の名称で担当</b> 者	者を配置している。

# [DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3 次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額	5, 022, 000	5, 022, 000	5, 022, 000	15, 066, 000	4, 777, 000	4, 777, 000	4, 777, 000	14, 331, 000	4, 777, 000	4, 777, 000	4, 777, 000	4, 777, 000	19, 108, 000	48, 505, 000
		予算計上額	5, 022, 000	5, 033, 000	5, 012, 000	15, 067, 000	4, 777, 000	5, 803, 000		10, 580, 000					0	25, 647, 000
		実績額	4, 939, 015	4, 972, 171	4, 530, 538	14, 441, 724	4, 712, 623			4, 712, 623					0	19, 154, 347
	道 費	計画額	2, 501, 000	2, 501, 000	2, 501, 000	7, 503, 000	2, 388, 000	2, 388, 000	2, 388, 000	7, 164, 000	2, 388, 000	2, 388, 000	2, 388, 000	2, 388, 000	9, 552, 000	24, 219, 000
		予算計上額	2, 501, 000	2, 516, 000	2, 506, 000	7, 523, 000	2, 388, 000	2, 901, 000		5, 289, 000					0	12, 812, 000
		実 績 額	2, 469, 507	2, 486, 085	2, 265, 269	7, 220, 861	2, 356, 311			2, 356, 311					0	9, 577, 172
	地 方 債					0				0					0	0
+/1.		予算計上額				0				0					0	0
投		実 績 額				0				0					0	0
入	その他		2, 988, 000	2, 988, 000	2, 988, 000	8, 964, 000	2, 854, 000	2, 854, 000	2, 854, 000	8, 562, 000	2, 854, 000	2, 854, 000	2, 854, 000	2, 854, 000	11, 416, 000	28, 942, 000
		予算計上額	2, 988, 000	3, 007, 000	2, 994, 000	8, 989, 000	2, 854, 000	3, 467, 000		6, 321, 000					0	15, 310, 000
2		実 績 額	2, 950, 580	2, 970, 388	2, 706, 555	8, 627, 523	2, 815, 333			2, 815, 333					0	11, 442, 856
h	一般財源		2, 482, 000	2, 482, 000	2, 482, 000		2, 388, 000	2, 388, 000	2, 388, 000	7, 164, 000	2, 388, 000	2, 388, 000	2, 388, 000	2, 388, 000	9, 552, 000	24, 162, 000
70		予算計上額	2, 482, 000	2, 519, 000	2, 508, 000	, ,	2, 388, 000	2, 903, 000		5, 291, 000					0	12, 800, 000
<i>t</i> =		実績額	2, 469, 509	2, 486, 088	2, 265, 271	7, 220, 868	2, 356, 314			2, 356, 314					0	9, 577, 182
-	事業費合計	計画額	12, 993, 000	12, 993, 000	12, 993, 000	38, 979, 000	12, 407, 000	12, 407, 000	12, 407, 000	37, 221, 000	12, 407, 000	12, 407, 000	12, 407, 000	12, 407, 000	49, 628, 000	125, 828, 000
事		予算計上額	12, 993, 000	13, 075, 000	13, 020, 000	39, 088, 000	12, 407, 000	15, 074, 000	0	27, 481, 000	0	0	0	0	0	66, 569, 000
業		実績額	12, 828, 611		11, 767, 633	37, 510, 976	12, 240, 581	0	0	12, 240, 581	0	0	0	0	0	49, 751, 557
200	事業費予算の			委託料、需要 費、使用料及び	委託料、需要 費 使用料及び		委託料、需要	委託料、需要 費、使用料及び								
貧	内容		賃借料、役務費	賃借料、役務費	賃借料、役務費			賃借料、役務費								
の			認知症初期集中	認知症地域支援	委託料(人件費		委託料(人件費	委託料(人件費								
+4±	前年度予算と		支援チーム業務	業務委託料にお	等)の見直しによ		等)の見直しに	等)の見直しに								
7111	の比較		委託料における	ける人件費の見	る減		よる減	よる増								
移	(増減理由)		人件費の見直し による減	直しによる塔												
			認知症初期集中支	認知症初期集中支	認知症初期集中支		認知症初期集中									
			援事業における委	援事業における委 員報償と認知症カ	援事業における委		支援事業におけ る委員報償と認									
			カフェ及び認知症	フェ及び認知症サ	償と認知症カフェ		の安貝報頃C総 知症カフェおよ									
	実績との比較		サポーター養成講	ポーター養成講座	および認知症サ		び認知症サポー									
	(増減理由)		座に係る会場使用 料の未執行等によ	に係る会場使用料の未執行等による			ター養成講座に 係る会場使用料									
			る減	減	の未執行等による		の未執行等によ									
			3月補正 △93千 円	3月補正 △89千円	減3月補正 △ 1.267千円		る減3月補正 Δ 91千円									
			i. ,	<u> </u>	1,20,111	<u> </u>		ļ								

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:認知症地	也域支援推進員数		指標の求め方:記	忍知症地域支援推	進員数										
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:認知症相	目談件数		指標の求め方:記	票の求め方:認知症相談件数											
		第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期		
	75 4 /T \h	かったか	かったか		笠 4 左 20	<b>かった</b> ね	なった ケ		ケーケー	性の生物	かった ケ	ケイハケンタ		※ ᄉ ᆗ ᅖ		

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	1			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	Tā āT
	指	活動指標 1 (単位/人)	計画値実績値	 	 	1		<u>'</u>	<u> </u>	I		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	·		
	標	成果指標 1	計画値	500	500	500		500	500	500		500	500	500	500		
		(単位/件)	実績値	155	168	182		226									
		事業の達成度					達成されている										
		事業の成果 (成果指標をも					変わらない										
		事業の効率性(事業費に対す					変わらない										
		総合評価	9 の成本/				良好である										
		NO CI ET IM		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務事業評価	評価内容	理由の実		症員しよりれ談値る症への地域・関気の一た件をも高の生体をも高の一た件をも高を損害強知計でいた。 はいのでは、 はいのではいのでは、 はいのでは、 はいのでは	症員しよりれ談値る症へは、以下のでは、大力に、大力に、大力に、大力に、大力に、大力に、大力に、大力に、大力に、大力に	症員しよりれ談値も症員しよりれ談値もを、る一た数下の大性数下の者に数すり関支りの表状をでいる一た。数は回の者とのでは、ないのでは、ないには、ないには、ないには、ないには、ないには、ないには、ないには、ないに	がっているた め、良好である と判断した。	症地域支援推進 員を1名配置 し、関係機関に									
		今後の方向性		DE . BLIEF LE PAULE	列尔萨克勒老龙宫	左。の士福に配び	現状のまま継続	DO .				D10 .					
	改善、	生の判断理由 、改革の内容 . R8、R10)			恩知症高齢者や家 5るため現状のま:		っており、今後	R8 :				R10 :					

#### [PLAN]

#### 事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 0 過疎計画掲載

事 業 名	生活支援体制	]整備事業			事業期間	平成	:30年度 ~ -	– 年度						
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-4	他に関連する 基本事業	1-2-1	1-2-2	1-2-3			所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的(何のために実施するのか)			介護のサービスの の推進を一体的に		・ 生活の支援体制・介 を目的とする。	↑護予防サービ	えの充実・強化を	手段 (どのような方法で 実現するのか)	源開発等を推進す ・生活支援コーデ	る。 ィネーターを配置し	ン、関係者のネット	ワークや既存の取得		の情報共有及び連携・協働による資 ながら、資源開発、関係者のネット する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	住民主体、NPO、	民間企業等多様な	さ主体によるサーヒ	ごス提供者。				成果 (どのような効果が 得られるのか)	高齢者の在宅生活 支援・介護予防サ	舌を支えるため、 サービスの提供体⁵	町内会、ボランテ 制の構築が図られ	ィア、NPO、瓦 る。	<b>引企業、社会福</b> 祉	止法人等の多様な主体による生活
事業開始時の状況	・これまでの経	国は、重度な動物施策が喫緊の動	要介護状態となって重要課題と位置付し	ても住み慣れたb けている。平成2	地域で自分らしい暮 6年の介護保険法改	ーーー らしが続ける 正により「介	ことができるよう、 護予防・日常生活す	医療・介護・予防 医援総合事業」が創	・住まい・生活す 引設され、全国の自	を援が包括的に確信 自治体で事業展開	呆される体制の構 する中で、より有	楽を推進しており 効的な施策を講ず	、地域包括ケアシ るには地域の実情	ンステムの確立はもとより、介護予 背に即した包括的なコーディネート

を行う仕組みが必要とされた。

これにより、平成27年度に生活支援体制整備事業が創設され、砂川市では平成29年度より関係機関を招集して推進協議会を立ち上げた。「生活支援コーディネーター」は、社会福祉協議会に委託しており、地域の実情に即した介護サービス の開発や充実を図るため、地域ニーズの調査、地域サロン活動等の介護予防の推進、ボランティアの養成、地域資源を活用した在宅生活の支援体制の強化に取り組んでいる。

#### [DO]

#### 実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第:	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
匤	費	計画額	2, 783, 000	2, 783, 000	2, 783, 000	8, 349, 000	2, 906, 000	2, 888, 000	2, 888, 000	8, 682, 000	2, 888, 000	2, 888, 000	2, 888, 000	2, 888, 000	11, 552, 000	28, 583, 000
		予算計上額	2, 783, 000	2, 888, 000	2, 888, 000	8, 559, 000	2, 906, 000	2, 888, 000		5, 794, 000					0	14, 353, 000
		実績額	2, 783, 000	2, 888, 000	2, 888, 000	8, 559, 000	2, 906, 000			2, 906, 000					0	11, 465, 000
道	費	計画額	1, 391, 000	1, 391, 000	1, 391, 000	4, 173, 000	1, 453, 000	1, 443, 000	1, 443, 000	4, 339, 000	1, 443, 000	1, 443, 000	1, 443, 000	1, 443, 000	5, 772, 000	14, 284, 000
		予算計上額	1, 391, 000	1, 443, 000	1, 443, 000	4, 277, 000	1, 453, 000	1, 443, 000		2, 896, 000					0	7, 173, 000
		実 績 額	1, 391, 000	1, 443, 000	1, 443, 000	4, 277, 000	1, 453, 000			1, 453, 000					0	5, 730, 000
地	方債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入る	の他	計画額	1, 662, 000	1, 662, 000	1, 662, 000	4, 986, 000	1, 736, 000	.,	1, 725, 000	5, 186, 000	1, 725, 000	1, 725, 000	1, 725, 000	1, 725, 000	6, 900, 000	17, 072, 000
à		予算計上額	1, 662, 000	1, 725, 000	1, 725, 000	5, 112, 000	1, 736, 000	1, 725, 000		3, 461, 000					0	8, 573, 000
		実 績 額	1, 662, 000	1, 725, 000	1, 725, 000	5, 112, 000	1, 736, 000			1, 736, 000					0	6, 848, 000
れ -	- 般 財 源	計画額	1, 394, 000	1, 394, 000	1, 394, 000	4, 182, 000	1, 455, 000	1, 444, 000	1, 444, 000	4, 343, 000	1, 444, 000	1, 444, 000	1, 444, 000	1, 444, 000	5, 776, 000	14, 301, 000
4		予算計上額	1, 394, 000	1, 444, 000	1, 444, 000	4, 282, 000	1, 455, 000	1, 444, 000		2, 899, 000					0	7, 181, 000
<i>t</i> =		実 績 額	1, 394, 000	1, 444, 000	1, 444, 000	4, 282, 000	1, 455, 000			1, 455, 000					0	5, 737, 000
事事	業費合計	計画額	7, 230, 000	7, 230, 000	7, 230, 000	21, 690, 000	7, 550, 000	7, 500, 000	7, 500, 000	22, 550, 000	7, 500, 000	7, 500, 000	7, 500, 000	7, 500, 000	30, 000, 000	74, 240, 000
		予算計上額	7, 230, 000	7, 500, 000	7, 500, 000	22, 230, 000	7, 550, 000	7, 500, 000	0	15, 050, 000	0	0	0	0	0	37, 280, 000
業		実 績 額	7, 230, 000	7, 500, 000	7, 500, 000	22, 230, 000	7, 550, 000	0	0	7, 550, 000	0	0	0	0	0	29, 780, 000
費			委託料	委託料	委託料		委託料	委託料								
	業費予算の															
の	内容															
144																
推			<b>*</b> 左左只然		***		主教書の以上が	主を書るせに火								
移			前年度同額	人件費の増に伴 う委託料の増	削年度问額			事務費の減に伴 う委託料の減								
前	]年度予算と の比較			7 \$ 10111111111			7 5 10 17 07 18	) X 1644 V/1/2								
	(増減理由)															
			同額	同額	同額		同額									
	26± 1. 0 1. ±±															
	経績との比較 (増減理由)															
	(-1 // <b>/</b>															

活動	指標 1	(「手段」	をもとに設定)	指標名:委託料			指標の求め方:雰	<b>託料</b>									
成果	指標 1	(「成果」	をもとに設定)	指標名:地域事情	の把握に努めた町に	内会・自治会の数	指標の求め方: 生	∈活支援コーディ	ネーターが開催す	る「地域の魅力。	と絆を語ろう会」	を通じて高齢者ニ	ーズなど地域事情	の把握に努めた町	丁内会・自治会の	数 数	
				<b>空1</b> 左加	第1次実施第2年次	3 力年計画	m++ o + +	第4年次	第2次実施	3 力年計画	D#0+5	第7年次	第8年次	3次実施4力年計		<b>**</b> ****	第 7 期総合計画
				第1年次(3年度)	(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	(6年度)	(7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	(9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	合計
		活動指標		7, 230	7, 230	7, 230		7, 230	7, 230			7, 230	7, 230	7, 230	7, 230		
	指標	(単位/- 成果指標	743KIE	7, 230	7, 500	7, 500		7, 550	3	3		3	3	3	3		
		成果相信 (単位/[		2	1	0		3									
		事業の達(活動指)	成度 標をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成					変わらない										
		事業の対					変わらない										
		総合評価					良好である										
事務事業評価	評価内容		を の実験値に関す る自己分析	絆に3にのルよ実で打施町な現いす域明こど力が待続おいをつ町予、スリ施実合に内が状てるこ課にが地高るき各で込まい内定コ感2、施せ上会らや情こ課にが地高るものできいくませい。 いっぱい 大会内 けんたち はいます という たん 対 いっぱい はいます という という にいる という はい	は開もに状てうの等てるた出基お動にら心点たりえを1催の渡や意これで現の群と、さづけの向れ掛な「害し作知で、地題交でと動にがろた、見滑て側でを齢しチし関い、地題交でと動にがろた、見滑て側でを齢しチしいとなり、に欲ま者のラ、は地内つ解き会見域り実見対しとひ心シ高のた回現い行域会いすでに活施守しいめと構)齢のた回現い行域会いすでにに活施守しいめと構)齢ののた回現い行域会いすでにに活施守しいめと構)齢ののた回現い行域会いすでにに活施守しいめと構り齢	度た絆中と守の預しており、 ま「た絆中と守り預一にから、 で実域のうの握し、 でして対策してが、 でして対策しているによった。 でしてが、 でいるが、 で	う、本事業を通 本事は継続 と変 と で援を必要 が あ 。	「神経」のなら和の立空会はのなら和の立空会はのなられています。 はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいから	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	i 向性	DE 144+1-411	7.19.比斯伊人洋香	の III	現状のまま継続	DO				D10					
	改善、	生の判断す 改革のF R8、R10	内容	制整備事業の受験を開催した。一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、	託客のは 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな	UTIME TO THE T	絆を語ろう会」 はおいた。 はいいでは はいいでは はいいでは はいいでは はいいでは はいいでは はいいでは はいいでは はいいでは はいいでは はいいでは はいいでは はいいでは はいいでは はいいでは はいいでは はいいでは はいいでは はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい は	no .				R10 :					

## 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	紙オムツ利用	券交付事業			事業期間	平成	.8年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-4	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施するのか)	在宅で介護を受け的負担の軽減を図	けている寝たきり 図り、高齢者の在:	高齢者等に紙オム <sup>ャ</sup> 宅生活の支援につ	ソ利用券を交付 <sup>・</sup> なげる。	- することにより、律	i生状態を維持	するとともに経済	手段 (どのような方法で 実現するのか)	社会福祉協議会に 市内の取扱業者 利用者負担は介記	(薬局等) におい	て紙オムツの種類	て交付(限度額は 等を選択し購入す 。	t月額5千円)。 <sup>-</sup> る。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	介護保険制度にお 者、寝たきり重原	おける認定審査会  度身体障害者及び	において介護認定: 寝たきり特定疾患!	され、在宅におり 患者で常時紙オ.	いて介護を受けてい ムツを使用する者。	る寝たきり高	齢者、認知症高齢		在宅で介護を受け家族介護者支援が		高齢者等の衛生管	理と経済的負担の	)軽減が図られると	こともに、介護負担の軽減による
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成12年度よりイ	介護保険法の施行に	伴い市事業へ利	5は事業に係る経費 8行し、社会福祉協 特別会計 地域支援事	議会へ委託する								

#### [DO]

実績

第1次実施3力年計画 第2次実施3力年計画 第3次実施4力年計画 第 7 期 第1年次 第2年次 第3年次 第4年次 第5年次 第6年次 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 実施3カ年 実施3カ年 実施4カ年 総合計画 合 計 計 合 計 計 (3年度) (4年度) (5年度) (6年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 740.000 740, 000 740.000 2, 220, 00 993, 000 993.000 993, 000 2, 979, 000 993, 000 993, 000 993, 000 993, 000 3, 972, 00 9, 171, 000 予算計上額 1, 017, 000 934, 000 934, 000 896, 000 1, 087, 000 1, 983, 000 2, 885, 00 4, 868, 000 実 績 額 665, 876 825. 055 729, 579 2, 220, 50 882, 516 882, 510 3, 103, 022 計画額 496,000 496, 000 370,000 370,000 496, 000 1, 488, 00 496, 000 496,000 496, 000 496, 000 1, 984, 00 4, 582, 000 370,000 1, 110, 00 予算計上額 508, 000 467, 000 467, 000 1, 442, 00 447, 000 543, 000 990, 000 2, 432, 000 441, 258 実 績 額 332, 938 412, 527 364, 787 1, 110, 25 441, 25 1, 551, 510 方 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計画額 593, 000 0 730, 000 730, 000 730, 000 2, 190, 00 593, 000 593, 000 1, 779, 000 593, 000 593,000 593, 000 593, 000 2, 372, 00 6, 341, 000 予算計上額 895, 000 821, 000 821,000 2, 537, 00 787,000 955, 000 1, 742, 000 4, 279, 000 さ 実 績 額 655, 796 729, 390 640, 850 2, 026, 03 782, 717 782, 71 2, 808, 753 計画額 1, 090, 000 1, 090, 000 1, 090, 000 3, 270, 00 496,000 496, 000 496, 000 1, 488, 000 496, 000 496, 000 496, 000 496, 000 1, 984, 00 6, 742, 000 - 般 財 源 予算計上額 510,000 468, 000 468,000 1, 446, 00 448, 000 546, 000 994, 000 2, 440, 000 実 績 額 834, 890 412, 528 364, 788 1, 612, 20 441, 259 441, 25 2, 053, 465 計画額 2, 578, 000 事業費合計 2, 930, 000 2, 930, 000 2, 930, 00 8, 790, 00 2, 578, 000 2, 578, 00 7, 734, 000 2, 578, 000 2, 578, 000 2, 578, 00 2, 578, 000 10, 312, 00 26, 836, 000 予算計上額 2, 930, 000 2, 690, 000 2, 690, 000 8, 310, 00 2, 578, 000 3, 131, 000 5, 709, 000 14, 019, 000 実 績 額 2, 489, 500 2, 379, 500 2, 100, 000 6, 969, 000 2, 547, 750 2, 547, 750 9, 516, 750 委託料 委託料 委託料 委託料 委託料 費 事業費予算の の 内容 推 見込件数の増加 見込件数の減少 前年度同額 見込件数の減少 見込件数の増加 による増額 による減額 による減額 による増額 前年度予算と の比較 (増減理由) 見込件数の減少 見込件数の減少 見込件数の減少 実績件数の減少 3月補正 3月補正 3月補正 3月補正 実績との比較 △290千円 △175千円 △175千円 195千円 (増減理由)

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:事業費	指標の求め方:事業費
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:利用者数	指標の求め方:利用者数(月平均)

				.) ]		× 第 1 次 実施	3 力年計画		可用有数 (万十岁)		3 力年計画			-	3次実施4力年記	+画		AVE - #10
				ŀ	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標		画値	2, 930	2, 930	2, 930		2, 930	2, 930	2, 930		2, 930	2, 930	2, 930	2, 930		
	指標	(単位/千		績値 画値	2, 490 48	2, 380	2, 100 48		2, 548 48	48	48		48	48	48	48		
	l)K	成果指標 (単位/人		画 iii 績 ii	40	39	35		40	40	40		40.	40	40	40		
		事業の達成		12.11				ほぼ達成されている										
		事業の成	果					変わらない										
		事業の効						変わらない										
		総合評価	対する成果	果)				良好である										
事務事業評価	評価内容 総合評価の判計 理由または指すの実績値に関する自己分析				者と曽利理担外では、 人間でない。 大きなでは、 たちなでは、 たちなでは、 たちなでは、 たちなでは、 たちなでは、 たちなでは、 たちなでもなでは、 たちなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもな	者と減の給者び軽り支援も少のにの経滅、援門すい本等、管務に在がのにの経滅、援助よるの利理担が活れたが、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	レナル前年トロ	理及び経済に が支軽を が支援に のり支援に とがい にとい にとい のい にとが かる と判 にとい ある と判 にとい の と の と の に と の に と の に と の に と の に と の に と の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に 。 に の に の に 。 に の に 。 に の に 。 。 に 。 。 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	者数(月平均)		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	<u></u> 向性					現状のまま継続										
		7 507/1	. 71±				┃ 負担の軽減につな	M がっており、社	R8 :			<u>I</u>	R10 :					
	改善、	生の判断理 . 改革の内 . R8、R10)	容	1		D業務委託につい <sup>®</sup>	ても問題なく行わ											

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	家族介護慰労	事業			事業期間	平成	13年度 ~	— 年度	]					<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-4	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施するのか)	在宅高齢者等をか	<b>↑護している家族</b>	の身体的、精神的	及び経済的負担	の軽減を図る。			手段 (どのような方法で 実現するのか)	年 1 回慰労金100	0,000円を支給する	3.			
対象 (誰・何を対象として いるのか)		こおいて要介護 4 ないで介護してい		た市民税非課税	世帯に属する在宅高	<b>ぶ齢者等を、介</b>	↑護保険サービスを	成果 (どのような効果が 得られるのか)	要介護4又は5	に認定された在宅	高齢者等を介護し	ている家族の身体	本的、精神的及び	経済的負担の軽減が図られる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成12年度介護6 平成18年度に地域	保険制度の施行を受 域支援事業が創設さ	受け、平成13年原 られ、介護保険ヤ	度より、介護保険サ 寺別会計 地域支援₹	ービスを1年 事業(任意事業	以上利用しないで (美) へ移行した。	介護している介護者	・ の負担軽減を図る	るため、事業を開	始した。			

# [DO]

実績

	第1次実施3力年計画									第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費		38, 000		38, 000	114, 000	38, 000	00,000	38, 000	114, 000	38, 000	38, 000	38, 000	38, 000	152, 000	380, 000
				予算計上額	76, 000		38, 000		38, 000	38, 000		76, 000					0	266, 000
				実績額	38, 000		0	38, 000	0			0					0	38, 000
	道		費	計画額	19, 000	19, 000	19, 000	57, 000	19, 000	10,000	19, 000	57, 000	19, 000	19, 000	19, 000	19, 000	76, 000	190, 000
				予算計上額	38, 000		19, 000	95, 000	19, 000	19, 000		38, 000					0	133, 000
				実績額	19, 000	0	0	19, 000	0			0					0	19, 000
	地	方	債	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
入	そ	の	他		23, 000				23, 000	,	23, 000	69, 000	23, 000	23, 000	23, 000	23, 000	92, 000	230, 000
₹ e				予算計上額	46, 000		23, 000	115, 000	23, 000	23, 000		46, 000					0	161, 000
				実 績 額	23, 000		0	23, 000	0			0					0	23, 000
れ	-	般	財源		20, 000			,	20, 000	,	20, 000		20, 000	20, 000	20, 000	20, 000	80, 000	200, 000
+-				予算計上額	40, 000		20, 000	,	20, 000	20, 000		40, 000					0	140, 000
た				実 績 額	20, 000		0	20, 000	0			0					0	20, 000
事	事	業費	合計		100, 000			300, 000	100, 000	100,000	100, 000	300, 000		100, 000	100, 000	100, 000	400, 000	1, 000, 000
-114				予算計上額	200, 000	200, 000	100, 000	500, 000	100, 000	100, 000	0	200, 000	0	0	0	0	0	700, 000
業				実 績 額	100, 000		0	100, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100, 000
費の推	事第	業費予 内容	予算の 容			扶助費 100,000円×2件	扶助費 100,000円×1件			扶助費 100,000円×1件								
移	前年	の比	予算と  較  里由)				実績に基づく減		前年度同額	前年度同額								
	実約(均	責との	の比較 里由)			令和4年度実績 なし。	令和5年度実績 なし		令和6年度実績 なし									

#### 指揮の推移・評価

旧物の唯	199 - MT 1MI																
活動指標	1 (「手段、	」をもとに	設定)	指標名:支給金額	l		指標の求め方:	<b>支給金額</b>									
成果指標	1 (「成果	」をもとに	設定)	指標名:件数			指標の求め方: 何	牛数									
					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年記	一		第 7 期
	活動指標 1 計画値			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計画
指		標 1 /千円)	計画値 実績値	100 100	100 0	100 0	)	100	100	100		100	100	100	100		
標	成果指标 (単位/		計画値 実績値	1 1	1 0	1 0	)	1 0	1	1		1	1	1	1		
	事業の選 (活動指	達成度 6標をもと	に評価)				ほぼ達成されている										
	事業の (成果指	成果 ほ標をもと	に評価)				変わらない										

		活動指標	1 計画	画値	100	100	100		100	100	100		100	100	100	100		
	指	(単位/=			100	0	0		0									
	標	成果指標 (単位/作	1 計画 <sup>‡)</sup> 実統		1	1	1		1	1	1		1	1	1	1		
		事業の達	成度			0	0	ほぼ達成されている	U									
		事業の成						変わらない										
		(成果指標 事業の効	票をもとに評	価)														
		(事業費)	に対する成果	:)				変わらない										
		総合評価			7 7 AF	스크 八七		良好である	53.7£	습크 / · ·	스크 八七	Nai Na TEI eb	57.45	습크 사본	습크 사본	^ 기사·	No No. TO 45	
事務事業評価	評価内容		総合評価の4 理由またはは の実績値に る自己分析	支数同り介減る経容るる検皮	ない 大 を は が が が が が が が が が が が が が	が死亡したため、令和4年度は実績が無かったが、介護者の	負担軽減が図られているので事業としては必要	が、事業の実施 により軽減が図られて、良好と判断 も、良好と判断	負担軽減が図ら れているので事	自己分析:	自己分析:	MM 翻翻	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	排 断理 由 :	
		今後の方	 向性					現状のまま継続										
	今後の方向性 方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			支	5: 介護手当支給事 支給することによ 集は現状のまま絶	くり介護者の負担	ではあるが、100, 怪滅が図られてい	000円の慰労金を	R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	介護手当支給	事業			事業期間	平成	8年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-4	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施するのか)	在宅高齢者等を介	ト護している家族(	の身体的、精神的ス	ひ経済的負担(	の軽減を図る。			手段 (どのような方法で 実現するのか)	年2回(9月・3	3月)に分けて月	額4, 500円を支給。	する。		
			又は5に認定され <i>た</i> 者を、介護保険サー					成果 (どのような効果が 得られるのか)	要介護4又は5日	に認定された在宅	高齢者等を介護し	ている家族の身体	5的、精神的及び約	圣済的負担の軽減が図られる。
事業開始時の状況緯	・これまでの経	平成8年度より、	在宅認知症高齢者	等の介護者の負	負担軽減を図るため	、事業を開始し	した。平成26年度よ	り特別会計に移行	· •					

# [DO]

実績

						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費	計画額	20, 000	20, 000	20, 000	60, 000	20, 000	,	20, 000	60, 000	20, 000	20, 000	20, 000	20, 000	80, 000	200, 000
				予算計上額	20, 000	20, 000	20, 000	60, 000	20, 000	20, 000		40, 000					0	100, 000
				実績額	0	0	0	0	0			0					0	0
	道		費	計画額	10, 000	10, 000	10, 000	30, 000	10, 000	10,000	10, 000		10, 000	10, 000	10, 000	10, 000	40, 000	100, 000
				予算計上額	10, 000	10, 000	10, 000	30, 000	10, 000	10, 000		20, 000					0	50, 000
				実績額	0	0	0	0	0			0					0	0
	地	方	債	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
入	そ	の	他	計画額	12, 000	12, 000		36, 000	12, 000	,	12, 000		12, 000	12, 000	12, 000	12, 000	48, 000	120, 000
<b>₹</b>				予算計上額	12, 000	12, 000	12, 000	36, 000	12, 000	12, 000		24, 000					0	60, 000
				実 績 額	0	0	0	0	0			0					0	0
れ	-	般具	財 源	計画額	12, 000	12, 000		36, 000	12, 000	12,000	12, 000		12, 000	12, 000	12, 000	12, 000	48, 000	120, 000
た				予算計上額	12, 000	12, 000	12, 000	36, 000	12, 000	12, 000		24, 000					0	60, 000
12				実 績 額	0	0	0	0	0			0					0	0
事	事:	業費	合計	計画額	54, 000	54, 000	54, 000	162, 000	54, 000	0 1, 000	54, 000	162, 000	54, 000	54, 000	54, 000	54, 000	216, 000	540, 000
-114				予算計上額	54, 000	54, 000	54, 000	162, 000	54, 000	54, 000	0	108, 000	0	0	0	0	0	270, 000
業				実 績 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費 の ##	事業	業費予 内容	を算の 序			扶助費 4,500円×12月 ×1名	扶助費 4,500円×12月 ×1名		扶助費 4,500円×12月 ×1名	扶助費 4,500円×12月 ×1名								
移		丰度予 の比 曽減理	較		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
	実統(均	責との 曽減理	)比較 里由)		申請0件	申請0件	申請0件		申請0件									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:支給金額	指標の求め方:支給金額
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:申請件数	指標の求め方:申請件数

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施 4 力年	総合計画
	1	活動指標 1 計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度) 54	合 計	(6年度) 54	(7年度) 54	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度) 54	(12年度) 54	合 計	
	指	活動指標 1 計画値 (単位/千円) 実績値	0	0	0		0							54		
	標	成果指標 1 計画値	1	1	1		1	1	1		1	1	1	1		
		(単位/件) 実績値	0	0	0		0									
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				あまり達成されていない										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
		総合評価				普通である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の判 理由または指 の の 自己分析	見か知活も介事し統合と周度要族と似、をるこの場所を行っている。この場所を行っている。この場所を行っている。この場所を行っている。この場所を行っている。この場所を行っている。このは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	高齢者では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	高齢者ではない。 ・ はながいされないの状況が、いいるしいの状況が、ののはいでしているしているしている。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が、 今後も認 に 能移 に は が に と が に と に と に と に と れ に と に に に に に に に に に に に に に	齢移がめ、状る負れがしてこるして者図でこるしてもない。 でこるして者のでは、 がが担い でこるして者図で でこるして者図で でこるして者図で	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性	DE . 办器工业士4	┃ 給事業については	ニゎまぶょ字ササ	現状のまま継続	R8 :				R10 :					
	方向ft 改善、 (R5、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)	事業が酷似し今行が、介護手当ににはか、寝たきりりという。 に関しては、他的では、他的では、他的では事業が無いない。	俗事をにつから、 学をはいる。 学のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	て、統合・廃止も 定められてにないないでないでないでででいることもいること、さま 要と接事業が該当出	含め検討もした 認知症高齢者の 特定疾患患者な ら、統合や廃止 らに、財源的に	ino :				i ( )					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	高齢者支え合	いネットワー	-ク事業		事業期間	平成	25年度 ~ —	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-4	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施するのか)	地域で高齢者を見に気が付いた場合	l守るため、市と た、市や地域包括	市内で活動している 支援センターに連絡	る事業者が協定 <sup>。</sup> 絡してもらう。	を締結し、事業者が	「日常の業務の	)中で高齢者の異変	手段 (どのような方法で 実現するのか)	事業の円滑な推議	進を図るため、協	力事業者の拡充に	三努めるとともに音	音及啓発活動を行う	5.
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内で事業活動を	行う事業者						成果 (どのような効果が 得られるのか)	協力事業者が日常問題を発見し、高	常の業務の中で高 高齢者への効果的	齢者の異変に気付 な支援につなげる	けいた場合、市や包 うことができる。	2括支援センターに	=連絡してもらうことで、早期に
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成25年度より、 市内で活動してし	. 高齢者が住み慣れ いる事業者と協定を	た地域で安心し 締結し、事業者	していきいきと暮ら が日常の業務の中	すことができ で高齢者の異	るよう支援すること 変に気が付いた場合	を目的に事業を開 、市や地域包括支	始した。 援センターに連絡	各することとして	.va.			

# [DO]

実績

			第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
		第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
		(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	画額				0				0					0	0
	算計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
道費計	画額				0				0					0	0
	算計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
12	算計上額				0				0					0	0
_	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
	算計上額				0				0					0	0
実 実	績 額				0				0					0	0
	画額	28, 000	28, 000		84, 000	28, 000	20,000	28, 000		28, 000	28, 000	28, 000	28, 000	112, 000	280, 000
4	算計上額	28, 000	28, 000	28, 000	84, 000	28, 000	28, 000		56, 000					0	140, 000
×	績 額	32, 358	29, 591	28, 040	89, 989	5, 000			5, 000					0	94, 989
争	画額	28, 000	28, 000	28, 000	84, 000	28, 000	28, 000	28, 000	84, 000	28, 000	28, 000	28, 000	28, 000	112, 000	280, 000
	算計上額	28, 000	28, 000	28, 000	84, 000	28, 000	28, 000	0	56, 000	0	0	0	0	0	140, 000
業	績 額	32, 358	29, 591	28, 040	89, 989	5, 000	0	0	5, 000	0	0	0	0	0	94, 989
費		消耗品費、印刷 制木费 通信運	消耗品費、印刷 製本費、通信運	消耗品費、印刷 制木费 通信運		消耗品費、印刷 製本費、通信運	消耗品費、印刷 制木费 通信運								
事業費予算の				表本員、過信達 搬費			表本貝、通信達 搬費								
の内容															
推															
, n.		同額	同額	同額		同額	同額								
移り前年度予算と		1-5 light	1-3 ыж	1-3 104		i-J ask	I-3 ape								
の比較															
(増減理由)															
		事務経費増によ	事務経費増によ	同額		事務経費の減									
実績との比較		る増額	る増額												
(増減理由)															
						0	1		l.	l					

推	標の折	移・評価	価														
活	動指標	1 (「手	段」をもとに設定)	指標名:登録事					登録した事業者数								
成	果指標	1 (「成	果」をもとに設定)	指標名:協力事	業者からの連絡対	応件数	指標の求め方:抗	協力事業者からの	連絡を受け対応し	た件数							
						3 力年計画	1	tribe a last	1	3 力年計画	1			3次実施4力年記		T	第7期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次(7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年合計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	総合計画合計
	T	活動拍		150			)	150	150	150		150	150	150			
	指標		立/件) 実績値		137	134	1	135	2	2		2	2		2		
	125	八木1	指標 1 計画値 立/件) 実績値		3 1 3	0	)	0	)	ა		3	ა	3	)		
			の達成度  指標をもとに評価				ほぼ達成されている										
			の成果 !指標をもとに評価!				少し上がっている										
			の効率性 養に対する成果)				少し上がっている										
		総合計					良好である										
tale del tale	事務事業評価		総合評価の判権 理由または関す の実績値に関す る自己分析	る業が出来なかのほとなっています。 新者が数にたるにとときませれる。 ななにとという。 ながいという。 ながいという。 がは、果なかのにないです。 がのです。 ののがは、のがいるがいる。 がのでは、のがながいる。 がのでは、のががいる。 がのでは、のがながいる。 はながいるに、のがながいる。 はながいる。	業りが上間と者動的である。例外によりが上間と者動のである。例外に対していまる。例外では、例外では、例外では、例外では、例外では、例外では、例外では、例外では、	る業業よ全し齢なる業新大ななの類と、の事のでは、の事のでは、の事のでは、の事のでは、の事のでは、の事のでは、の事のでは、の事のでは、の事のでは、の事のでは、の事のでは、の事のでは、の事のでは、の事のでは、	中心的役割を担っている。	新たに1件の事がに相合の事がにもなから、これがは要いるのでは、あいたがは要の高いで、のいるのいで、あいまなのいで、あいいのいで、あいいのいでは、これがいいのに、といいのは、これがいいのでは、これがいいのでは、これがいいのでは、これがいいのでは、これがいいのでは、これがいいのでは、これがいいのでは、これがいいのでは、これがいいのでは、これがいいのでは、これがいいいのでは、これがいいいのでは、これがいいいでは、これがいいいでは、これがいいいいは、これがいいいいは、これがいいいいは、これがいいいいは、これがいいいいは、これがいいいいは、これがいいいいは、これがいいいいは、これがいいいいは、これがいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後0	の方向性				現状のまま継続										
	改割	句性の判 き、改革 5、R8、I	の内容	は、町内会におり事業を支える 今後は後期高齢 懸念もあることがいくことが必	常来 系 来 系 見 の が に お ら に も に も と 会 に の ら と の の ら 、 の の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら る る 。 あ ら る る 。 あ も る る 。 あ も る る 。 は る る 。 は る る 。 は る る 。 も る る 。 も る る る 。 も る 。 も る 。 も る 。 も る 。 も る 。 も る 。 も る 。 も る 。 も る 。 も る 。 も る も る 。 も る も る 。 も る る る る る も る る る る る る る る る る る る る	ともに、当市にお 中心的役割を担っる 認知症を抱える 業者等、ともに協 引き続き、協定を	るける高齢者見守 っている。また、 ら高齢者が増える 協力体制を強化し を締結した事業者					R10 :					

## 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

(単付:円)

事 業 名	高齢者情報提	供事業			事業期間	平成	25年度 ~	— 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-4	他に関連する 基本事業						所管課係	介護福祉課高齢者支援係
目的 (何のために実施するのか)	支えあい活動を交 た情報を社会福祉	カ果的・効率的に 上協議会及び町内	実施するため、65 会等へ提供する。	歳以上高齢者に	- 係る住所、氏名、年	≦齢、性別と本	人が提供に同意し	手段 (どのような方法で 実現するのか)	65歳以上高齢者 を通じて希望す	に係る住所、氏名 る町内会・自治会	、年齢、性別とす へ紙の名簿により	大が提供に同意し リ提供する。	<b>た情報を社会福</b> 着	止協議会、更には社会福祉協議会
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市社会福祉協	品議会、町内会及	び自治会					成果 (どのような効果が 得られるのか)		に情報を提供して 的な推進が図られ			音で共有することに	こより、地域における見守り活動
事業開始時の状況 緯	・これよりの柱	財源を一般会計が	から介護保険特別会	除計へ移行した。	5歳以上高齢者に係 等に提供している名								).	

#### [DO]

実績

第1次実施3力年計画 第2次実施3カ年計画 第3次実施4力年計画 第4年次 第1年次 第2年次 第3年次 第5年次 第6年次 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 総合計画 実施3カ年 実施3カ年 実施4カ年 合 計 合 計 (6年度) 合 計 計 (3年度) (4年度) (5年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 予算計上額 実 績 額 方 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計画額 の 予算計上額 さ 実 績 額 一般財源 計画額 472, 000 472, 000 472, 000 1, 416, 000 782,000 782, 000 782, 000 2, 346, 000 782, 000 782, 000 782, 000 782, 000 3, 128, 00 6, 890, 000 472, 000 予算計上額 598, 000 595, 000 1, 665, 00 782,000 12, 905, 000 13, 687, 000 実 績 額 424, 943 566, 130 460, 350 1, 451, 42 659, 802 659, 80 2, 111, 225 計画額 782, 00 6, 890, 000 事業費合計 472, 000 472, 000 472, 000 1, 416, 00 782, 000 782, 00 2, 346, 000 782, 000 782, 00 782, 00 782, 000 3, 128, 00 予算計上額 472, 000 598, 000 595, 000 1, 665, 000 782, 000 12, 905, 000 13, 687, 000 659, 802 実 績 額 424, 943 566, 130 1, 451, 423 659, 80 2, 111, 225 消耗品費、委託 消耗品費、委託 消耗品費、委託 消耗品費、委託 消耗品費、委託 費 事業費予算の の 内容 推 システム委託料 システム委託料 の増加に伴う増 の微減 同額 システム委託料 システム更新委 託料の増 の増 前年度予算と の比較 (増減理由) 消耗品費の一部 消耗品費の一部 消耗品費の一部 システム委託料 が未執行による が未執行による が未執行による 執行残による減 実績との比較 3月補正 △121 (増減理由) 千円

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:情報を提供した町内会等数	指標の求め方:情報を提供した町内会等の数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:情報を提供した町内会等の割合	指標の求め方:情報を提供した町内会等の数/全町内会・自治会の数(89)

						第 1 次 軍 旅	3 力年計画			筆2次室施	3 力年計画			筆	3次実施4カ年記	十画		77 - HD
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		沽動指標 (単位/町		計画値	65	65	l	L	65	65	65		65	65	65	65		
	指	会)		実績値	63				63									
	標	成果指標 (単位/%		計画値	73		{	<b></b>	73 70	73	73		73	73	73	73		
				実績値	70	70	70		70									
		事業の達 (活動指標	票をもと	に評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成: (成果指標		に評価)				少し上がっている										
		事業の効		成果)				少し上がっている										
		総合評価						良好である										
事務事業評価	評価内容	Ŧ	総理の名 合語 素 合語	面の と 動に は関 動標す	指標と計でときている。 指標とかいいのでは、 を を で い の い の い の い の い の い の い の い の い の い	指下とき会者 標回か町に情わ 計で、会しの 大いのは でいる はいる でいる にいる にいる にいる にの にの にの にの にの にの にの にの にの にの	自活指下とき会者係続見活指下とき会者係続に、「適のでは、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが	者見守り活動の 根拠えるとよう をあるという 見守とるかのの 見守実施のた	高域と動率待ら内対者提、効なき引、ての的で、会し情報す守の的で、会しまるき自然を含まり、でいたさき自然を含めた。		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	向性					現状のまま継続										
	方向性改善、	生の判断理 改革の内 R8、R10)	型由 内容		域包括支援センタ 行っている。町内 支える事業である	ターの3者で意見交 内会における高齢: ることから、見守	■供事業の名簿更剩 を換を実施し、連 者見示り活動の根 引活動の円滑な実 続して啓発してい	■ 新の際に、市と地 携体制の確認等を 拠として活動を 施のため、町内	R8 :			1	R10 :					

手段

平成25年度 ~ — 年度

他に関連する 基本事業

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

事業性質区分

(何のために実施する のか)

総合戦略掲載 過疎計画掲載 0 X 介護福祉課高齢者支援係 所管課係 町内会等、民生委員、市及び地域包括支援センターが連携を図り、高齢者情報提供事業(「65歳以上高齢者情報」)な 「どのような方法で 実現するのか」ときた民主委員、市及び地域已拾又接てファーが建榜を図り、高齢有情報定代事業(「印蔵以工高齢有情報」) とを活用しながら支援が必要な高齢者及び現状の見守り頻度を把握し、地域の実情に応じた見守り体制を構築する。 (どのような効果が 得られるのか) 地域における見守り体制を構築することにより、問題を早期に発見し効果的な支援につなげることができる。

対象 (誰・何を対象として 65歳以上高齢者 いるのか)

事業 名 地域高齢者見守り事業

新規・継続

継続

建設・建設外

事業開始時の状況・これまでの経 | 平成25年度より、町内会等、民生委員、市及び地域包括支援センターが連携して、地域における高齢者の見守り体制の構築を図ることを目的に事業を開始した。 財源を一般会計から介護保険特別会計へ移行した。

1 - 2 - 4

事業期間 第7期総合計画 の位置付け

建設外

高齢化率の増加により一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加も予想されるが、町内会等によっては高齢化等によ

り地域コミュニティの希薄化が心配され、高齢者の見守りが十分に行えない状況も見受けられることから、町内会等、

民生委員、市及び地域包括支援センターが連携して、地域における高齢者の見守り体制の構築を図る。

#### [DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
投	地 方	債	計画額				0				0					0	0
12			予算計上額				0				0					0	0
入			実績額				0				0					0	0
٠.	そ の	他	計画額				0				0					0	0
2			予算計上額				0				0					0	0
れ			実績額				0				0					0	0
		財源	計画額	169, 000				282, 000	,	282, 000		282, 000	282, 000	282, 000	282, 000	1, 128, 000	2, 481, 000
た			予算計上額	169, 000				282, 000			564, 000					0	1, 184, 000
事			実 績 額	30, 000				153, 000			153, 000					0	565, 265
7	事業費	合計	計画額	169, 000		169, 000	507, 000			282, 000	846, 000	282, 000	282, 000	282, 000	282, 000	1, 128, 000	2, 481, 000
業			予算計上額	169, 000		282, 000	620, 000			0	564, 000	0	0	0	0	0	1, 184, 000
2881			実績額	30, 000		266, 838	412, 265	153, 000	-	0	153, 000	0	0	0	0	0	565, 265
費の	事業費予内容	多算の		旅費、消耗品 費、通信運搬	講師謝礼、普通 旅費、消耗品 費、通信運搬 費、会場借上料	旅費、消耗品 費、通信運搬		旅費、消耗品 費、通信運搬	講師謝礼、普通 旅費、消耗品 費、通信運搬 費、会場借上料								
移	前年度予 の比 (増減理	を算と 較 理由)		同額	同額	通信運搬費の増 額		同額	同額								
	実績との (増減理			旅費の未執行に よる減	会場借上料及び 旅費の未執行に よる減 3月補 正 45千円	会場借上料及び 旅費の未執行に よる減 3月補 正 35千円減		講師謝礼、会場借上料及び旅費の未執行による の未執行による 減 3月補正 △ 55千円									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:現状把握ができた町内会等	指標の求め方:3	5援が必要な高齢者及び見守りの頻度が把握できた町内会	等の数			
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:見守り体制の構築が図られた町内会等	指標の求め方:身	見守り体制の構築が図られた町内会等の数				•
	第1次実施3カ年計画		第2次実施3カ年計画		第3次実施4カ年計	画	第 7 期

				第 1 次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
	1	古動指標 1 計画値	(3年度)	(4年度) 30	(5年度)	合 計	(6年度) 30	(7年度) 30	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度) 30	(12年度) 30	合 計	
	指	(単位/町内 円間に	0		30 24		32	30	30		30	30	30	30		
	標	成果指標 1 計画値	89		89		89	89	89		89	89	89	89		
		(単位/町内 会) 実績値	89	89	89		89									
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				少し上がっている										
		事業の効率性(事業費に対する成果)				少し上がっている										
		総合評価				良好である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す る自己分析	い制た内あのて時ナ行協施る次い況染中であるた協議ににイ、に見、度も勘策機の表を協議が開か、世界の30をが新ル対つ送、以、案を続いまでながである。 いっぱい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい は	齢業たをり意しのて守し健高はういで新換 者の名の中、見た町、り、康齢安なるきのを 報簿訪に町換ほ会期動活安に確対況。にい りた三年不者否と状たを とに的を状がつ認応が名籍。 、いいでは、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	齢供役れ括と及つを来ミ都ケ目た降に場取な者事員た支援に活て施立が今当な場合では、会合りど名・強力のは、大きなのでである。 は、大きなが、大きながある。 は、大きなが、大きながある。 は、大きなが、大きながある。 は、大きなが、大きなが、大きなりとは、 は、大きなりと、 は、大きなりと、 は、大きなりと、 は、大きなりにある。 は、大きなりにある。 は、大きなりにある。 は、大きなりにある。 は、大きなりにある。 は、大きなりにある。 は、大きなりによる。 は、大きなりによる。 は、大きなりによる。 は、大きなりによる。 は、大きなりによる。 は、大きなりによる。 は、大きなりによる。 は、大きない。 は、たちないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	体こ題しにが高反減域さもフすをと対っているに、 でいまない はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう いんしょう はんしょう はんしょく はんしん はんしょく はんしょく はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんし	町齢業訪に町換そ換体うこの齢業訪に町換そ後報5年名へれ間今をのたけのをのを行のとをいました。 意い意い情、認今後にい確でがあると、意い意とは、認今後のは、というでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		A# 0+++				担小の土土物は										
		今後の方向性	P5・会和/年度か	┃ いら、高齢者情報提	世事業の名簿事業	現状のまま継続	R8 ·				R10 :					
	方向 <sup>†</sup> 改善、 (R5、		域包括支援センタ ながら意見交換を 体制の支援にも 動の支援にも する町内会もある	い、両即句に同様見交 ターの3名ででもででるででるとができるとができるとができるとができるとができるとができるというできるというできるというできるというできるアップしていく必	換を実施している 状課題の共有や活め、町内会におけい手不足等で1~2 で活動を継続させ	る。名簿を参照し 動の目的、連携 る高齢者見守り 年で役員を交代	no .				NIV.					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載

事 業 名	認知症を抱え	る家族の会支	泛援事業		事業期間	平成	19年度 ~ —	- 年度						<del></del>		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-2-4	他に関連する 基本事業	1-2-1					所管課係	ふれあいセンター保健予防係		
					- の精神的な支援を行 獲しやすい地域づく		介護負担の軽減を	手段 (どのような方法で 実現するのか)	家族会の役員会などヘアドバイザーとして介入する。また、役員会等を通して、運営や研修会などの企画・実施など必要に応じ相談、支援を行う。 関係機関と連携し、新規ケースの把握につとめ、家族会につなぐ。							
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市認知症を抗	包える家族の会						成果 (どのような効果が 得られるのか)								
事業開始時の状況・これまでの経 ・主義を表現している。 ・主義を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を																

ター、NPO中空知・地域で認知症を支える会等と共に、各役割を分担しながら、地域の社会資源としての家族会を支援している。

# [DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	53カ年計画			第	3次実施4カ年計	一		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投 予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実 績 額				0				0					0	0
れ一般財源計画額				0				0					0	0
を 予算計上額 また 第二 また				0				0					0	0
大帆 饭			_	0				0					0	0
事 事業費合計 計 画 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実 績 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費														
事業費予算の														
の内容														
推														
移り前年度予算と														
の比較														
(増減理由)														
	l .													
実績との比較 (増減理由)														
(増減理由)														

#### 指標の推移・評価

動指標:	(「手段」	をもとに設定)	指標名:活動回	数		指標の求め方:3	指標の求め方:家族交流会等自主的活動回数(交流会・茶話会・リフレッシュ交流事業等)										
果指標 7	(「成果」	をもとに設定)	指標名:参加延	人数		指標の求め方:雰	家族交流会等自主	的活動への参加延	人数								
				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 其	
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計画	
-44	活動指標(単位/	<u> </u>	18		ļ	<b>4</b>	18 21		18		18	18	18	18			
指標	成果指標	人根但	19 180				190		190		200	200	200	200			
	(単位/.		208	235	244		163										
	事業の達 (活動指	<sup>権成度</sup> 標をもとに評価)				ほぼ達成されている											
	事業の成 (成果指	<sup>伐果</sup> 標をもとに評価)				少し上がっている											
	事業の効	効率性 に対する成果)				少し上がっている											
	総合評価	<b>E</b>				良好である											
評価内容			ル時あ策概実口減施て面思状がに動いが介理動るる健し協入はるをね施ナ少設い会い況ら支がるか護解もと。康、協会が、じ画きでたに家限ど共会あ続役り地広索ろ後題係なに、一般語がで補し等る制なを、え継。わのが模こ今課関し禁部、じ画きでたに家限ど共会あ続役り地広索ろ後題係な抗止染がして。奈良に対して、大き対してはを機がられているのな互活で制族の活いの有と家大も対らにコが、しのるのな互活で制族の活いの有と家大も対らにコが、しのるのな互活で制族の活いの有と家	ル染が通た に係援営フ継援介にがな製族伺依護ス対らり。役、、セすよ続セに参新っ薬介い頼の感染を概定 員高地ンるへしンよ加規た金護たに対情をを概定 中看包一知協包一力た員ほか実としをに対情なが応力括のフーとから態い、レ感な画き 援支運力を支紹工人、家をう介ク感な画き	ル類コ動にの会会がる交話にな 活営関連で回り依員でス疾ロがな百を員充。流がなか役動し係携行数、頼のき会態病十でっ寿行同実茶会でりっ員をで機、うが研が負での終に禍きたのう士し話でき、たを企い関協力増修増担い設定が削のよ会祝ど交いは分よ施 心、がととェた版、増。後ち、活う員い、流、にうし に運、のしの 力役し 初	認験士有援を会継で行業得もを機が援が知い、門ら軸す自としいの有と家でる、別にる主のてる健し協族い、でも悩認員れにる主のてる健し協族い。を指示す自としいの有と家でるとなりと機働果今課人働きと必必を表示支強が関係を必必を表示を表示と機働果今課人の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	介神目続に者しぶも実いて にの 横軸 自続に者しぶも実いて にの まなり とーさ意い 一根 ため 真 に活てが。 でし関係 でしまる から としまる から としまる は 直接 の できまま 地 下機 た 継 献 喜後充たっ 域動関精を継 献 喜後充たっ 域動関				自己分析:	自己分析:	自己分析:				
	今後の方					現状のまま継続											

R5:
R3年度からは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、交流会の一部中止、茶話会の中止、各種研修や事業の縮小・中止・延期と、試行錯誤しながら、「認知症を患う家族を介護する者」が共適する悩みを話せる場として、感染症対策を講じながら、交流会を維持してきた。関係機関が組織運営に随時相談に応じ、交流会では認知症支援専門員の支援を得られる環境であり、自主組織の協働事業として効果を得ている。今後も市の健康課題を共有し、関係機関と協働しながら家族会を支援していくことが、社会資源の維持としても必要と考え、現状のまま継続とした。 方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)